

令和 7 年 度 全国メディカルコントロール 協議会 連絡会 (第 2 回)

全国メディカルコントロール協議会連絡会プログラム・講演資料

全国メディカルコントロール協議会連絡会関連資料

1 日 時

令和 8 年 1 月 23 日（金）14 時から 17 時

2 場 所

熊本城ホール メインホール

（熊本県熊本市中央区桜町 3 番 40 号）

3 主催団体等

主催：消防庁、厚生労働省

共催：公益社団法人日本医師会

後援：一般財団法人救急振興財団、全国消防長会、

一般社団法人日本救急医学会、一般財団法人日本救急医療財団

公益社団法人日本麻酔科学会、一般社団法人日本臨床救急医学会

全国衛生部長会、全国保健所長会

都道府県消防防災・危機管理部局長会

目 次

令和7年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回)プログラム	P. 1
--	------

第1部 発表抄録.....	P. 3
「全国の各メディカルコントロール協議会における活動の情報交換会」	
【テーマ】 事後検証	

第2部 発表抄録.....	P. 13
【テーマ】 効果的な多職種連携を目指すための相互理解について	

全国メディカルコントロール協議会連絡会関連資料	P. 21
-------------------------------	-------

○全国メディカルコントロール協議会連絡会開催要綱・世話人会構成員名簿

○メディカルコントロール体制に関する実態調査概要

・メディカルコントロール協議会数及び指導救命士認定者数

・都道府県メディカルコントロール協議会構成員状況

○全国救命救急センター設置状況一覧表

○都道府県別メディカルコントロール協議会概要

令和7年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）プログラム

I 開催概要

1 日 時 令和8年1月23日（金） 14時00分～17時00分

2 場 所 熊本城ホール メインホール

（熊本県熊本市中央区桜町3番40号）

※同日に開催予定の第34回全国救急隊員シンポジウムと同会場

II プログラム

1 開 会 全国メディカルコントロール協議会連絡会

会長 横田 順一郎

2 第1部 全国の各メディカルコントロール協議会における活動の情報交換会

【テーマ】「事後検証」（6演題）（14時05分～15時16分）

座長 公立昭和病院 院長 坂本 哲也

（1）湘南地区メディカルコントロール協議会における新たな事後検証体制の確立

湘南地区メディカルコントロール協議会

（2）岐阜県 MC 協議会における安全管理に係る事後検証体制及び岐阜市消防本部の取り組みの紹介

岐阜県メディカルコントロール協議会／岐阜市消防本部

（3）「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」に係る事後検証充実化への取り組み
～心臓病・脳卒中などの循環器病症例のアンダートリアージ減少に向けて～

大阪府堺地域メディカルコントロール協議会

（4）横浜市消防局における新たな事後検証体制（オンライン事後検証）の構築

横浜市消防局

（5）沖縄県南部地区メディカルコントロール協議会における二次検証のDX化「ことはじめ」

～汎用性のある Interactive・Sustainable な検証システムの構築～

沖縄県南部地区メディカルコントロール協議会

（6）検証会議に見る地域メディカルコントロール体制と地域医療体制の強靱な連携基盤の構築

大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会

— 休憩 —（10分）

3 第2部 パネルディスカッション

【テーマ】「効果的な多職種連携を目指すための相互理解について」（5演題）

（15時26分～16時41分）

座長 一般財団法人日本救急医療財団 理事長 横田 裕行

（1）高齢者救急に対する堺市消防局の取組について

堺市消防局 渡部 和也

（2）老健施設への情報提供依頼と実情

みよし広域連合消防本部 中本 裕己

（3）救急搬送を減らすカギは“訪問看護”にある

～訪問看護の機能を再確認しませんか～

訪問看護ステーション幸 森永 早紀

（4）増え続ける高齢者救急課題に対する岡山県医師会の取組

公益社団法人岡山県医師会 松山 正春

（5）地域マネジメントによる高齢者救急システムの構築

— 八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会（八高連）の実践から

医療法人永寿会陵北病院 田中 裕之

4 報告・情報提供（16時43分～16時58分）

消防庁からの情報提供

消防庁救急企画室 救急専門官 寺村 一成

5 事務連絡（16時59分～17時00分）

令和8年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第1回）の開催予定について

第 1 部

全国の各メディカルコントロール協議会における活動の情報交換会 【テーマ】事後検証

【発表演題】

- (1) 湘南地区メディカルコントロール協議会における新たな事後検証体制の確立
湘南地区メディカルコントロール協議会・・・P. 7
- (2) 岐阜県 MC 協議会における安全管理に係る事後検証体制及び岐阜市消防本部
の取り組みの紹介
岐阜県メディカルコントロール協議会／岐阜市消防本部・・・P. 8
- (3) 「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」に係る事後検証充実化への取り組み
～心臓病・脳卒中などの循環器病症例のアンダートリアージ減少に向けて～
大阪府堺地域メディカルコントロール協議会・・・P. 9
- (4) 横浜市消防局における新たな事後検証体制（オンライン事後検証）の構築
横浜市消防局・・・P. 10
- (5) 沖縄県南部地区メディカルコントロール協議会における二次検証の DX 化「こ
とはじめ」
～汎用性のある Interactive・Sustainable な検証システムの構築～
沖縄県南部地区メディカルコントロール協議会・・・P. 11
- (6) 検証会議に見る地域メディカルコントロール体制と地域医療体制の強靱な
連携基盤の構築
大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会・・・P. 12

※各演題の発表スライドについては、本冊子上ではなく、以下の消防庁ホームペー
ジ上に掲載しております。

・令和 7 年度 第 2 回 全国メディカルコントロール協議会連絡会
https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/r7-2.html

【第1部】情報交換会 演題応募要領（抄）

1 概要

救急業務におけるメディカルコントロール体制の更なる充実強化を図ることを目的に、令和8年1月23日（金）（14～17時予定）に令和7年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）（於：熊本城ホール（熊本市））を開催いたします。

本連絡会の第1部として、「全国の各メディカルコントロール協議会における活動の情報交換会」を開催し、各メディカルコントロール協議会の課題及びその解決策、先進的な取組等を募集し、演題発表することで、情報共有を行い、新たな着眼点の発見や検討内容の充実に繋げることを目的とします。

ついては、第1部情報交換会について、メディカルコントロールの中核となる業務（プロトコル、オンラインMC、事後検証、教育等）から、今回は、「事後検証」をテーマとして選定し、次のとおり演題を募集いたします。

2 公募について

（1）対象

都道府県メディカルコントロール協議会、地域メディカルコントロール協議会、もしくは、メディカルコントロール協議会でメディカルコントロール体制の構築に携わる消防機関、医療機関等の団体
（1演題につき1名での発表）

（2）内容

ア テーマ

「事後検証」

イ 題材（テーマの詳細）

下記題材①～③を参考に、事後検証における課題やその解決策、先進的な取組等を演題として応募してください。

題材①～③の複数の題材にまたがった応募も可能とします。

<題材①> **効果的かつ効率的な事後検証を目的とした取組みについて**

救急出動・搬送件数の増加により、救急隊・医師が共に多忙となる中、効率化を図りつつ最大限の効果を生む事後検証方法の取組みを共有する。

（例）

類似事案を包括化した事後検証、事後検証におけるDXの活用、対象症例の見直し・選定方法、検証着眼点や要領・事後検証に係る研修またはマニュアル化など

<題材②> 事後検証結果のフィードバックについて

事後検証結果の効果を最大限に高めるための救急隊・指示医師へのフィードバック方法や、地域 MC 内における救急隊や医師への周知における課題などを共有する。

(例)

研修や訓練への反映、事例研究会の実施、ポータルサイトの活用、ヒヤリ・ハットやアクシデント事例または珍しい事例を含めた重要事例集のリーフレット作成など

<題材③> 事後検証を踏まえた各種基準や運用等の見直し例について

事後検証結果や地域の実情または時代の変化を踏まえた各種基準等の見直しの取組例、契機、課題やその解決策など、他の地域におけるメディカルコントロールにおいて参考となる見直しプロセスを共有する。

(例)

各本部の救急業務に関する規程、各種プロトコル、傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準の見直し例やそのプロセスなど

発表演題 1 湘南地区メディカルコントロール協議会における新たな事後検証体制の確立

湘南地区メディカルコントロール協議会 宇佐美 雅史

抄録

湘南地区メディカルコントロール協議会は平成15年の設立以来、消防機関と医療機関の密接な連携により、メディカルコントロール体制の推進に努めてきた。現在、加盟する消防本部は13を数え、各地域性が異なる状況下において、本協議会で定められたプロトコル等に基づき、各市町の救急隊が日夜、活動している。また、本協議会には、常時指示作業部会、病院実習作業部会、事後検証作業部会、救急隊員教育・研修作業部会、標準化教育作業部会、評価統計作業部会という6つの作業部会が存在し、各作業部会において、日々、様々な協議・検討が行われている。

その作業部会の1つである事後検証作業部会では、毎月、救急活動や口頭指導等について検証する会議体を設け、検証作業を行っている。この事後検証作業部会では、平成15年に事後検証の指針という事後検証におけるガイドラインを策定し、それに基づく検証作業を行うことで、救急活動の質の維持・向上を図ってきた。この事後検証の指針はこれまで必要に応じて、改訂作業を行ってきたが、直近では昨年度、救急業務の多様化や指導救命士による検証という時代の変化を背景に改訂作業を行い、令和7年4月1日から運用を開始している。

具体的な検証方法については、まず、検証対象は全ての救急出場事例と定め、各消防機関において指導救命士等を中心に一次検証を行い、その後、二次検証の検証範囲に該当する事例を対象に、登録検証医師が二次検証を行うという流れである。この二次検証の結果は、毎月行われる会議の中で、登録検証医師から他市町を含めた消防職員に直接フィードバックされている。さらに、二次検証では、医学的見地から救急隊の現場活動が適切に行われたかを検証するだけでなく、極めて模範的な活動事例等、事例検討が現場活動の向上にとって意義を持つ内容であると判断した事例については、本協議会の救急セミナー等で広く紹介することになっている。

一方、毎月の会議はWeb会議をベースとし、年に数回は対面で開催している。コロナ禍前はすべて対面開催であったが、コロナ禍を経て、Web会議が主流となっているものの、「対面開催は消防職員と医師が直接意見を交わし、救急活動記録からは分からないリアルな現場の声を伝えることができる」ということで、対面開催数の増加を望む声が多くあった。そこで、昨年度から対面での検証をWeb会議の中で再現し、より対面に近い形でのWeb会議を行えるよう体制を整え、今年度から本格運用している。

近年、全国的な救急需要のひっ迫が報道されているが、当地域も例外ではなく、救急出場件数は増加の一途を辿っている。加えて、救急医療は年々進歩を遂げ、高度化する救急業務に対して、救急隊の担う役割はより一層大きくなっている。これらの状況を踏まえ、本協議会における事後検証の実情等について、具体的な運用方法等を提示した上で、より詳細に報告する。

運用により得られた効果・課題

(効果)

事後検証の指針の改訂や運用方法を見直したことにより、検証が必要な症例に対して、効率的に時間を割けるようになり、検証の質が向上している。更には、指導救命士による検証を充実化したことにより、一次検証の質が格段に向上するとともに、救急隊員等を指導救命士が指導・教育するという体制が確立されつつある。一方で、指導救命士による検証を医師が検証し、指導救命士の指導方法を評価することで、指導救命士の質の担保にもつながっている。

(課題)

事後検証の結果をどのように現場での活動に活かしていくかが今後の課題である。その場限りでのフィードバックに留めず、各消防本部で何ができるかを検討し、必要な施策等に反映していくことが求められている。それに加え、今後は特定行為の実施率や社会復帰率などの客観的なデータを収集・解析し、湘南地区メディカルコントロール協議会として目に見える形での結果を提示していくことが必要となる。

湘南地区メディカルコントロール協議会

MC圏域管轄人口 (2,043,777 人)・MC圏域構成消防本部数 (13 本部)・MC圏域救急隊数 (81 隊)・
MC圏域の消防職員数 (2,616 人)・MC圏域の指導救命士数 (57 人)

発表演題2 岐阜県MC協議会における安全管理に係る事後検証体制及び岐阜市消防本部の取り組みの紹介

岐阜県メディカルコントロール協議会／岐阜市消防本部 大野 勝昌

抄録

救急活動の事後検証では、主に病態判断の適正化を図る目的でのフィードバックが中心的役割となっているが、それと併せて、活動時のヒヤリハットやアクシデントに対しても、事例を集約して共有し、対応策を講じたりする必要がある。

岐阜県においては、メディカルコントロール協議会の一つの部会として「安全管理部会」が設置されており、この部会が中心となって、「MC協議会リスク管理要領」に従い、平成25年度から、県内の各救急隊が経験したヒヤリハット事例等を集約して共有しています。また、必要に応じて、アクシデントの詳細を検証する委員会を設置し対応策を講じる体制としているため、これを紹介します。

- 1 安全管理部会として、県内の各救急隊が経験したヒヤリハット事例等を集約し、県内全ての救急隊に共有している。
- 2 発生したアクシデントに対しては、部会で対応策を協議し、また、必要に応じてリスク管理委員会を開催して、そこでの協議結果を含めた事故防止の注意喚起を実施している。
- 3 令和7年度から、県内の主に指導救命士等を対象とした「救急活動に係る安全管理研修」を実施し始めた。

また、県内の救急搬送の約30%を占める岐阜市消防本部においては、この安全管理に係る事後検証体制を十分に活用して安全意識を醸成することが必須であるため、その重要性を再認識したうえで、令和7年度から岐阜市消防本部で実施してきた安全管理に係る以下の取り組みを紹介します。

- 1 多忙な通信指令員や救急隊員でも、簡単にヒヤリハット事例等のレポートを提出できるようにするため、収集手順をDX化し、いつでもどこでもレポートが提出できる体制としました。
- 2 本部内で提出されたレポートのうち、過去に例をみない事例や、緊急で共有する必要がある事例は、安全管理部会からの情報共有前に、本部内で緊急共有することとしました。
- 3 安全管理部会から共有されたヒヤリハット事例等のレポートに対して、消防本部として統一的な見解を示す必要がある事例や、対策を講じる必要がある事例は、それらを付して共有することとしました。
- 4 他都市で発生したアクシデントの報道に対しては、全ての事例に対して安全管理に関する研修が必要と考えるが、それは現実的には困難なため、研修に代えて、可能な限り早期に対応策を付した注意喚起文書を発出することとしました。

運用により得られた効果・課題

（効果）

ヒヤリハット事例を積極的にレポート提出することは、自己のリスク管理意識を醸成するだけでなく、チームとしてのリスク管理能力を向上させるものであるという認識が持てるようになった。また、人は間違いを起こすものであり、報告して再発防止策を講じることが重要であると、組織的にも認識できるようになった。

注目すべきアクシデント事例等に対して、組織的に対応策を示して注意を促す体制を整えることで、自らが経験していない事例に対しても、どう備える必要があるかを正しく知ることが可能となった。

（課題）

ヒヤリハット事例のレポート提出にやや消極的な隊（隊員）が存在するため、長い期間をかけて組織風土を醸成することが必要であると再認識した。

岐阜県メディカルコントロール協議会

MC圏域管轄人口（1,978,742人）・MC圏域構成消防本部数（20本部）・MC圏域救急隊数（129隊）・
MC圏域の消防職員数（2,687人）・MC圏域の指導救命士数（113人）

発表演題3 「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」に係る事後検証充実化への取り組み ～心臓病・脳卒中などの循環器病症例のアンダートリアージ減少に向けて～

大阪府堺地域メディカルコントロール協議会 上野 文也

抄録

(目的)

大阪府では平成22年より「傷病者の搬送及び受入れの実施基準（以下、実施基準）」を運用している。本報告は、令和2年に発出された総務省消防庁からの提言を契機とし、実施基準の事後検証プロセスを充実させ、心臓病・脳卒中などの循環器病（以下、特定病態）症例におけるアンダートリアージ減少を目指した、当地域の取り組みを報告する。

(経緯)

当初、当地域では、特定病態を疑う症例に対し、専門医直通回線使用時に医師から即時フィードバックを得ることを目的とした紙ベースの検証票を運用していた。この検証票は、特定病態の観察ポイントや救急隊の判断の適否を担当医師に記載してもらうことで、救急隊の観察・判断能力の向上に一定の効果は得られた。しかし、担当医師が多忙なためフィードバックに至らない症例も多く、双方の負担軽減のため約3年間の運用期間を経て廃止となった。この期間に収集したデータを分析した結果、救急隊が特定病態を疑ったが医師が異なる診断をした症例（オーバートリアージ）が、ある程度容認されていることが確認された。以降は、「救急隊が特定病態を疑わなかったが医師が特定病態と診断した症例（判断不一致症例、すなわちアンダートリアージ）」に着目し、その減少を主眼とした事後検証の充実に着手した。

(取り組み)

当地域では、大阪府の「救急搬送支援・情報収集・集計分析システム（ORION）」が運用されており、消防機関は医療機関側が登録した傷病者の転帰や確定診断名を閲覧できる。しかし、事後検証の対象となる判断不一致症例について、救急隊は検証事案と認識しておらず、救急活動記録票に必要な情報の記録となり、検証票としては十分に記録できていなかった。この課題を解決するため、まず全救急隊に対し、判断不一致症例が事後検証の重要な対象であるという認識を徹底的に周知し、救急活動記録票の内容充実と記録保存を規則化した。これにより、現場活動時の心電図記録や、脳卒中が疑われる傷病者に対する6項目の身体観察などの記録が充実・保存されるようになった。また、検証会議前に対象症例の記録を提出させる新たな体制を構築することで、ORIONの情報だけでは不足していたデータを補完し、より詳細な検証を可能とした。さらに、検証会議後のフィードバックでは、実施基準に基づき特定病態を疑った際には、専門医直通回線を積極的に使用し、医療機関における早期治療開始に繋げるよう繰り返し周知徹底した。

運用により得られた効果・課題

(効果)

運用開始から2か月間で特定病態アンダートリアージ率が昨年度同月比で約8.8%低下した。また、病院前詳細記録を医師が検証することで、救急隊による病態類推が是正され、精緻なフィードバックが得られている。このプロセスの改善により、判断不一致の原因が救急隊の観察・判断能力によるものか、あるいは実施基準自体の問題によるものかが明確化され、実施基準の妥当性の詳細な検証も可能となった。この取り組みは、メディカルコントロール協議会の重要な役割である、個別の事案検証に加えて統計データを用いた体制改善の検証を行うという要件を満たすものである。

(課題)

当地域（堺地域）では、搬送距離が短く複数の特定病態対応病院が近接しているため、迅速な搬送を優先し、近似誘導による心電図計測を実施している。しかし、「JRC蘇生ガイドライン2020」では、STEMIが疑われる場合、病院前12誘導心電図の記録と伝送が強く推奨されており、ORIONシステムでも伝送機能が実装されていることから、事後検証の観点からも導入を検討する予定である。また、特定病態のアンダートリアージ減少に伴い、オーバートリアージが増加する可能性がある。この過剰搬送が医療機関の受入体制に負荷を生じさせていないか継続的に注視するとともに、救急隊員への継続的な教育を通じて、適正なトリアージ判断能力の維持・向上が求められる。

大阪府堺地域メディカルコントロール協議会

MC圏域管轄人口（914,771人）・MC圏域構成消防本部数（1本部）・MC圏域救急隊数（28隊）・
MC圏域の消防職員数（1,054人）・MC圏域の指導救命士数（27人）

発表演題4 横浜市消防局における新たな事後検証体制（オンライン事後検証）の構築

横浜市消防局 田中 鴻

抄録

当局では、平成15年から救急隊員の医学的な知識・技術を更に充実し、地域における救命効果を更に向上させるために、救急活動の事後検証を行っている。事後検証の体制としては、①全ての検証対象事案に対して、責任職及び出場した救急隊長が、救急活動要領に準拠しているか、必要事項が適切に記載されているかを検証する一次検証。②救急救命士が、迅速性、協調性、他隊との連携等の観点を含めた救急活動全般について検証する二次検証。③医師が、医学的観点から救急活動を検証する三次検証。④横浜市MC協議会の委員が、救急活動体制全般について検証する横浜市MC協議会による検証により、課題や改善点を抽出し、横浜市MC協議会の各専門委員会と連携しながら課題解決や改善に取り組んでいる。

事後検証は、これまで紙媒体の検証票等の様式を用いて検証を行っていたが、紛失のリスクなど管理が煩雑であり、受渡し等に時間を要するなど、課題を抱えていた。また、近年は救急出場件数の増加により、検証票等作成の事務を行う時間の確保が困難であることに加え、検証対象となる事案が増加し、検証票作成に関する事務負担の増加も課題とされていた。さらに、対面で行っていた二次検証は、各所属の当直人員や資格者の確保などの理由により、人員の招集が困難であり、月に数回開催しても、検証すべき検証票の数に対して検証できる数が下回るなど、事後検証が滞っていた。これらの複数の要因により、検証対象事案における検証結果のフィードバックまでに時間を要していた。

これらの課題解決に向けて、迅速かつ適切なフィードバックを行うために、効率的かつ効果的な運用を図ること、また、増加し続ける検証対象事案に対し、真に必要な事案に対して事後検証を行うことで、効果的なフィードバックを図るために、令和4年度から6年度にかけて事後検証をオンライン化したほか、令和5年度に検証対象事案の見直しを行った。

事後検証のオンライン化については、すでに導入しているシステム上で事後検証が行えるようにシステム改修を行った。これにより、所定の端末があればいつでも二次検証を行うことが可能となった。併せて、横浜市MC協議会参画医療機関（市内13医療機関）に対して専用端末を貸与し、ネットワーク環境の整備やセキュリティを確保することで、外部からもシステムのアクセスが可能となり、医療機関においてもオンラインによる事後検証が可能となった。令和4年から、予算の確保、システム等の事業者との打合せ、各医療機関との調整、運用方法の検討、マニュアルの整備等、様々な課題を解決しながら体制を整備し、令和6年8月に本格運用を開始した。

検証対象事案の見直しについては、過去の検証結果データに基づき、真に必要な事案に対して検証を行うために、横浜市MC協議会において検討を行った。

運用により得られた効果・課題

（効果）

事後検証のオンライン化により、一部を除きシステム上で一元的な管理が可能となり、効率化が図られたことから、フィードバックまでの期間が約5ヶ月短縮した。また、検証票等の管理や受渡しが必要なくなったことで事務量が大幅減となり、紛失リスクも無くなったことから、労務負担の軽減や事故防止にも繋がった。さらに、二次検証は人員の招集が不要となり、所属ごとの救急救命士数に応じて検証事案を割り当てることで、一度に検証できる事案数が増加した。

また、検証対象事案の見直しを行ったことで、三次検証の対象事案件数が減少し、事務量の低減や医師の負担軽減に繋がった。

（課題）

オンライン化では一次検証に要する期間の短縮への影響が小さく、また、利便性が増した一方で、端末管理やセキュリティ確保等の維持管理が必要となった。

検証対象事案の見直しについては、三次検証の対象事案件数は減少したが、二次検証の対象事案件数は微減となっているため、救急隊員の検証票等作成に係る負担軽減という観点での影響は小さかった。

横浜市メディカルコントロール協議会

MC圏域管轄人口（3,772,267人）・MC圏域構成消防本部数（1本部）・MC圏域救急隊数（90隊）・
MC圏域の消防職員数（3,782人）・MC圏域の指導救命士数（33人）

発表演題5 沖縄県南部地区メディカルコントロール協議会における二次検証のDX化 「ことはじめ」 ～汎用性のある Interactive・Sustainable な検証システムの構築～

沖縄県南部地区メディカルコントロール協議会 米盛 輝武

抄録

沖縄県南部地区メディカルコントロール協議会管内には、1 消防局、6 消防本部が属しており、背景人口は約 727000 人と沖縄県の人口の 50%を抱えるエリアをカバーしている。事後検証は、他地域と同じく、各所属消防本部における一次検証を経て検証医による二次検証が行われる。二次検証で各検証医が全体での情報共有・議論・今後のプロトコル見直しなどを要すると判断した症例について、沖縄県南部地区メディカルコントロール協議会の検証会議で症例提示と議論を行っている。そして、検証会議で選ばれた症例について、沖縄県メディカルコントロール協議会の検証会議での県全体への共有・議論が行われる。検証が開始された当初は、心停止症例が検証対象とされていたが、現在は、対象を、重症外傷事案、多数傷病者事案、早期医療介入事案（ドクターヘリ・ドクターカー対応事案）に拡大している。また、二次検証について、従来は自施設への搬送事案を当該医療機関の検証医が検証する体制を取っていたが、現在は、より広い視点からの検証を行うため、多施設の医師による二次検証も多く行われるようになっている。

以上のように、検証対象事案が多くなったこと、他施設搬送事案の検証を行う事が多くなった事などから、二次検証のプロセスで、多くの情報の共有・処理や、担当救急隊担当者との情報交換が必要となった。そのため、従来の紙ベースでの二次検証体制では情報の共有や、検証過程における担当救急隊への確認に多くの時間を要するようになってしまったため、各機関間での情報共有において汎用性のある、Excel を活用した二次検証体制を導入し、運用を開始した。

実際の検証は、一次検証から同一の Excel のシートへの入力を行い、消防の一次検証担当者からの確認事項などへ、担当救急隊からの回答が入力される。二次検証の際には救急隊の活動記録、心停止事案に係るウツタイン様式の記録、気管挿管に関する記録、ドクターカーやドクターヘリの搬送記録用紙、モニター波形、モニターから Out-put される CPR レポートなどがメールに添付され二次検証を担う検証医へ送信される。一次検証での検討事項も踏まえて検証医が検証作業を行い、必要に応じて担当救急隊への確認事項を入力した上で消防へ返信する。そして消防からの回答を再度、検証医は確認する。といった作業を何度か繰り返す。こうすることで、紙媒体では叶わなかった迅速な確認を経た、精度の高い検証作業を行う事が出来るようになった。

昨今、普及が進んでいる DX (Digital Transformation) であるが、様々なシステムが乱立しているため、地域全体での共有が難しい場合が多いのが現状である。また多額の費用を要する場合が多い。そこで、今回、当地域で Excel を用いた情報共有を主軸とした二次検証体制は、導入コストも廉価であり、汎用性の高い手法であったが、今後は、この情報をクラウド上で、リアルタイムで共有できる体制が必要である。

運用により得られた効果・課題

(効果)

導入が容易で汎用性のある Excel を用いた二次検証体制を導入したことで、紙媒体での情報共有を軸とした二次検証体制に比して、迅速なやり取りを消防側と検証医との間で行う事が可能となり、より精度の高い二次検証を行う事が可能となった。

(課題)

現状では入力した Excel ファイルをメールで送信する体制での運用であり、リアルタイムの情報共有にはなっていないのが現状である。今後は、クラウド上で情報共有できる体制を取り、より迅速な情報のやり取りが可能な体制構築を目指したいが、一般的に汎用性のある低コストなシステム (Google Spread Sheet など) はセキュリティホールの問題があり個人情報共有には不向きである。ファイル共有システム全体構成を工夫する事で、セキュリティ対策と汎用性、低価格を満たす体制を検討したい。

沖縄県南部地区メディカルコントロール協議会

MC圏域管轄人口 (734,774 人)・MC圏域構成消防本部数 (7 本部)・MC圏域救急隊数 (31 隊)・
MC圏域の消防職員数 (811 人)・MC圏域の指導救命士数 (35 人)

発表演題6 検証会議に見る地域メディカルコントロール体制と地域医療体制の強靱な連携基盤の構築

大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会 木勢 翔太

抄録

【背景】

大阪府南部にある泉州地域では、平成15年にメディカルコントロール（以下MC）協議会が設立され、救急活動の検証会議が開始された。しかし、その後、各地で重篤患者の搬送困難が多発し、搬送先選定のため数十件もの受入要請を繰り返すなど危機的状況に陥った。この切迫した状況を受け泉州地域MC協議会は活動の検証に留まらず、搬送データから搬送困難に陥りやすい症例を選定し、現体制を改善するための「搬送受入れ体制の検証を含めた検証会議」を開始した。さらに、健康医療部局を事務局とした「救急懇話会」を設置し地域医療体制の強化を図った。この取り組みは搬送現場に基づく検証と地域医療体制という、視座の異なる二つの側面から救急医療の改善を試みるもので、この相互作用が搬送困難事案の解決に不可欠であるとの認識に基づいていた。

【目的】

本取組は、搬送困難に陥りうる症例について、その検証過程を救急懇話会へ適切にフィードバックすることで両会議体が相互に影響しあう関係を構築し、地域全体の救急医療体制をいかに改善できるかを検討することにある。具体的には救急現場で発生した問題症例をMC協議会が分析・評価し、その結果を救急懇話会が医療体制の改善策に反映させるという一連の連携フローを構築・評価する。この相互干渉関係により単なる個別の症例検証に留まらない実効性の高い地域医療体制の構築を目指す。

【方法】

MC協議会と救急懇話会との連携を強化するため、検証会議開催前に問題が予測される症例の取扱いを明確化した。具体的には特定疾患（吐下血、脳卒中等）において、受入当番にあたる医療機関が「専門外、専門医不在」を理由に不応需とした場合、直ちに救急懇話会事務局へ報告書を提出するよう義務付け、同事務局は速やかに調査を行い、必要に応じて検証会議への提出を促した。次に、検証会議において「医療機関または医療体制に問題がある」と判定された症例の取扱いを定めた。これらの判定症例は、MC協議会事務局が内容を精査し報告書を作成、救急懇話会事務局はこの報告書を基にデータベースを構築し、詳細を把握・分析、各医療機関に対して受入れ体制の見直しや整備など必要な対策を講じるよう求めた。

【結果】

新体制の構築は、搬送困難事案の劇的な減少という顕著な効果をもたらした。体制開始年度（平成24年度）、年40件弱であった「医療機関の対応に問題がある症例」は、体制開始翌年度（平成25年度）には19件に半減、平成30年度にはわずか4件となる。これに呼応するように、搬送困難事案も、新体制開始前年度（平成23年度）の143件から、新体制開始翌年度（平成25年度）には38件へと大幅に減少、COVID-19流行前には1桁となっていた。この結果は、MC協議会による検証が、救急懇話会における地域医療体制の構築に有効に作用したことを明確に示している。個別の事例検証と、体制構築のための会議体とが密接に連携することで、救急搬送現場の課題が地域全体の課題として認識され、具体的な改善策へと繋がったのである。

運用により得られた効果・課題

（効果）

最大の効果はMC体制と地域医療体制の継続的かつ強固な連携体制が確立されたことである。二つの会議体が情報を共有し相互に作用する仕組みを構築したことで、実践的な改善策が講じられるようになった。この連携は、COVID-19のパンデミックにおいても真価を発揮し、大阪府全域の圏域外搬送率が1割を超える状況に達したのに対し、泉州地域では比較的軽微な水準に抑えられた。平時からの連携強化が有事における医療崩壊を防ぐ上で極めて有効であることを証明した。地域医療機関が一体となって危機に対応する体制が構築されていたことの何よりの証左である。

（課題）

今後はCOVID-19以降も続く、感染症流行下における搬送困難への対応である。令和6年度末には、インフルエンザの流行が顕著となり、それに伴い搬送困難件数が増加した。この事例は、感染症の流行が地域医療体制に与える影響の深刻さを示している。今後は、特定の症例だけではなく様々な因子が複合的に作用して発生する搬送困難事案に対し、その原因を多角的に分析し、対策を講じていく必要がある。

大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会

MC圏域管轄人口（812,869人）・MC圏域構成消防本部数（6本部）・MC圏域救急隊数（30隊）・

MC圏域の消防職員数（967人）・MC圏域の指導救命士数（28人）

第2部

パネルディスカッション

【テーマ】効果的な多職種連携を目指すための相互理解について

【発表演題】

- (1) 高齢者救急に対する堺市消防局の取組について

堺市消防局 渡部 和也

・・・・・・・・・・P. 16

- (2) 老健施設への情報提供依頼と実情

みよし広域連合消防本部 中本 裕己

・・・・・・・・・・P. 17

- (3) 救急搬送を減らすカギは“訪問看護”にある
～訪問看護の機能を再確認しませんか～

訪問看護ステーション幸 森永 早紀

・・・・・・・・・・P. 18

- (4) 増え続ける高齢者救急課題に対する岡山県医師会の取組

公益社団法人岡山県医師会 松山 正春

・・・・・・・・・・P. 19

- (5) 地域マネジメントによる高齢者救急システムの構築

— 八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会（八高連）の実践から

医療法人永寿会陵北病院 田中 裕之

・・・・・・・・・・P. 20

※各演題の発表スライドについては、本冊子上ではなく、以下の消防庁ホームページ上に掲載しております。

・令和7年度 第2回 全国メディカルコントロール協議会連絡会

https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/r7-2.html

【第2部】「パネルディスカッション」応募要領（抄）

救急業務におけるメディカルコントロール体制の更なる充実強化を図ることを目的に、令和8年1月23日（金）（14～17時予定）に令和7年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）（於：熊本城ホール（熊本市））を開催いたします。

第2部のパネルディスカッションでは「効果的な多職種連携を目指すための相互理解について」をテーマとして、次のとおり演題を募集いたします。

1 目的

高齢者に対する救急出動・搬送件数が増加し、特に、85歳以上の救急搬送率が増加する中、傷病者を取り巻く様々な関係職種が、各職種の業務や課題、取組を共有し、関係職種の相互理解と連携の推進を図ることを目的とする。

2 公募について

（1）対象

各地のメディカルコントロール体制の構築に関わる消防機関の消防職員、救急医療機関の医師、訪問診療の関係者、都道府県や市町村の衛生主管部（局）職員、高齢者施設等の関係者

（1演題につき1名での発表）

（2）内容

ア テーマ

「効果的な多職種連携を目指すための相互理解について」

イ 演題

以下の＜演題例＞に記載している内容を参考に、多職種連携や相互理解に資する演題を幅広く募集いたします。

演題発表後は、発表者間でパネルディスカッションを行います。

＜演題例＞

- 各職種の業務、課題や取組について
- 地域における多職種が参画する研修会や協議体等の実施例
- 地域全体における救急搬送以外も含めた医療ネットワーク構築の取組
- 地域包括ケアシステムにおける各職種の役割や取組（消防機関の関わりも含む）

発表演題 1 高齢者救急に対する堺市消防局の取組について

堺市消防局 渡部 和也

抄録

当局の救急件数は全国と同様、増加傾向にある。年齢別の救急搬送者数の推移を見ると、15年前と現在では、高齢者以外の搬送数は横ばい、又は減少しているが、高齢者の搬送数が約2万人から約4万人へと倍増しており、救急件数の将来推計では2035年ごろまで増加する可能性がある。

消防（救急）の任務である、「災害等による傷病者の搬送を適切に行う。」ため、救急体制の整備（救急隊の増隊）に務めているところであるが、生産年齢人口が減少し、予算（財源）も限られることから、救急体制整備だけでなく、救急車適正利用の啓発をはじめとしたあらゆる角度からの需要対策の重要性が高まっている。

そのような中、当局における的を絞った需要対策である高齢者救急に対する取組を紹介する。

【高齢者施設との連携強化】

当局の高齢者施設からの救急要請は、高齢者搬送数の約17%を占めている。高齢者施設の救急事案とそれ以外の場所での救急事案を比較すると、現場到着から現場出発までの現場滞在は明らかに高齢者施設の方が時間を要していることなどから、救急隊員と施設職員との連携を強化するため、堺市社会福祉協議会内の「堺市老人福祉施設部会」において、様々な意見交換を行っている。

【高齢者に関わる庁内等関係者会議】

堺市各区では、高齢者に関わる部署の担当者が集う「高齢者関係会議」を毎月開催している。構成員は、民生委員やケアマネージャー、市の福祉部門の職員らとなっており、消防からは各消防署の副署長が参画している。会議内容は、高齢者に関するもの全般であることから、振り込め詐欺の防止や火災予防等多岐に渡るが、救急業務に関わる内容として「熱中症予防」、「救急安心センターおおさかの普及啓発」、「患者等搬送事業者の案内」等、積極的に救急施策をPRしている他、最近では、心肺蘇生等を望まない傷病者からの救急要請をはじめ、ACP（人生会議）について、現場の救急隊が困っていることなどの意見交換を行っている。

【堺市における医療と介護の連携をすすめる関係者会議】

医療関係者と介護・保健・福祉関係者が互いの交流を図るため、堺市医師会が主導する「堺市における医療と介護の連携をすすめる関係者会議」に令和7年4月から消防局も委員として参画している。医療と介護との間の様々な場で救急隊が関与することが少なくなく、救急現場で顕在化している課題について、意見交換を図っている。

運用により得られた効果・課題

（効果）

互いの職種、立場を理解しあうことで誤解が解けたり、顔の見える関係を構築することで、救急活動時の関係機関との連携が円滑となり、高齢者の救急搬送をより適切に行っていけることが期待できる。

また、必要に応じて、傷病者個人が抱える問題に対して関係機関と連携しアプローチすることで、生活改善や救急車の適正利用につなげる等の効果も期待している。

発表演題2 老健施設への情報提供依頼と実情

みよし広域連合消防本部 中本 裕己

抄録

令和6年徳島県みよし広域連合消防本部管内での搬送人員は2394件、うち85歳以上の搬送人員は全体の約35%です。介護老人保健施設(以下老健施設)からの搬送人員は250件で、過去5年間で調査しても少しずつ増加しており、老健施設搬送人員のうち、85歳以上の搬送は約80%と多数を占めています。

救急搬送に関しては、通常の救急出場時と同様に、関係者(施設職員や看護師)から情報を聴取し病院連絡を行い、搬送する流れではありますが、時には担当ではない職員や、交代直後で状況があまり把握できていない職員が対応し、状況確認や情報共有に時間がかかり搬送開始までに時間を要する事案も見受けられていました。利用者さん本人とコミュニケーションがとれる場合だと良いのですが、意識障害があり意思疎通ができない場合や、CPAの場合では普段の状況をよく知る職員の方々の情報が頼りになってきます。

しかし、傷病者(施設利用者)の情報がわからない職員が対応してくださった場合には、現場での滞在時間や病院連絡に時間を要することがあり、何か対応策はないだろうかと考えておりました。

そこで当本部では、令和5年度より「救急情報提供シート」という様式を作成し、事前に簡単な説明を行った後、老健施設に文書で依頼を行いました。

依頼開始(令和5年5月1日)から令和6年12月末までの間におきまして、老健施設からの搬送人員に対して実際に「救急情報提供シート」を手渡された割合は僅か3%でした。中には施設が管理するサマリーをコピーしたものを渡して下さった事案もありますが(救急情報提供シートの件数には計上していません)、救急隊が聴取したい内容が入っていないかったりもしました。

事実、老健施設に浸透していなかったが現状であります。職種が違えば当然業務内容も違うので、優先順位も違ってきます。我々自身も自分たちの欲しい情報だけをピックアップして依頼していたので、老健施設職員にとっては普段の業務に加え作業が一つ増えることとなります。また、実際のところ、顔の見える関係が構築されておらず、信頼関係のようなものが無いのも要因の一つではないかとも思います。また、医療機関と消防との間で行っている症例検討会や、病院実習のように直接会う機会は少なく、救急出場して初めてお会いする職員もいらっしゃいます。

今後の課題として、「救急情報提供シート」について理解していただき、多職種間でスムーズな連携活動ができるようにするためにはどのような取り組みが必要なのかを考え実行していくかが必要ではないかと考えます。今回、このディスカッションで他の消防本部では多職種との連携において、どのような取り組みをされて効果が出ているのかをお聞きし、当本部に活かすことができれば良いかと考えております。

運用により得られた効果・課題

(効果)

僅か数件ではあるが情報を聞く手間が省けて、観察と処置に専念することができ、病院連絡までがスムーズに行うことができた。

傷病者(施設利用者)の担当職員でなくとも、情報提供シートのおかげで情報の共有ができた。

(課題)

老健施設職員全体に浸透しておらず、提出率が極めて少ないのが実情。(作成していても失念している場合もあり。)今後の取り組みとして、文書による依頼を毎年行ったり、提出して頂いた際のスムーズな搬送事例を提示。また、救命講習の際に積極的に呼びかけを行うことで、提出率を増やして頂くと共に救急搬送に対する理解を深めてもらう。老健施設内での119通報の流れを確認する訓練を実施していくことも計画中。まだまだ課題が山積みではあるが、今後増加する救急搬送に対して一歩でも前進できるよう取り組んでいきたい。

発表演題3 救急搬送を減らすカギは“訪問看護”にある ～訪問看護の機能を再確認しませんか～

訪問看護ステーション 幸 森永 早紀

抄録

近年、高齢化の進展に伴い、救急出動や搬送件数は増加の一途をたどっています。特に85歳以上の高齢者における救急搬送率は顕著に上昇し、医療・介護現場に深刻な課題を突きつけています。その背景には疾病や急変だけでなく、孤立や生活不安、家族のサポート不足など多様な要因が存在します。こうした状況において、傷病者を支える多職種が互いの役割を理解し、効果的に連携することが一層重要となっています。

訪問看護の強みは、単なる訪問にとどまらず「電話相談を含めた窓口機能」を持つことです。日常的に利用者の状態を把握している訪問看護師は、家族や介護施設、デイサービス、ケアマネジャー、さらには医師や病院とも連携しながら、相談や状態確認に応じています。特に「救急車を呼ぶべきかどうか」と迷う場面で、訪問看護の介入が適切な救急要請や搬送の判断につながっています。

事例を二つ紹介します。

一つ目は、独居で「体調が悪い気がする」と毎日のように救急要請をしていた方のケースです。訪問看護導入前は不安から毎日のように救急車を呼んでいましたが、導入後は電話相談や定期的な観察を通じて安心して生活できるようになり、現在は救急要請がゼロとなりました。訪問看護が「安心して頼れる窓口」となることで、救急搬送の最適化と利用者の安心感が両立した例です。

二つ目は、ご家族から体調不良の相談を受け、訪問看護師が緊急訪問したケースです。当初は往診医の判断で経過観察となりましたが、その後「顔面蒼白で呼吸が止まっているかもしれない」と再度連絡があり、看護師が状況を確認して救急要請につなげました。訪問看護が日常的に関わっていたことで関係者との連携がスムーズに進み、必要な場面で適切な救急搬送を行うことができました。

このように訪問看護の価値は、単なる「駆けつけ」ではなく、日常の継続的な支援にあります。生活環境や家族状況を含めて利用者を見守るからこそ、緊急時に正確な判断が可能になります。また、救急隊や病院にとっても「日常を知る看護師の報告」は非常に貴重な情報源となります。

さらに、医療保険・介護保険の「緊急時加算」を活用することで、月1回以上の訪問があれば、体調不良時に電話や訪問依頼を何度でも行うことができます。自己負担は1割で約680円「安心を備えるための制度」と言えます。当事業所では8割以上の利用者が活用しており、要支援の方にも有効に機能しています。広く周知されれば、救急搬送の抑制に直結すると考えています。

今後の課題は【超高齢社会において、消防が訪問看護を“近くて頼れる存在”となる仕組み】を整えることです。すべての救急出動を医療機関に直結させるのではなく、訪問看護へつなぐことで迅速かつ的確な支援が可能となり、ケアマネジャーや介護サービスへの橋渡しもスムーズに行えます。医療と介護の両面を理解する訪問看護師だからこそ、この役割を担うことができます。消防の負担を軽減し、地域における安心の基盤を強化するためにも、訪問看護の活用を進化させる必要があります。

訪問看護は「救急車を呼ばないための代替手段」ではなく、「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための基盤」です。救急・医療・介護の多職種が相互理解を深めて補い合うことで、地域全体の安心と安全は確実に高まります。高齢化が進む社会において、訪問看護の機能と価値を改めて見直し、その力を最大限に発揮していくことが求められているのではないのでしょうか。

運用により得られた効果・課題

（効果）

訪問看護が日常的に介入することで、利用者や家族が不安時に相談できる「安心の窓口」となり、救急要請の最適化が実現しました。独居高齢者の救急要請がゼロになった例や、必要な場面で適切に救急搬送につなげられた例は、訪問看護の強みを裏付けています。また「緊急時加算」により低負担で相談でき、利用者の安心感と救急搬送の抑制につながりました。地域において訪問看護が医療・介護の架け橋となり、多職種連携の質を高めている点も大きな効果です。

（課題）

今後の課題は【超高齢社会において、消防が訪問看護を“近くて頼れる存在”となる仕組み】を整えることです。現在は救急要請がすべて医療機関へ直結してしまい、必ずしも最適な対応になっていません。訪問看護を経由することで迅速かつ的確な支援が可能になり、ケアマネジャーや往診医への橋渡しも円滑になります。訪問看護師は医療と介護の両面を理解しているからこそ、この役割を担えます。消防の負担軽減と地域全体の安心を実現するため、制度的・運用的な整備が必要であると考えます。

発表演題4 増え続ける高齢者救急課題に対する岡山県医師会の取組

公益社団法人岡山県医師会 松山 正春

抄録

岡山県においても、全国傾向同様に高齢者の救急搬送が増え続けている。また、岡山市消防局管内における搬送実績を分析すると、総搬送数に占める高齢者施設からの搬送割合は、平成30年には8.92%であったところ、年々増加し、令和3年には10%を超え、平成5年（1～6月）には、10.76%と増え続けている。高齢者施設からの搬送は、心肺停止事例や搬送困難事例の多い状況である。

これらの課題に対して、岡山県医師会では、啓発活動、相談事業、体制整備として、次の取組を実施している。

1. 岡山県医師会移動会長室事業

平成30年6月から岡山県医師会移動会長室事業を新規事業としてスタートさせた。「ACP・人生会議普及啓発」を柱の一つとし、県内各地に出向いての出前講座を実施し、地域住民の意識向上を目指している。岡山県医師会会長と救急医の2名での内容構成とし、地元地区医師会、自治体、消防等とも連携を図っている。各地域住民、ひとり一人が望む最期を迎えられるよう「生き方」を考えるきっかけ作りを行っている。これは、ひいては人生最期の段階で不要な救急搬送を減らす一助であると考ええる。

また、高齢者施設からの軽症搬送や心肺停止での搬送も続いていることから、高齢者施設従事者や医療関係者を対象とし、ACP（Advance Care Planning）の考え方や取り組み方についても普及啓発に努めている。医療現場、特に救急現場の実情を理解いただくことと合わせて、高齢者施設側の現状も含めて意見交換し、お互いの実情や課題を共有できるように努めている。

令和7年7月末現在の実績は、総実施回数64回、参加者3,882名である。そのうち、医療介護従事者対象は22回である。特筆すべきことは、中学生・高校生に対しても14回実施しており、子ども同士に限らず、話を聞いた子どもから親世代、祖父・祖母世代へと家庭内で話が広がり、横展開・縦展開が見られており、年齢や世代に関わらず地域の意識醸成へと繋がる取組であると考ええる。

2. コールセンター事業

高齢者施設や高齢者支援に関わる職員（施設・在宅を問わず）を対象とし、高齢者の状態変化、急変時等で嘱託医やかかりつけ医と連絡が取れない時に活用できるコールセンター事業を令和5年8月から24時間、365日体制、相談料無料で開始している。コールセンターに電話すると、岡山大学病院高度救命救急センターの救急医に直接繋がり相談できる体制を構築している。

岡山県内では、#7119導入は2自治体（令和7年8月末）に留まっており、誰にも相談できない不安からの不要な救急搬送を減らす目的で設置している。相談実績は、令和5年度16件、令和6年度46件、令和7年度（4～8月）39件と少しづつではあるが増えてきている。令和7年度からは、相談事例に対して、その後の事後検証のために2日以内にその後の状況確認連絡を行っている。事後検証でも、電話でのアドバイスで適切に施設職員等が対応し、高齢者の状態等に問題は生じていない結果となっている。

3. D N A R（Do Not Attempt Resuscitation）対応体制整備

岡山県では、D N A R指示があっても一律に蘇生処置を行う取り決めとなっている現状である。岡山県全域で患者が望む最期を提供できる基盤づくりを目指し、令和7年度から、岡山県の地域性にあったプロトコルを作成できるように、全国事例調査等を実施していく。

運用により得られた効果・課題

（効果）

1. 意識の醸成、地域づくりの一助

移動会長室事業を通じて、年齢・世代を問わず考えるきっかけ作りとなり、各地域でのその後の取り組み展開に繋がっている。

高齢者施設では、繰り返しの講座開催要望もあり、口コミでの広がりもみられる。

2. 不要不急な救急搬送の抑制への一助

コールセンターへの相談において、救急搬送を迷っている事例に対して、対応アドバイスを行い、不要不急な救急搬送の抑制の一助となっている。

（課題）

県内各地、施設間での対応もレベルの差もあり、全体の底上げを図るには、時間と工夫を要する。

高齢者救急の課題は、医療・介護関係者に加えて住民をも巻き込んだ活動が必要であり、それぞれの意識醸成や地域・街づくりと考えて取組む必要性があると考ええる。

発表演題5 地域マネジメントによる高齢者救急システムの構築

― 八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会（八高連）の実践から

医療法人永寿会陵北病院 田中 裕之

抄録

【背景・目的】

全国の救急出動件数の約6割を高齢者搬送が占める中、受入困難事案の増加が課題となっている。八王子市では平成21年、消防法改正を契機に医療機関選定困難事案287例を検証した結果、「高齢者」が最も多い要因であることが判明した。これを受け、平成23年に「八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会（八高連）」を設立し、医療・介護・行政・消防・市民が協働する「地域マネジメント」型の高齢者救急システムを構築した。目的は、地域包括ケアの一翼を担う救急体制の整備と、搬送の円滑化、情報共有の強化にある。

【方法】

八高連は20団体・1,753機関で構成され、「入口問題」（受入困難）と「出口問題」（退院・転院困難）を軸に協議を重ねた。各機関の管理者が参加し、課題を整理・共有した上で、行動方針を「審議結果」として明文化した。成果物として①救急医療情報シート（安心シート）、②療養型医療機関の受入可能疾患一覧表を作成し、情報連携に活用した。救急情報シートは既往歴・内服・本人の事前指示を含むもので、救急隊・医療機関間の情報伝達を迅速化した。また、施設・在宅での緊急対応指針の作成や職員研修を行い、現場力の向上を図った。消防署、医師会、慢性期医療機関、行政の担当課が同席して協議を行うことにより、救急と在宅医療、介護の垣根を超えた実務的連携が進んだ。

【成果】

活動開始後、65歳以上の救急活動時間（病着～引継ぎ）は平成23年の11分6秒から令和5年に8分5秒へ短縮、市内収容率は71.9%から83.7%（令和1年）に上昇した。さらに、救命救急センターへのCPA搬送数は305件から209件（平成26年）に減少し、地域内完結搬送が進んだ。慢性期医療機関による救急車受入数も増加し、地域の受け皿が拡充した。これらの成果は、医療・介護・消防・行政が水平的に協働し、情報と意思決定を共有する地域マネジメントの効果を示すものである。また、協議の過程で得られた信頼関係は、災害時や感染症流行時など、平時以外の医療連携にも波及しており、地域防災医療ネットワークの基盤形成にも寄与している。

【考察】

八高連の活動は、従来の縦割りを超えた多職種協働による「地域マネジメント型救急体制」の有効性を実証した。救急医療を地域包括ケアのセーフティネットと位置づけ、市民・医療・介護が共に支える仕組みを構築したことに意義がある。また、救急情報シートを通じて本人の意思確認やACP（アドバンス・ケア・プランニング）が進み、救急現場での倫理的判断支援にも寄与した。市民、行政、消防、医療機関の相互理解を深めるこのプロセス自体が「地域包括ケアの成熟度」を高める契機となった。

【結論】

八王子市における八高連の取組は、地域の特性に即した高齢者救急システムとして機能し、医療・介護・行政・消防・住民が協働する地域連携モデルを提示した。

運用により得られた効果・課題

（効果）

1. 65歳以上の救急活動時間（病着～引継ぎ）の短縮
2. 八王子市内における傷病者の八王子市内収容率の向上
3. 救命センターへのCPA搬送数の低下
4. 慢性期医療機関における救急車の受け入れ台数の増加
5. 地域防災医療ネットワークの基盤形成に寄与

（課題）

1. 救急情報シートの更なる活用
2. 地域でのACPの普及促進
3. 病院救急車、民間救急車等の活用
4. 冬季のインフルエンザ等流行時期への対応

全国メディカルコントロール協議会連絡会関連資料

- 全国メディカルコントロール協議会連絡会開催要綱・世話人会構成員名簿……P. 23
- メディカルコントロール体制に関する実態調査概要……P. 26
 - ・メディカルコントロール協議会数及び指導救命士認定者数……P. 27
 - ・都道府県メディカルコントロール協議会構成員状況……P. 28
- 全国救命救急センター設置状況一覧表……………P. 30
- 都道府県別メディカルコントロール協議会概要……………P. 36

全国メディカルコントロール協議会連絡会開催要綱

(目的)

第1条 救急需要の増大や救急業務の高度化に伴い、救急救命士を含む救急隊員等が行う応急処置等の質を医学的観点から保障することを目的に全国的に設置されている、消防機関と救急医療機関等で構成するメディカルコントロール（以下「MC」という。）協議会の機能について、更なる充実・強化が求められており、さらに今後、救急医療提供体制を構築する場としての活用も期待されているが、各地域におけるMC体制やMC協議会の取組は様々である。そのため、消防庁及び厚生労働省は、MC協議会に関係する機関がMC体制に関する課題を整理するとともに、自己評価及び他のMC協議会から学ぶことができるよう情報共有及び提言の場として、救急医療に関係する学会、団体、消防機関、医療機関等により構成される全国メディカルコントロール協議会連絡会（以下「連絡会」という。）を、開催する。

(検討・実施事項)

第2条 連絡会は、次の各号に掲げる事項に関する事務を行う。

- 一 MC体制の充実・強化に関する現況把握及び情報交換
- 二 各地域のMC体制の充実・強化に資する提言
- 三 その他連絡会が必要と認める事項

(組織)

第3条 連絡会は、全国のMC協議会関係者、MC体制の整備に関わる医師、救急救命士、救急隊員等病院前救護に従事する者、その他関係機関からの出席者をもって構成する。

- 2 連絡会に会長を置く。
- 3 連絡会の会長は、次条第6項に定める会長が務めるものとする。

(世話人会)

第4条 各関係機関が抱えるMC体制に関わる課題を整理し検討するため、連絡会に世話人会を置く。

- 2 世話人は、次の各号に掲げる関係機関の推薦する者で構成する。
 - 一 関係学会（日本救急医学会、日本臨床救急医学会、日本麻酔科学会）
 - 二 関係団体（日本医師会、日本救急医療財団、救急振興財団）
 - 三 消防関係機関（消防庁、都道府県消防防災・危機管理部局長会、全国消防長会、消防本部）
 - 四 医療関係機関（厚生労働省、全国衛生部長会、全国保健所長会）
 - 五 その他関係機関

- 3 世話人の任期は2年以内とし、再任を妨げない。
- 4 世話人が異動等により関係機関の推薦が得られなくなったときは、関係機関から新たに推薦される後任が任期を引き継ぐものとする。
- 5 世話人は、世話人会に出席することができない場合には、代理人を世話人会に出席させることができる。
- 6 世話人会に会長及び会長代行を置き、世話人の互選により定める。
- 7 世話人の推薦により、会長が指名する複数名の相談役を置くことができる。
- 8 会長は世話人会の会務を統括する。
- 9 会長は、世話人会に必要と認める者を参考人として加えることができる。
- 10 会長代行は、会長に事故があるときにその職務を代理する。
- 11 相談役は、会長及び会長代行を補佐する。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、連絡会の運営及び第1条に掲げる目的を達成するために必要となるその他の事項については、会長がこれを定める。

- 2 連絡会の庶務は、関係機関の協力を得て、消防庁救急企画室及び厚生労働省医政局地域医療計画課が行う。

附 則

この要綱は、平成19年5月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年5月2日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年5月14日から施行する。

全国メディカルコントロール協議会連絡会世話人会構成員名簿

(五十音順、◎は会長、○は会長代行、☆は相談役)

(令和7年10月8日現在)

- ☆ 有 賀 徹 (労働者健康安全機構顧問)
- 井 上 茂 亮 (和歌山県立医科大学医学部救急・集中治療医学講座教授)
- ☆ 大 友 康 裕 (国立病院機構災害医療センター病院長)
- 岡 地 俊 季 (消防庁救急企画室長)
- 近 藤 祐 史 (厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室長)
- 坂 上 新 次 (札幌市消防局長)
- ☆ 坂 本 哲 也 (公立昭和病院長)
- 坂 元 昇 (川崎市健康福祉局医務監)
- 佐々木 敦朗 (一般財団法人救急振興財団理事長)
- ☆ 島 崎 修 次 (学校法人国士館理事)
- 田 邊 晴 山 (一般財団法人救急振興財団救急救命東京研修所教授)
- 永 野 義 武 (東京消防庁救急部長)
- 藤 田 利 枝 (久留米市保健所長)
- 細 川 秀 一 (日本医師会常任理事)
- 松 田 直 之 (名古屋大学医学系研究科救急・集中治療医学分野教授)
- 溝 端 康 光 (公立大学法人大阪公立大学大学院医学研究科救急医学講座教授)
- 宮 川 江 美 (千葉県防災危機管理部消防課長)
- 森 村 尚 登 (社会医療法人社団正志会救急災害医療連携・DX推進部門長)
- ☆ 行 岡 哲 男 (一般財団法人日本救急医療財団顧問)
- ◎ 横 田 順一朗 (地方独立行政法人堺市立病院機構顧問)
- 横 田 裕 行 (一般財団法人日本救急医療財団理事長)

(オブザーバー)

中 野 剛 二 (海上保安庁警備救難部救難課医療支援調整官)

「救急救命体制の整備・充実に関する調査」及び「メディカルコントロール体制等の実態に関する調査」について

1. 調査の目的

救急業務の質の維持・向上等を目的として、救急業務において重要な役割を担うメディカルコントロール（以下「MC」という。）に関し、MC協議会の体制、開催状況等をはじめとする全国の実態を調査・把握するために実施した。

2. 調査方法

（1）対象

全国の都道府県MC協議会、地域MC協議会、消防本部を対象として、それぞれに調査票を作成した。

なお、都道府県内に地域MC協議会を設置していない都道府県については、地域MC協議会の役割を都道府県MC協議会が担っていることから、都道府県MC協議会に地域MC協議会の調査票の回答も依頼した。

対象数は、以下のとおり。

- 都道府県MC協議会・・・・・・・・・・47協議会
- 地域MC協議会・・・・・・・・・・251協議会
- 消防本部・・・・・・・・・・720消防本部

（2）調査票の配布・回収方法

各都道府県消防防災主管部（局）を通じて各対象へ調査票を配布。都道府県MC協議会、地域MC協議会及び消防本部の回答結果をWebアンケートにより回収した。

3. 調査名

（1）「救急救命体制の整備・充実に関する調査」及び「メディカルコントロール体制等の実態に関する調査」

（ア）期間

令和7年8月8日～令和7年9月5日

（イ）基準日

令和7年8月1日（昨年比較：令和6年8月1日）

（ウ）回収率

100%

4. 結果

消防庁ホームページに掲載予定

URL <https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/r7-2.html>

メディカルコントロール協議会数及び指導救命士認定者数

令和7年8月1日現在

No.	都道府県名	都道府県 MC協議会	地域 MC協議会
1	北海道	1	6
2	青森県	1	3
3	岩手県	1	11
4	宮城県	1	9
5	秋田県	1	8
6	山形県	1	4
7	福島県	1	4
8	茨城県	1	8
9	栃木県	1	5
10	群馬県	1	11
11	埼玉県	1	6
12	千葉県	1	10
13	東京都	1	1
14	神奈川県	1	5
15	新潟県	1	6
16	富山県	1	4
17	石川県	1	1
18	福井県	1	4
19	山梨県	1	1
20	長野県	1	10
21	岐阜県	1	5
22	静岡県	1	8
23	愛知県	1	7
24	三重県	1	9
25	滋賀県	1	7
26	京都府	1	6
27	大阪府	1	8
28	兵庫県	1	5
29	奈良県	1	1
30	和歌山県	1	3
31	鳥取県	1	3
32	島根県	1	4
33	岡山県	1	3
34	広島県	1	7
35	山口県	1	5
36	徳島県	1	1
37	香川県	1	1
38	愛媛県	1	3
39	高知県	1	1
40	福岡県	1	4
41	佐賀県	1	5
42	長崎県	1	7
43	熊本県	1	12
44	大分県	1	1
45	宮崎県	1	7
46	鹿児島県	1	6
47	沖縄県	1	5
合計		47	251

令和7年8月1日現在

指導救命士 認定者数 (現員数)	指導救命士 認定者数 (累計)
77	77
77	77
61	61
51	63
50	65
43	57
82	88
176	188
75	133
80	92
246	303
191	194
20	30
182	200
70	108
18	20
69	86
53	54
51	52
63	157
113	230
90	90
0	0
94	151
59	68
92	113
204	311
150	188
46	46
74	77
38	43
51	56
58	67
89	138
97	98
36	41
46	49
91	91
51	64
272	272
40	59
43	46
141	141
76	76
24	26
63	100
96	96
46都道府県 3,969人	46都道府県 4,842人

※都道府県内に地域MC協議会を設置していない都道府県は、地域MC協議会の役割を都道府県MC協議会が担っているため、地域MC協議会に「1」と計上し、重複計上している。

※指導救命士認定者数については、令和7年度「救急救命体制の整備・充実に係る調査」及び「メディカルコントロール体制等の実態に関する調査」に基づく都道府県MC協議会回答票に基づく令和7年8月1日現在の報告数である。

※指導救命士認定者数については、都道府県独自の認定基準も含む

都道府県メディカルコン

No.	都道府県メディカルコントロール協議会名称						
		①救命救急センターの救急科の医師	②救命救急センターの救急科以外の医師	③救命救急センター以外の病院の救急科の医師	④救命救急センター以外の病院の救急科以外の医師	⑤医師会の医師	⑥保健所の医師
1	北海道救急業務高度化推進協議会	5	1	0	0	5	0
2	青森県メディカルコントロール協議会	3	3	0	0	1	0
3	岩手県救急業務高度化推進協議会	2	1	0	11	2	0
4	宮城県メディカルコントロール協議会	6	0	0	3	6	0
5	秋田県メディカルコントロール協議会	3	0	1	7	1	4
6	山形県救急業務高度化推進協議会	4	0	0	9	1	5
7	福島県メディカルコントロール協議会	4	4	1	2	2	1
8	茨城県救急業務高度化推進協議会	2	0	0	2	2	1
9	栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会	5	1	0	2	4	0
10	群馬県救急医療体制検討協議会	4	0	0	5	3	1
11	埼玉県メディカルコントロール協議会	12	3	0	1	6	0
12	千葉県救急業務高度化推進協議会	1	1	0	0	1	0
13	東京都メディカルコントロール協議会	3	4	4	2	2	0
14	神奈川県メディカルコントロール協議会	5	0	2	5	2	0
15	新潟県メディカルコントロール協議会	7	0	0	0	1	1
16	富山県救急業務高度化推進協議会	0	0	0	9	1	0
17	石川県メディカルコントロール協議会	2	1	5	5	1	0
18	福井県メディカルコントロール協議会	4	0	6	2	1	0
19	山梨県メディカルコントロール協議会	4	0	1	50	1	1
20	長野県メディカルコントロール協議会	7	0	2	2	1	0
21	岐阜県メディカルコントロール協議会	6	0	0	6	2	1
22	静岡県メディカルコントロール協議会	11	0	1	0	2	1
23	愛知県救急業務高度化推進協議会	24	3	1	0	1	0
24	三重県救急搬送・医療連携協議会	0	0	0	0	1	0
25	滋賀県メディカルコントロール協議会	5	0	1	0	1	0
26	京都府高度救急業務推進協議会	9	5	1	6	3	0
27	大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会	9	0	0	3	1	0
28	兵庫県メディカルコントロール協議会	5	0	3	4	1	0
29	奈良県メディカルコントロール協議会	6	0	2	4	0	0
30	和歌山県救急救命協議会	3	0	7	1	4	1
31	鳥取県救急搬送高度化推進協議会	1	0	0	1	4	1
32	島根県救急業務高度化推進協議会	0	4	0	2	1	0
33	岡山県救急搬送体制連絡協議会	2	0	4	2	4	1
34	広島県メディカルコントロール協議会	2	0	0	2	2	0
35	山口県救急業務高度化推進協議会	6	5	2	7	3	2
36	徳島県メディカルコントロール協議会	2	0	1	24	3	4
37	香川県メディカルコントロール協議会	2	0	2	7	2	0
38	愛媛県メディカルコントロール協議会	1	2	2	3	4	1
39	高知県救急医療協議会	3	0	3	6	0	0
40	福岡県救急業務メディカルコントロール協議会	10	0	0	4	7	0
41	佐賀県メディカルコントロール協議会	5	0	0	11	7	0
42	長崎県メディカルコントロール協議会	4	1	0	6	1	0
43	熊本県メディカルコントロール協議会	4	1	1	12	2	0
44	大分県救急業務協議会	7	0	2	5	1	1
45	宮崎県メディカルコントロール協議会	4	1	3	16	2	1
46	鹿児島県救急業務高度化協議会	3	1	0	8	2	1
47	沖縄県メディカルコントロール協議会	1	0	0	12	1	1
合計		218	42	58	269	106	30

トロール協議会構成員状況

構成員(令和7年8月1日現在)						
⑦都道府県衛生主幹部局の課長等	⑧都道府県消防防災主管部局の課長等	⑨消防本部の消防長、救急担当課長等(管理監督者)	⑩都道府県メディカルコントロール協議会の要綱等で定めた指導救命士	⑪消防本部の通信指令担当課長	⑫その他	その他の構成員 (自由記載内容)
2	2	8	0	0	2	消防学校、政令市保健所
1	1	3	0	0	1	消防長会の推薦するもの
2	1	3	0	0	0	
1	1	3	0	0	0	
1	1	3	3	0	0	
1	1	5	0	0	0	
1	1	1	0	0	5	歯科医師会理事、市長会事務局長、町村会事務局長、県警本部長、日本赤十字社福島県支部事務局長
1	1	1	0	0	0	
1	1	6	0	0	4	市町村衛生主管部局の課長等、診療所の医師
2	1	3	0	0	3	病院協会、看護協会、看護部長
2	1	11	0	0	0	
1	1	1	0	0	15	救命救急センター設置病院の長15名
1	1	5	0	0	4	医療法規専門家、看護師、社会研究科
1	1	5	0	0	0	
0	0	6	0	0	0	
1	1	0	4	0	1	看護協会
1	1	11	0	0	0	
1	1	4	26	0	0	
1	1	10	9	0	4	弁護士、精神保健福祉士、警察
1	2	4	0	0	0	
0	0	7	0	0	13	県病院協会、県看護協会、産婦人科医会、看護部長、副看護部長、訪問看護ステーション、救命学科准教授
0	0	3	0	0	1	病院協会の医師
1	1	17	0	0	0	
1	1	8	0	0	13	救命救急センターが存する病院の病院長、救命救急センターが存する病院以外の病院長、診療に関する学識経験者の団体の会長等、学識有識者等
5	1	7	0	0	0	
1	1	4	0	0	4	学識経験者
0	0	3	0	0	1	大阪弁護士会 弁護士
0	0	5	0	0	2	弁護士、看護協会会長
0	0	0	0	0	1	病院協会の医師、消防長会救急部会長及び副部会長
1	1	9	0	0	2	県病院協会の医師
0	0	0	3	0	5	鳥取県看護協会の看護師、鳥取県訪問看護ステーション連絡協議会の訪問看護師、老人福祉施設協議会の会員
1	1	9	0	0	1	鳥根県病院協会会長、市長会および町村会の常務理事
1	1	14	0	0	2	岡山県市長会会長、岡山県町村会会長
1	1	2	0	0	1	看護協会の看護師
4	4	9	0	0	5	老人福祉施設団体代表者、救急救命士
2	1	26	28	13	0	
1	1	3	2	0	2	県教育委員会、弁護士
1	1	6	0	0	0	
0	0	0	10	0	5	消防本部が推薦する職員
2	1	7	0	0	0	
1	1	5	0	0	3	老人福祉施設協議会、女性防火防災クラブ連絡協議会、看護協会
1	2	3	0	0	0	
2	0	12	0	0	0	
1	1	7	2	0	2	県職員(こども未来課、障害福祉課)
1	1	10	0	0	0	
1	1	6	0	0	0	
1	1	5	0	0	1	ドクターヘリ運航病院、消防学校から推薦された者
53	44	280	87	13	103	

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

令和7年8月1日現在

都道府県	救命救急センター	施設名
北海道	①	旭川赤十字病院
	②	市立函館病院
	③	市立釧路総合病院
	④	北見赤十字病院
	⑤	市立札幌病院
	⑥	帯広厚生病院
	⑦	札幌医科大学附属病院
	⑧	手稲溪仁会病院
	⑨	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
	⑩	旭川医科大学病院
	⑪	砂川市立病院
	⑫	名寄市立総合病院
	⑬	北海道大学病院
青森県	①	青森県立中央病院
	②	八戸市立市民病院
	③	弘前大学医学部附属病院
岩手県	①	岩手医科大学附属病院
	②	岩手県立久慈病院
	③	岩手県立大船渡病院
	④	岩手県立中央病院
宮城県	①※	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター
	②	仙台市立病院
	③	大崎市民病院
	④※	東北大学病院
	⑤	石巻赤十字病院
	⑥	みやぎ県南中核病院
秋田県	①	秋田赤十字病院
	②	秋田大学医学部附属病院
山形県	①	山形県立中央病院
	②	公立置賜総合病院
	③	日本海総合病院
	④	山形県立新庄病院
福島県	①	いわき市医療センター
	②	一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院
	③	会津中央病院
	④	公立大学法人福島県立医科大学附属病院
茨城県	①※	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター
	②	筑波メディカルセンター病院
	③	筑波大学附属病院
	④	総合病院土浦協同病院
	⑤	茨城西南医療センター病院
	⑥※	水戸済生会総合病院
	⑦	株式会社日立製作所日立総合病院
栃木県	①	済生会宇都宮病院
	②	足利赤十字病院
	③	那須赤十字病院
	④	獨協医科大学病院
	⑤	自治医科大学附属病院
群馬県	①	高崎総合医療センター
	②	前橋赤十字病院
	③	太田記念病院
	④	群馬大学病院医学部附属病院

都道府県	救命救急センター	施設名
埼玉県	①	さいたま赤十字病院
	②	埼玉医科大学総合医療センター
	③	深谷赤十字病院
	④	防衛医科大学校病院
	⑤	川口市立医療センター
	⑥	獨協医科大学埼玉医療センター
	⑦	埼玉医科大学国際医療センター
	⑧	自治医科大学附属さいたま医療センター
	⑨	さいたま市立病院
	⑩	独立行政法人国立病院機構埼玉病院
	⑪	埼玉県済生会加須病院
	⑫	埼玉医科大学総合医療センター小児救命救急センター
	⑬	埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター
千葉県	①	千葉県総合救急災害医療センター
	②	総合病院国保旭中央病院
	③	国保直営総合病院君津中央病院
	④	亀田総合病院
	⑤	松戸市立総合医療センター
	⑥	成田赤十字病院
	⑦	船橋市立医療センター
	⑧	日本医科大学千葉北総病院
	⑨	順天堂大学医学部附属浦安病院
	⑩	東京慈恵会医科大学附属柏病院
	⑪	東千葉メディカルセンター
	⑫	東京女子医科大学附属八千代医療センター
	⑬	帝京大学ちば総合医療センター
	⑭	千葉大学医学部附属病院
	⑮	東京ベイ・浦安市川医療センター
東京都 (23区)	①	日本医科大学付属病院
	②	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
	③	東邦大学医療センター大森病院
	④	東京都立広尾病院
	⑤	帝京大学医学部附属病院
	⑥	東京都立墨東病院
	⑦	東京女子医科大学病院
	⑧	日本大学病院
	⑨	日本大学医学部附属板橋病院
	⑩	東京医科大学病院
	⑪	昭和医科大学病院
	⑫	東京女子医科大学附属足立医療センター
	⑬	聖路加国際病院
	⑭	東京科学大学病院
	⑮	日本赤十字社医療センター
	⑯	国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
	⑰	東京大学医学部附属病院
	⑱	東京都済生会中央病院
	⑲	東京慈恵会医科大学附属病院
	⑳	順天堂大学医学部附属練馬病院
東京都 (多摩地区)	㊦	杏林大学医学部付属病院
	②	東京医科大学八王子医療センター
	③	武蔵野赤十字病院
	④	日本医科大学多摩永山病院
	⑤	東京都立多摩総合医療センター
	⑥	公立昭和病院
	⑦	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター
	⑧	市立青梅総合医療センター

都道府県	救命救急センター	施設名
神奈川県	①	聖マリアンナ医科大学病院
	②	横浜医療センター
	③	北里大学病院
	④	東海大学医学部付属病院
	⑤	昭和医科大学藤が丘病院
	⑥	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
	⑦	横浜市立大学附属市民総合医療センター
	⑧	横須賀共済病院
	⑨	川崎市立川崎病院
	⑩	日本医科大学武蔵小杉病院
	⑪	藤沢市民病院
	⑫	済生会横浜市東部病院
	⑬	横浜市立みなと赤十字病院
	⑭	小田原市立病院
	⑮	横浜州市立市民病院
	⑯	横浜労災病院
	⑰	横須賀市立総合医療センター
	⑱	湘南鎌倉総合病院
	⑲	横浜南共済病院
	⑳	平塚市民病院
	㉑	海老名総合病院
新潟県	❶	長岡赤十字病院
	②	新潟市民病院
	③	新潟県立中央病院
	④	新潟県立新発田病院
	❷	新潟大学医歯学総合病院
	⑥	新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院
富山県	❶	富山県立中央病院
	②	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院
石川県	❶	石川県立中央病院(平成30年9月ドクターヘリ導入)
	②	公立能登総合病院
福井県	❶	福井県立病院
	②	杉田玄白記念公立小浜病院
山梨県	❶	地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院高度救命救急センター
長野県	①	長野赤十字病院
	❷	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院佐久医療センター
	③	慈泉会相澤病院
	④	信州大学医学部附属病院
	⑤	諏訪赤十字病院
	⑥	飯田市立病院
	⑦	伊那中央病院
岐阜県	①	岐阜県総合医療センター
	②	地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院
	③	日本赤十字社 高山赤十字病院
	④	大垣市民病院
	⑤	JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院
	❸	岐阜大学医学部附属病院
	⑦	松波総合病院
	⑧	中部国際医療センター
静岡県	①	静岡済生会総合病院
	❷	順天堂大学医学部附属静岡病院
	③	浜松医療センター
	④	静岡赤十字病院

都道府県	救命救急センター	施設名
静岡県	⑤	聖隷三方原病院
	⑥	沼津市立病院
	⑦	磐田市立総合病院
	⑧	聖隷浜松病院
	⑨	地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院
	⑩	中東遠総合医療センター
	⑪	藤枝市立総合病院
愛知県	①	名古屋掖済会病院
	②	藤田医科大学病院
	③	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
	④	愛知医科大学病院
	⑤	岡崎市民病院
	⑥	豊橋市民病院
	⑦	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
	⑧	小牧市民病院
	⑨	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
	⑩	中京病院
	⑪	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
	⑫	地方独立行政法人知多半島総合医療機構知多半島総合医療センター
	⑬	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
	⑭	総合大雄会病院
	⑮	一宮市立市民病院
	⑯	名古屋市立大学病院
	⑰	刈谷豊田総合病院
	⑱	トヨタ記念病院
	⑲	愛知厚生連海南病院
	⑳	公立陶生病院
	㉑	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院
	㉒	春日井市民病院
	㉓	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター
	㉔	豊川市民病院
三重県	①※	伊勢赤十字病院
	②	三重県立総合医療センター
	③	市立四日市病院
	④※	三重大学医学部附属病院
	⑤	松阪中央総合病院
滋賀県	①	大津赤十字病院
	②	長浜赤十字病院
	③	済生会滋賀県病院
	④	近江八幡市立総合医療センター
京都府	①	京都第二赤十字病院
	②	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
	③	京都第一赤十字病院
	④	市立福知山市民病院
	⑤	医療法人社団洛和会音羽病院
	⑥	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院
	⑦	京都大学医学部附属病院
	⑧	京都府立医科大学附属病院
大阪府	①	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
	②	関西医科大学総合医療センター
	③	大阪府済生会千里病院
	④	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
	⑤	近畿大学病院
	⑥	大阪医科薬科大学病院

都道府県	救命救急センター	施設名
大阪府	⑦	大阪市立総合医療センター(小児含む)
	⑧	地方独立行政法人りんくう総合医療センター
	⑨	大阪府立中河内救命救急センター
	⑩	大阪大学医学部附属病院
	⑪	大阪赤十字病院
	⑫	大阪けいさつ病院
	⑬	関西医科大学附属病院
	⑭	大阪公立大学医学部附属病院
	⑮	岸和田徳洲会病院
	⑯	堺市立総合医療センター
	⑰	高槻病院(小児)
	⑱	大阪母子医療センター(小児)
兵庫県	①	神戸市立医療センター中央市民病院
	②	兵庫医科大学病院
	③※	兵庫県立はりま姫路総合医療センター
	④	公立豊岡病院組合立豊岡病院
	⑤	兵庫県災害医療センター
	⑥※	兵庫県立加古川医療センター
	⑦	兵庫県立西宮病院
	⑧	兵庫県立淡路医療センター
	⑨	兵庫県立尼崎総合医療センター
	⑩	神戸大学医学部附属病院
奈良県	①	奈良県総合医療センター
	②	奈良県立医科大学附属病院
	③	近畿大学奈良病院
和歌山県	①	日本赤十字社和歌山医療センター
	②	和歌山県立医科大学附属病院
	③	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター
鳥取県	①	鳥取県立中央病院
	②	鳥取大学医学部附属病院
島根県	①	島根県立中央病院
	②	松江赤十字病院
	③	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
	④	島根大学医学部附属病院
岡山県	①	川崎医科大学附属病院
	②	岡山赤十字病院
	③	津山中央病院
	④	岡山大学病院
	⑤	倉敷中央病院
広島県	①	広島市立広島市民病院
	②	広島市立北部医療センター安佐市民病院
	③	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
	④	県立広島病院
	⑤	広島大学病院
	⑥	福山市民病院
	⑦	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院
	⑧	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院
山口県	①	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター
	②	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター
	③	山口大学医学部附属病院
	④	独立行政法人国立病院機構 関門医療センター
	⑤	独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院

都道府県	救命救急センター	施設名
徳島県	①	徳島県立中央病院
	②	徳島赤十字病院
	③	徳島県立三好病院
香川県	①※	香川県立中央病院
	②※	香川大学医学部附属病院
	③	三豊総合病院
愛媛県	①	愛媛県立中央病院
	②	愛媛県立新居浜病院
	③	市立宇和島病院
高知県	①	高知赤十字病院
	②	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
	③	近森病院
福岡県	①	北九州市立八幡病院
	②	済生会福岡総合病院
	③	久留米大学病院
	④	飯塚病院
	⑤	福岡大学病院
	⑥	北九州総合病院
	⑦	九州大学病院
	⑧	聖マリア病院
	⑨	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
	⑩	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
佐賀県	①※	佐賀県医療センター好生館
	②※	佐賀大学医学部附属病院
	③	唐津赤十字病院
	④	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
長崎県	①	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
	②	長崎大学病院
	③	佐世保市総合医療センター
	④	長崎みなとメディカルセンター
熊本県	①	熊本赤十字病院
	②	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
	③	済生会熊本病院
大分県	①	大分市医師会立アルメイダ病院
	②	大分大学医学部附属病院
	③	大分県立病院
	④	国家公務員共済組合連合会新別府病院
	⑤	中津市立中津市民病院
宮崎県	①	県立宮崎病院
	②	県立延岡病院
	③	宮崎大学医学部附属病院
鹿児島県	①	鹿児島市立病院
	②	鹿児島大学病院
	③	県立大島病院
	④	米盛病院
沖縄県	①	沖縄県立中部病院
	②	浦添総合病院
	③	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
	④	琉球大学病院

※救命救急センター（高度救命救急センター及び地域救命救急センター含む） 合計 316カ所

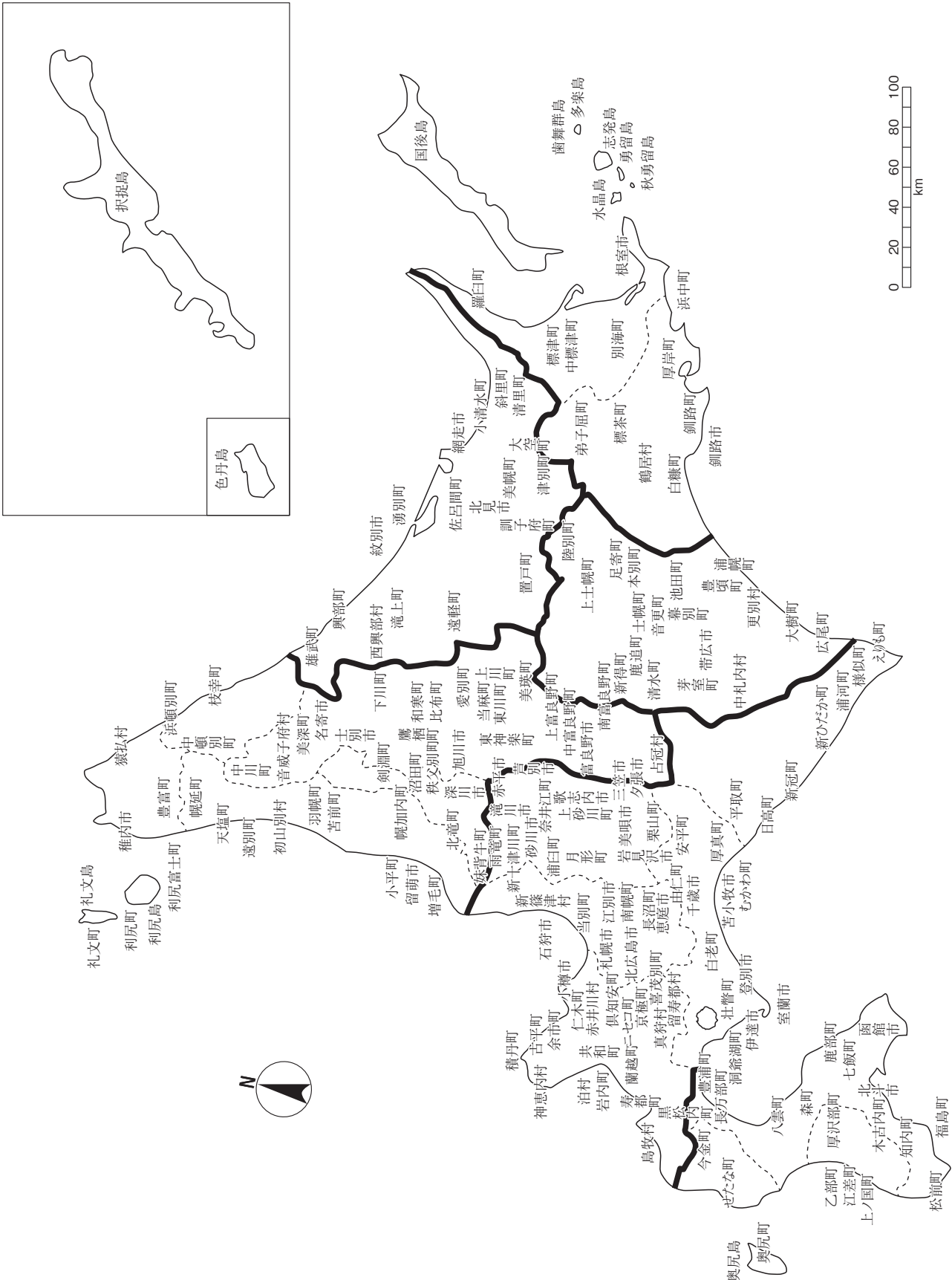
※「●」はドクターヘリ導入病院 運用施設数 合計 62カ所 なお、「※」は複数基地病院を示す。

北海道【北海道救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
北海道救急業務高度化推進協議会	清水 章弘 北海道総務部危機対策局 局長	北海道総務部危機対策局危機対策課 保健福祉部地域医療推進局地域医療課 札幌市中央区北3条西6丁目 011-204-5009 011-204-5250		
道南圏メディカルコントロール協議会	佐藤 幹雄 函館市消防本部 消防長	北海道渡島総合振興局地域創生部危機対策室 函館市美原4丁目6-16 渡島合同庁舎内 0138-47-9430 0138-47-9241	函館市消防本部 長万部町消防本部 森町消防本部 八雲町消防本部 南渡島消防事務組合消防本部 渡島西部広域事務組合消防本部 檜山広域行政組合消防本部	市立函館病院
道央圏メディカルコントロール協議会	上山 正和 札幌市消防局 警防部救急担当部長	北海道石狩振興局地域創生部危機対策室 札幌市中央区3条西7丁目 道庁別館 011-204-5818 011-232-1070	札幌市消防局 江別市消防本部 千歳市消防本部 恵庭市消防本部 北広島市消防本部 石狩北部地区消防事務組合消防本部 夕張市消防本部 美唄市消防本部 歌志内市消防本部 三笠市消防本部 岩見沢地区消防事務組合消防本部 砂川地区広域消防組合消防本部 滝川地区広域消防事務組合消防本部 南空知消防組合消防本部 小樽市消防本部 岩内・寿都地方消防組合消防本部 羊蹄山ろく消防組合消防本部 北後志消防組合消防本部 苫小牧市消防本部 室蘭市消防本部 登別市消防本部 白老町消防本部 西胆振行政事務組合消防本部 胆振東部消防組合消防本部 日高西部消防組合消防本部 日高中部消防組合消防本部 日高東部消防組合消防本部	市立札幌病院 札幌医科大学附属病院 北海道大学病院
道北圏メディカルコントロール協議会	河端 勝彦 旭川市消防本部 消防長	北海道上川総合振興局地域創生部危機対策室 旭川市永山6条19丁目 上川合同庁舎内 0166-46-5918 0166-46-5204	旭川市消防本部 上川北部消防事務組合消防本部 富良野広域連合消防本部 大雪消防組合消防本部 士別地方消防事務組合消防本部 増毛町消防本部 留萌消防組合消防本部 北留萌消防組合消防本部 稚内地区消防事務組合消防本部 南宗谷消防組合消防本部 利尻礼文消防事務組合消防本部 深川地区消防組合消防本部	旭川赤十字病院
オホーツク圏メディカルコントロール協議会	後藤 良樹 北見地区消防組合消防本部 消防長	北海道オホーツク総合振興局地域創生部危機対策室 網走市北7条西3丁目 オホーツク合同庁舎内 0152-41-0625 0152-44-7261	北見地区消防組合消防本部 網走地区消防組合消防本部 紋別地区消防組合消防本部 斜里地区消防組合消防本部 美幌・津別広域事務組合消防本部 遠軽地区広域組合消防本部	北見赤十字病院
十勝圏メディカルコントロール協議会	長谷川 耕三 とかち広域消防局 消防局長	北海道十勝総合振興局地域創生部危機対策室 帯広市東3条南3丁目 十勝合同庁舎内 0155-26-9023 0155-22-0185	とかち広域消防局	帯広厚生病院
釧路・根室圏メディカルコントロール協議会	佐々木 和史 釧路市消防本部 消防長	北海道釧路総合振興局地域創生部危機対策室 釧路市浦見2丁目2-54 0154-43-9144 0154-42-2116	釧路市消防本部 釧路北部消防事務組合消防本部 釧路東部消防組合消防本部 根室市消防本部 根室北部消防事務組合消防本部	市立釧路総合病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

北 海 道

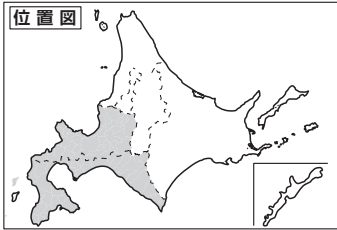




-  組合消防
 単独常備
 委託常備
 消防本部所在地
 救命救急センター
 ドクターヘリ基地病院
 (救命救急センター)



北海道 道西 道南 道央地区



凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 消防本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地病院 (救命救急センター)



救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	旭川赤十字病院
②	市立函館病院
③	市立釧路総合病院
④	北見赤十字病院
⑤	市立札幌病院
⑥	帯広厚生病院
⑦	札幌医科大学附属病院
⑧	手稲溪仁会病院
⑨	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
⑩	旭川医科大学病院
⑪	砂川市立病院
⑫	名寄市立総合病院
⑬	北海道大学病院



青森県 【青森県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
青森県メディカルコントロール協議会	花田 裕之 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター長	青森県健康医療福祉部医療業務課 青森市長島一丁目1番1号 017-734-9287 017-734-8089		
青森・下北地域メディカルコントロール協議会	石澤 義也 青森県立中央病院 救命救急センター長	青森県危機管理局消防保安課 青森市長島一丁目1番1号 017-734-9087 017-722-4867	青森地域広域事務組合消防本部 下北地域広域行政事務組合消防本部	青森県立中央病院【他】
八戸・上三地域メディカルコントロール協議会	吉村 有矢 八戸市立市民病院 救命救急センター所長	八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 八戸市大字田向五丁目1番1号 0178-44-4857 0178-46-1171	八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 十和田地域広域事務組合消防本部 三沢市消防本部 北部上北広域事務組合消防本部 中部上北広域事業組合消防本部	八戸市立市民病院【他】
津軽・西北五地域メディカルコントロール協議会	花田 裕之 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター長	弘前地区消防事務組合消防本部 弘前市大字本町2番地1 0172-32-5103 0172-33-9117	弘前地区消防事務組合消防本部 五所川原地区消防事務組合消防本部 つがる市消防本部 鰺ヶ沢地区消防事務組合消防本部	国立大学法人弘前大学医学部附属病院【他】

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

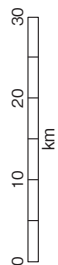
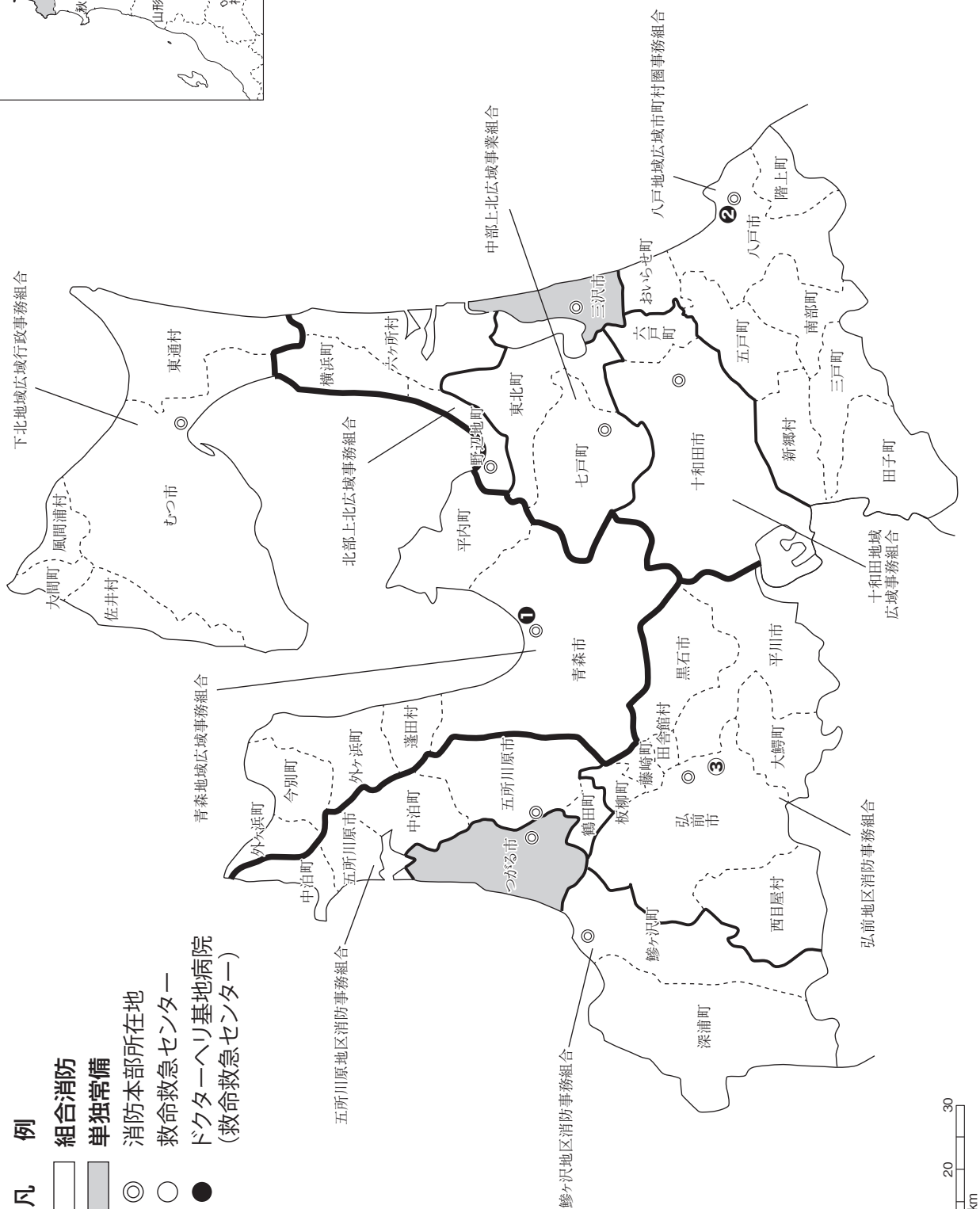
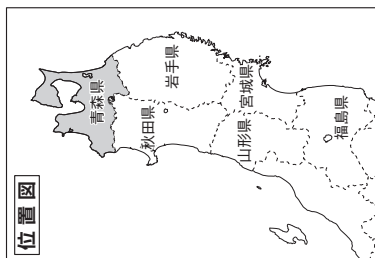
(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	青森県立中央病院
②	八戸市立市民病院
③	弘前大学医学部附属病院

地域MC協議会 3

青 森 県

- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 消防本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)



岩手県 【岩手県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
岩手県救急業務高度化推進協議会	眞瀬 智彦 岩手医科大学医学部 岩手県高度救命救急センター長	岩手県復興防災部消防安全課 盛岡市内丸10番1号 019-629-5151 019-629-5174		
盛岡地域メ ディカルコン ロール協議会	眞瀬 智彦 岩手医科大学医学部 岩手県高度救命救急センター長	盛岡地区広域消防組合消防本部警防課 盛岡市盛岡駅西通一丁目27番55号 019-626-7402 019-651-9916	盛岡地区広域消防組合消防本部	岩手県高度救命救急センター 岩手県立中央病院 盛岡赤十字病院
宮古地域メ ディカルコン ロール協議会	佐藤 一 岩手県立宮古病院 院長	宮古地区広域行政組合消防本部消防課 宮古市五月町2番1号 0193-71-1159 0193-71-1251	宮古地区広域行政組合消防本部	岩手県立宮古病院 恩賜財団岩手県済生会岩泉病院
一関地域メ ディカルコン ロール協議会	秋保 茂樹 一関市医師会 会長	一関市消防本部 一関市山目字中野140番地3 0191-25-5912 0191-25-5922	一関市消防本部	岩手県立磐井病院 岩手県立千蔵病院 岩手県立大東病院 一関市国民健康保険 藤沢病院 独立行政法人国立病院機構 岩手病院 特定医療法人博愛会 一関病院 医療法人社団愛生会昭和病院
釜石地域メ ディカルコン ロール協議会	小泉 嘉明 釜石医師会 会長	釜石大槌地区行政事務組合消防本部消防課 釜石市鈴子町16番19号 TEL 0193-22-1642 FAX 0193-55-6333	釜石大槌地区行政事務組合消防本部	岩手県立釜石病院
胆江地域メ ディカルコン ロール協議会	川村 秀司 岩手県立江刺病院 院長	奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部救急課 奥州市水沢大鐘町二丁目16番地 0197-24-7211 0197-23-6239	奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部	岩手県立胆沢病院 岩手県立江刺病院 奥州市総合水沢病院
久慈地域メ ディカルコン ロール協議会	遠野 千尋 岩手県立久慈病院 院長	久慈広域連合消防本部 久慈市長内町第29地割21番地1 0194-53-0119 0194-53-3115	久慈広域連合消防本部	岩手県立久慈病院 洋野町国民健康保険種市病院
花巻地域メ ディカルコン ロール協議会	中館 一郎 花巻市医師会 会長	花巻市消防本部警防課 花巻市材木町12番6号 0198-22-6124 0198-22-5549	花巻市消防本部	岩手県立中部病院 岩手県立東和病院 公益財団法人総合花巻病院 社団法人啓愛会宝陽病院
北上地域メ ディカルコン ロール協議会	岩淵 崇 北上医師会 会長	北上地区消防組合消防本部 北上市柳原町二丁目3番6号 0197-65-5176 0197-65-5170	北上地区消防組合消防本部	岩手県立中部病院 社会福祉法人恩賜財団済生会北上済生会病院 町立西和賀さわうち病院
気仙地域メ ディカルコン ロール協議会	横沢 友樹 岩手県立大船渡病院 救命救急センター長	大船渡地区消防組合消防本部消防課 大船渡市盛町字下館下35番地1 0192-27-2119 0192-27-7414	大船渡地区消防組合消防本部 陸前高田市消防本部	岩手県立大船渡病院【他】
遠野地域メ ディカルコン ロール協議会	鈴木 雄 遠野市立遠野病院 院長	遠野市消防本部 遠野市青笹町糠前10-46 0198-62-2119 0198-62-9922	遠野市消防本部	岩手県立遠野病院
二戸地域メ ディカルコン ロール協議会	小笠原 敏浩 岩手県立二戸病院 院長	二戸地区広域行政事務組合消防本部消防課 二戸市金田一字上田面300番地2 0195-26-8112 0195-26-8113	二戸地区広域行政事務組合消防本部	岩手県立二戸病院

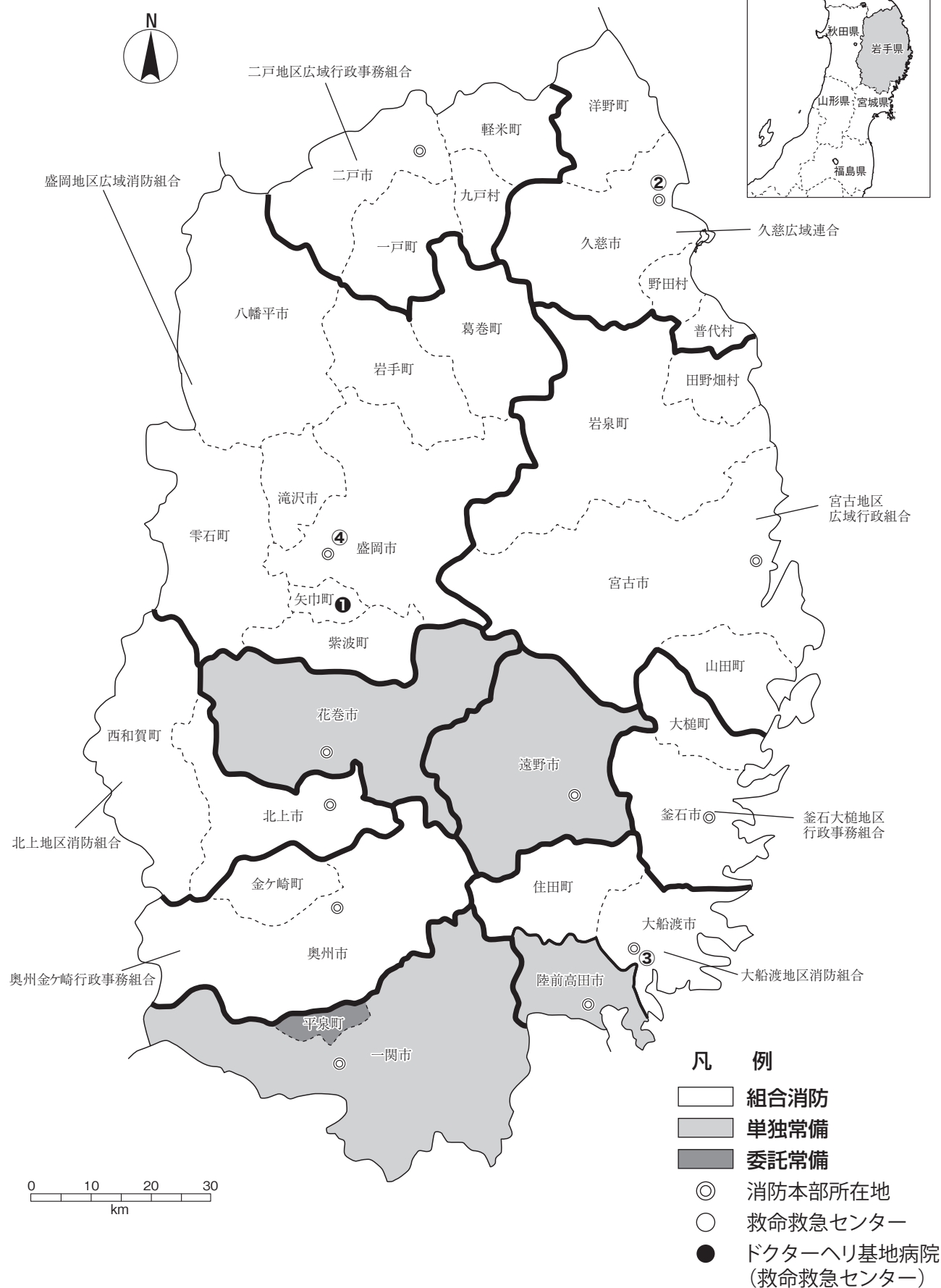
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	岩手医科大学附属病院
②	岩手県立久慈病院
③	岩手県立大船渡病院
④	岩手県立中央病院

岩手県



宮城県 【宮城県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
宮城県メディカルコントロール協議会	久志本 成樹 東北大学大学院医学系研究科 外科病態学講座救急医学分野 教授	宮城県復興・危機管理部消防課 仙台市青葉区本町3-8-1 022-211-2373 022-211-2378		
仙南地域メ ディカルコン ロール協議会	本多 正久 (一社)角田市医師会 理事	宮城県大河原地方振興事務所 柴田郡大河原町字南129-1 0224-53-3133 0224-53-3076	仙南地域広域行政事務組合消防本部	みやぎ県南中核病院 公立刈田綜合病院 仙南病院
仙台・黒川地 域メディカル コントロール協 議会	山内 聡 仙台市立病院 副院長兼救命救急センター長	宮城県復興・危機管理部消防課 仙台市青葉区本町3-8-1 022-211-2373 022-211-2378	仙台市消防局 黒川地域行政事務組合消防本部	東北大学病院 仙台市立病院 国立病院機構仙台医療センター 仙台オープン病院
岩沼地域メ ディカルコン ロール協議会	赤間 洋一 (一社)岩沼市医師会 救急医療対策委員長	宮城県仙台地方振興事務所 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 022-275-8948 022-233-6624	名取市消防本部 あぶくま消防本部	総合南東北病院
塩釜地域メ ディカルコン ロール協議会	赤石 隆 (公社)宮城県塩釜医師会 会長	宮城県仙台地方振興事務所 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 022-275-8948 022-233-6624	塩釜地区消防事務組合消防本部	坂総合病院 塩竈市立病院 仙塩総合病院 松島病院 宮城利府掖済会病院 赤石病院
大崎地域メ ディカルコン ロール協議会	片倉 康喜 (一社)大崎市医師会 理事	宮城県北部地方振興事務所 大崎市古川旭4-1-1 0229-91-0716 0229-22-6673	大崎地域広域行政事務組合消防本部	大崎市民病院
栗原地域メ ディカルコン ロール協議会	中鉢 誠司 栗原市立栗原中央病院 院長	宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 栗原市築館藤木5-1 0228-22-2121 0228-22-6284	栗原市消防本部	栗原市立栗原中央病院 栗原市立若柳病院 栗原市立栗駒病院
登米地域メ ディカルコン ロール協議会	松本 宏 登米市立登米市民病院 病院事業管理者	宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 登米市迫町佐沼字西佐沼150-5 0220-22-6128 0220-22-8096	登米市消防本部	登米市立登米市民病院 登米市立米谷病院
石巻地域メ ディカルコン ロール協議会	佐藤 文彦 (一社)石巻市医師会 理事	宮城県東部地方振興事務所 石巻市あゆみ野5丁目7番地 0225-95-1410 0225-22-8386	石巻地区広域行政事務組合消防本部	石巻赤十字病院 石巻市立病院 仙石病院
気仙沼地域メ ディカルコン ロール協議会	西澤 匡史 南三陸病院 副院長	宮城県気仙沼地方振興事務所 気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6 0226-24-2591 0226-23-8175	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部	気仙沼市立病院 南三陸病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①※	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター
②	仙台市立病院
③	大崎市民病院
④※	東北大学病院
⑤	石巻赤十字病院
⑥	みやぎ県南中核病院

※2施設でドクターヘリ1機

宮城県



秋田県 【秋田県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
秋田県メディカルコントロール協議会	中永 士師明 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻 病態制御医学系 救急・集中治療医学講座 教授	秋田県総務部総合防災課消防保安室 秋田市山王3-1-1 018-860-4565 018-824-1190		
大館鹿角地域 メディカルコン トロール協議 会	丹代 諭 大館市立総合病院 副診療局長	大館市消防本部 大館市根下戸新町1番1号 0186-43-4151 0186-43-4150	大館市消防本部 鹿角広域行政組合消防本部	大館市立総合病院 かづの厚生病院 秋田労災病院 大館市立扇田病院
北秋田地域メ ディカルコン トロール協議会	佐藤 誠 北秋田市市民病院 副院長	北秋田市消防本部警防課 北秋田市鷹巣字北中家下85 0186-62-1119 0186-63-1119	北秋田市消防本部	北秋田市市民病院
能代山本地域 メディカルコン トロール協議 会	佐藤 毅 能代厚生医療センター 副院長	能代山本広域市町村圏組合消防本部救急課 能代市緑町2-22 0185-52-3368 0185-53-3958	能代山本広域市町村圏組合消防本部	能代厚生医療センター 能代山本医師会病院 JCHO秋田病院
秋田周辺地域 メディカルコン トロール協議 会	長谷川 傑 市立秋田総合病院 救急科長	秋田市消防本部救急課 秋田市山王1-1-1 018-823-4019 018-823-9006	秋田市消防本部 五城目町消防本部 男鹿地区消防一部事務組合消防本部 湖東地区消防本部	秋田赤十字病院 秋田大学医学部附属病院 県立循環器・脳脊髄センター 市立秋田総合病院 秋田厚生医療センター 中通総合病院 男鹿みなと市民病院 藤原記念病院
本荘由利地域 メディカルコン トロール協議 会	戸沢 香澄 由利組合総合病院 副院長	由利本荘市消防本部救急課 由利本荘市美倉町27-2 0184-22-4290 0184-23-2748	由利本荘市消防本部 にかほ市消防本部	由利組合総合病院 本荘第一病院 佐藤病院
大曲仙北地域 メディカルコン トロール協議 会	大高 公成 大曲厚生医療センター 副院長	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部救急課 大曲市大曲栄町13-47 0187-63-0318 0187-62-3493	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	大曲厚生医療センター 市立角館総合病院 大曲中通病院
横手地域メ ディカルコン トロール協議会	深掘 耕平 平鹿総合病院 診療部長	横手市消防本部救急課 横手市条里1-1-1 0182-32-1247 0182-33-1300	横手市消防本部	平鹿総合病院 市立横手病院 市立大森病院
湯沢雄勝地域 メディカルコン トロール協議 会	大塚 聡郎 雄勝中央病院 副院長	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部救急課 湯沢市表町三丁目3番14号 0183-73-3186 0183-73-0734	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	雄勝中央病院 町立羽後病院

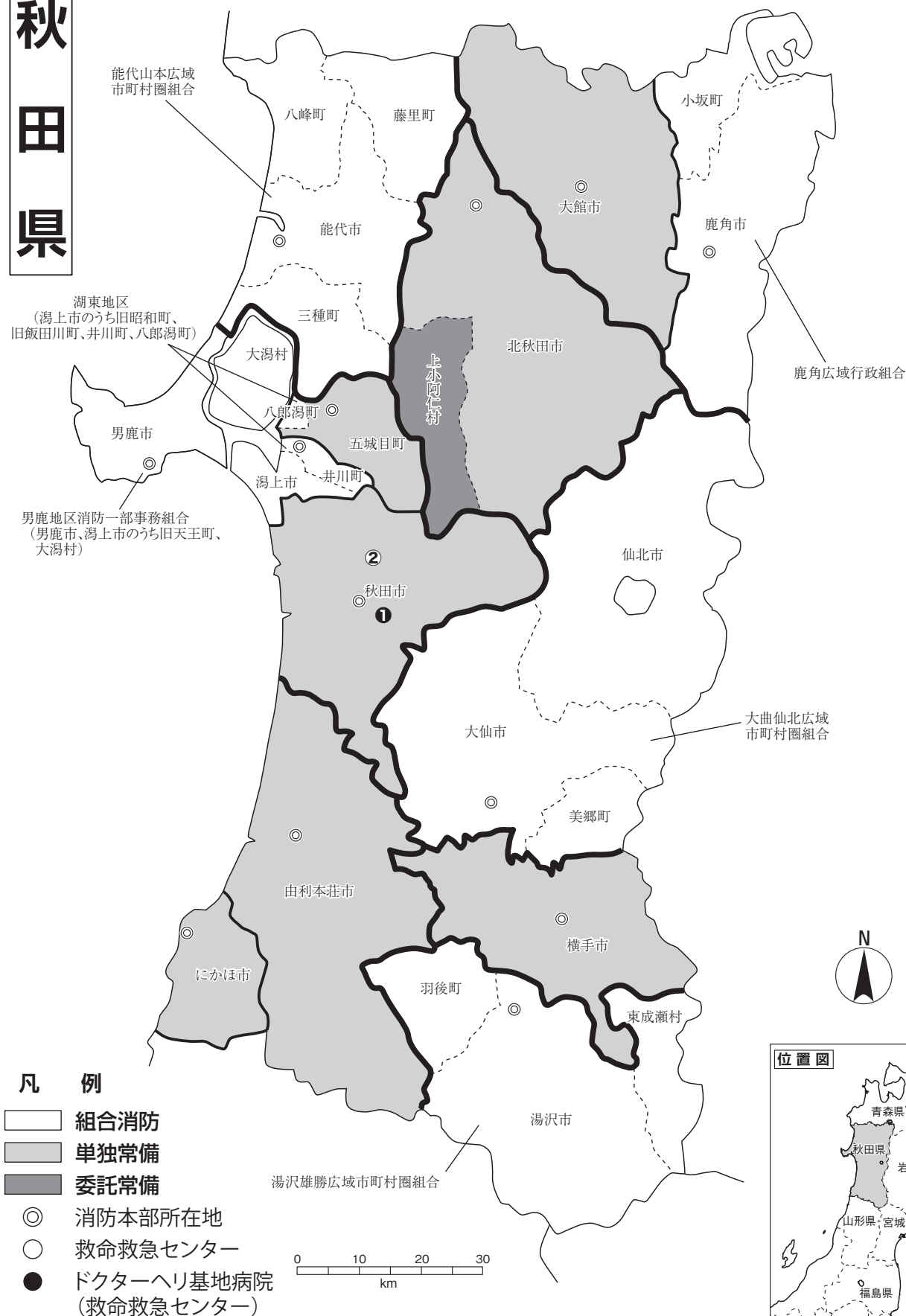
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	秋田赤十字病院
②	秋田大学医学部附属病院

秋田県



山形県 【山形県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
山形県救急業務高度化推進協議会	森野 一真 山形県 医療統括監	山形県防災くらし安心部消防救急課 山形市松波2丁目8-1 023-630-2227 023-633-4711		
村山地域メ ディカルコント ロール協議会	武田 健一郎 山形県立中央病院 副委員長(兼) 救命救急センター長	村山保健所保健企画課医薬事室 山形市十日町1丁目6-6 023-627-1180 023-622-0191	山形市消防本部 上山市消防本部 天童市消防本部 西村山広域行政事務組合消防本部 村山市消防本部 東根市消防本部 尾花沢市消防本部	山形県立中央病院 山形大学医学部附属病院 山形市立病院済生館 山形済生病院 みゆき会病院 山形県立河北病院 北村山公立病院
最上地域保健 医療対策協議 会メディカルコ ントロール専門 部会	八戸 茂美 山形県立新庄病院 院長	最上保健所保健企画課 新庄市金沢字大道上2034 0233-29-1256 0233-22-2025	最上広域市町村圏事務組合消防本部	山形県立新庄病院 町立真室川病院 最上町立最上病院 新庄徳洲会病院
置賜地区救急 医療対策協議 会	佐野 隆一 米沢市医師会長	置賜保健所保健企画課 米沢市金池7丁目1-50 0238-22-3872 0238-22-3003	置賜広域行政事務組合消防本部 西置賜行政組合消防本部	米沢市立病院 医療法人舟山病院 公立高阜病院 公立置賜総合病院 小国町立病院 白鷹町立病院
庄内地区メ ディカルコント ロール協議会	酒井 朋久 酒田地区医師会十全堂 会長	庄内保健所保健企画課 三川町大字横山字袖東19-1 0235-66-5478 0235-66-4935	酒田地区広域行政組合消防本部 鶴岡市消防本部	日本海総合病院 医療法人徳洲会庄内余目病院 医療法人本間病院 鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院 産婦人科・小児科三井病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

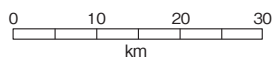
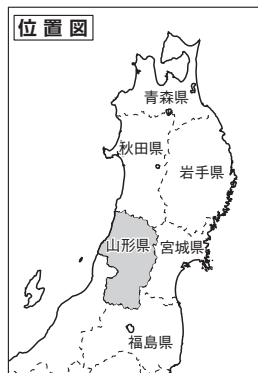
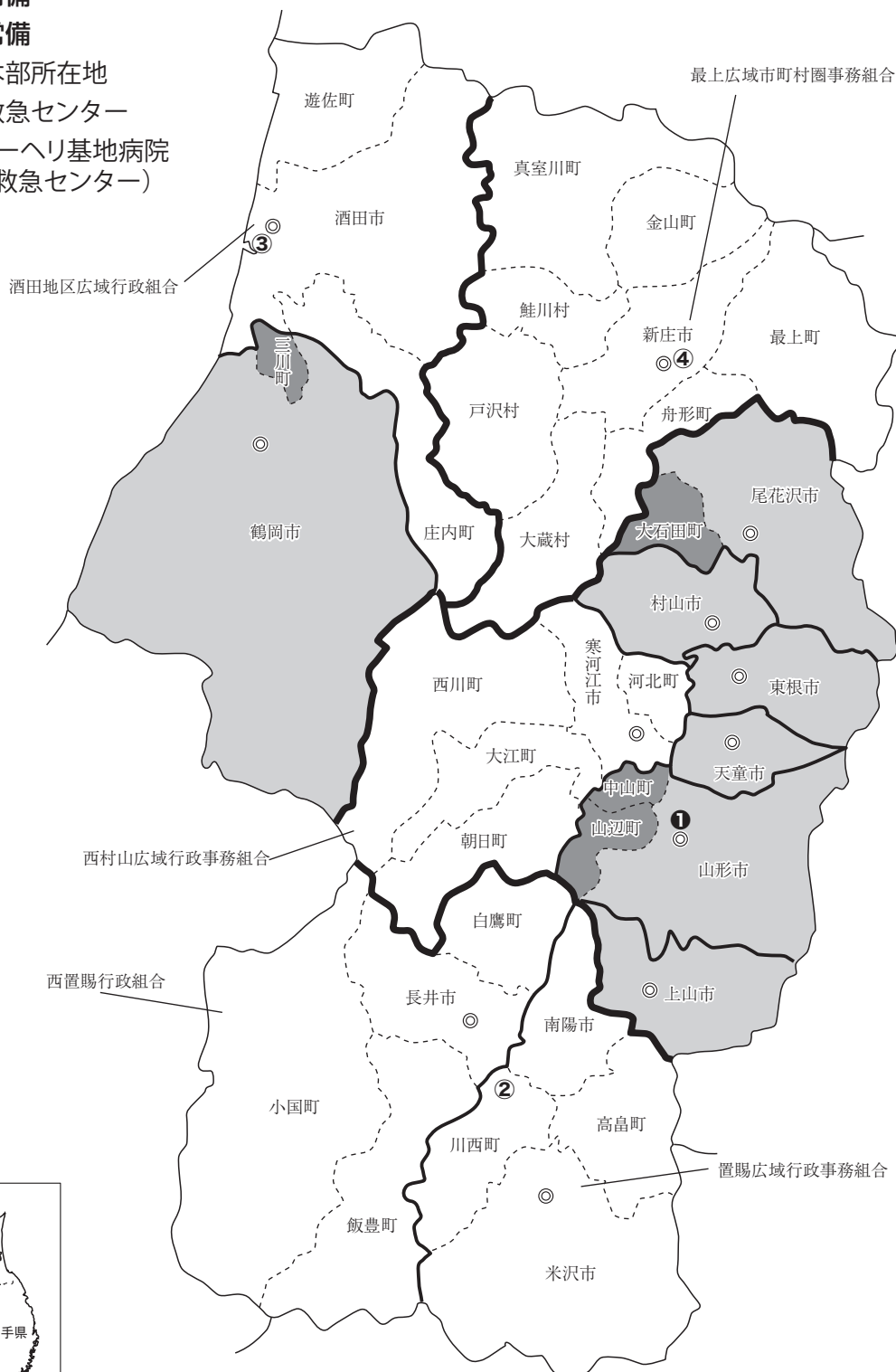
(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	山形県立中央病院
②	公立置賜総合病院
③	日本海総合病院
④	山形県立新庄病院

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- ◎ 消防本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)

山 形 県



福島県 【福島県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
福島県メディカルコントロール協議会	伊関 憲 公立大学法人 福島県立医科大学 教授	福島県危機管理部消防保安課 福島県保健福祉部地域医療課 福島市杉妻町2番16号 024-521-7189 024-521-7221 024-521-9829 024-521-7926		
県北・相馬地域メディカルコントロール協議会	小谷 尚克 福島県県北保健福祉事務所 所長	県北保健福祉事務所医療薬事課 福島市御山町8番30号 024-534-4103 024-534-4162	福島市消防本部 伊達地方消防組合消防本部 安達地方広域行政組合消防本部 相馬地方広域消防本部	公立大学法人福島県立医科大学附属病院
県中・県南地域メディカルコントロール協議会	堀切 将 福島県県中保健福祉事務所 副所長	県中保健福祉事務所医療薬事課 須賀川市旭町153番1 0248-75-7817 0248-75-7825	郡山地方広域消防組合消防本部 須賀川地方広域消防本部 白河地方広域市町村圏消防本部	一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院
会津地域メディカルコントロール協議会	笹原 賢司 福島県会津保健福祉事務所 所長	会津保健福祉事務所医療薬事課 会津若松市城東町5番12号 0242-29-5512 0242-29-5513	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部 喜多方地方広域市町村圏組合消防本部 南会津地方広域市町村圏組合消防本部	会津中央病院
双葉・いわき地域メディカルコントロール協議会	新家 利一 いわき市保健所 所長	相双保健福祉事務所医療薬事課 南相馬市原町区錦町一丁目30番地 0244-26-1330 0244-26-1332	いわき市消防本部 双葉地方広域市町村圏組合消防本部	いわき市医療センター

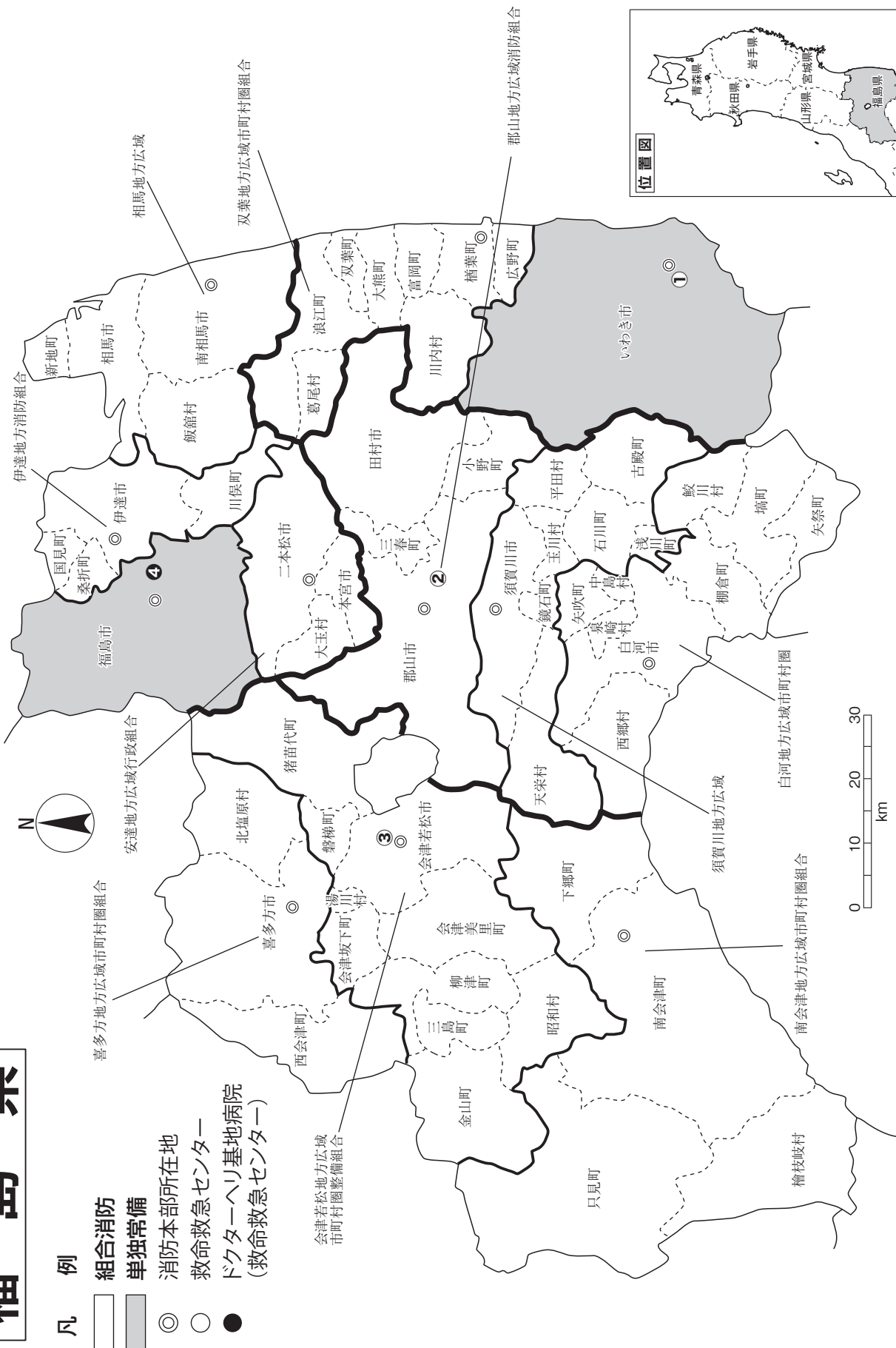
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	いわき市医療センター
②	一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院
③	会津中央病院
④	公立大学法人福島県立医科大学附属病院

福島県

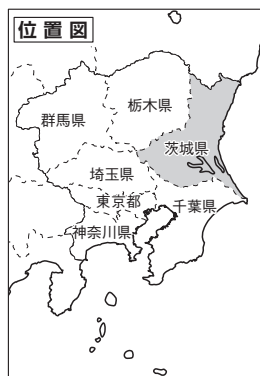


茨城県 【茨城県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
茨城県救急業務高度化推進協議会	松崎 信夫 茨城県医師会 会長	茨城県防災・危機管理部消防安全課 水戸市笠原町978-6 029-301-2896 029-301-2887		
水戸地区救急医療協議会	吉井 慎一 ㈱日立製作所 ひたちなか総合病院 院長	水戸市消防局救急課 水戸市中央1-4-1 029-221-0126 029-224-1139	水戸市消防局 笠間市消防本部 常陸大宮市消防本部 那珂市消防本部 茨城町消防本部 大洗町消防本部 大子町消防本部 常陸太田市消防本部 ひたちなか・東海広域事務組合消防本部	水戸済生会総合病院 総合病院水戸協同病院 水戸医療センター 茨城県立中央病院 水戸赤十字病院 ㈱日立製作所 ひたちなか総合病院
茨城県北部地区メディカルコントロール協議会	渡辺 泰徳 ㈱日立製作所 日立総合病院 院長	日立市消防本部警防課 日立市神峰町2-4-1 0294-24-0119 0294-22-0102	日立市消防本部 北茨城市消防本部 高萩市消防本部 常陸太田市消防本部	㈱日立製作所 日立総合病院 北茨城市民病院 県北医療センター 高萩協同病院 ひたち医療センター 大山病院
鹿行地区メディカルコントロール協議会	田上 恵 小山記念病院 顧問	鹿島地方事務組合消防本部救急救助課 神栖市溝口4991-5 0299-97-3613 0299-97-3635	鹿島地方事務組合消防本部 鹿行広域事務組合消防本部	神栖済生会病院 白十字総合病院 小山記念病院 土浦協同病院なめがた地域医療センター 鉾田病院 高須病院
土浦地区メディカルコントロール協議会	広岡 一信 総合病院土浦協同病院 院長	土浦市消防本部警防救急課 土浦市田中町2083-1 029-821-0119 029-825-3166	土浦市消防本部 石岡市消防本部 小美玉市消防本部 かすみがうら市消防本部	総合病院土浦協同病院 石岡第一病院 山王台病院 石岡循環器科脳神経外科病院 小美玉市医療センター 霞ヶ浦医療センター 県南病院 神立病院
稲敷地区メディカルコントロール協議会	柳田 国夫 東京医科大学茨城医療センター 病院長	稲敷広域消防本部救急課 龍ヶ崎市3571番地の1 0297-64-3846 0297-64-6610	稲敷広域消防本部	東京医科大学茨城医療センター 牛久愛和総合病院 龍ヶ崎済生会病院 つくばセントラル病院 美浦中央病院
つくば・常総地区メディカルコントロール協議会	井上 貴昭 筑波大学附属病院 高度救命救急センター長	常総地方広域市町村圏事務組合消防本部警防課 常総市水海道山田町808 0297-23-0903 0297-22-3574	取手市消防本部 つくば市消防本部 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	JAとりで総合医療センター 取手北相馬保健医療センター医師会病院 筑波大学附属病院 筑波メディカルセンター病院 総合守谷第一病院 きぬ医師会病院 筑波記念病院 筑波学園病院 守谷慶友病院
筑西広域メディカルコントロール協議会	水谷 太郎 茨城県西部医療機構 理事長	筑西広域市町村圏事務組合消防本部警防課 筑西市直井1076番地 0296-24-4104 0296-24-5444	筑西広域市町村圏事務組合消防本部	茨城県西部メディカルセンター 協和中央病院 結城病院 城西病院 自治医科大学附属病院 大園病院 さくらがわ地域医療センター 宮田医院
BANDOメディカルコントロール協議会	武田 多一 茨城西南医療センター病院 救命救急センター長	茨城西南広域消防本部救急課 古河市中田1683番地9 0280-47-0125 0280-47-0164	茨城西南広域消防本部 埼玉東部消防組合消防局 野田市消防本部 館林地区消防組合消防本部	茨城西南医療センター病院 古河赤十字病院 友愛記念病院 平間病院 木根淵外科胃腸科病院 古河総合病院 ホスピタル坂東 埼玉県済生会加須病院 野田総合病院 新久喜総合病院 東埼玉総合病院 つるみ脳神経病院 キッコーマン総合病院 湖南病院 総和中央病院 東鷲宮病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

※常陸太田市消防本部は、水戸地区救急医療協議会と茨城県北部地区メディカルコントロール協議会を重複している。

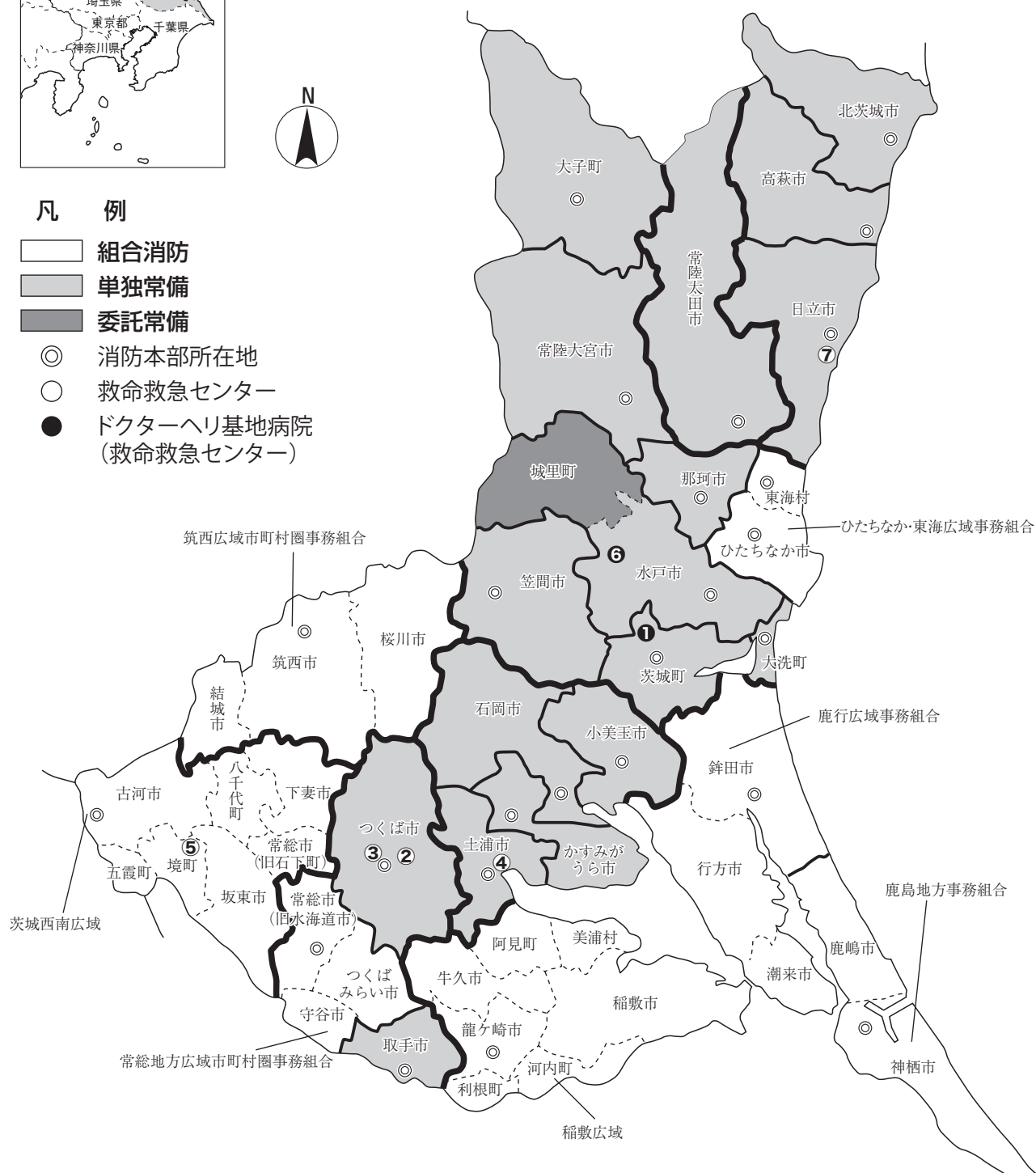


茨城県

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備

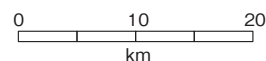
- ◎ 消防本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)



救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター
②	筑波メディカルセンター病院
③	筑波大学附属病院
④	総合病院土浦協同病院
⑤	茨城西南医療センター病院
⑥※	水戸済生会総合病院
⑦	株式会社日立製作所日立総合病院



※2施設でドクターヘリ1機

栃木県 【栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会	長島 徹 栃木県医師会 栃木県医師会副会長	危機管理防災局消防防災課 保健福祉部医療政策課 宇都宮市塙田1-1-20 028-623-2132 028-623-3157 028-623-2146 028-623-3056		
栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会宇都宮・塩谷地域分科会	小倉 崇以 済生会宇都宮病院 救命救急センター所長	宇都宮市消防局 宇都宮市大曾2-2-21 028-625-3008 028-625-5509	宇都宮市消防局 塩谷広域行政組合消防本部	済生会宇都宮病院
栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会足利・佐野地域分科会	菊池 広子 足利赤十字病院 救命救急センター長	佐野市消防本部 佐野市富岡町1391 0283-23-9920 0283-22-4441	足利市消防本部 佐野市消防本部	足利赤十字病院
栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会那須・南那須地域分科会	根本 真人 那須赤十字病院 救命救急センター長	南那須地区広域行政事務組合消防本部 那須烏山市神長880-1 0287-83-8801 0287-83-2006	那須地区消防本部 南那須地区広域行政事務組合消防本部	那須赤十字病院
栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会下都賀・上都賀地域分科会	和氣 晃司 獨協医科大学病院 救命救急センター長	日光市消防本部 日光市豊田442-1 0288-21-0023 0288-30-2986	栃木市消防本部 鹿沼市消防本部 日光市消防本部 石橋地区消防組合消防本部	獨協医科大学病院
栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会小山・芳賀地域分科会	間藤 卓 自治医科大学附属病院 救命救急センター長	小山市消防本部 小山市大字神鳥谷1700-2 0285-39-6661 0285-31-0182	小山市消防本部 石橋地区消防組合消防本部 芳賀地区広域行政事務組合消防本部	自治医科大学附属病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

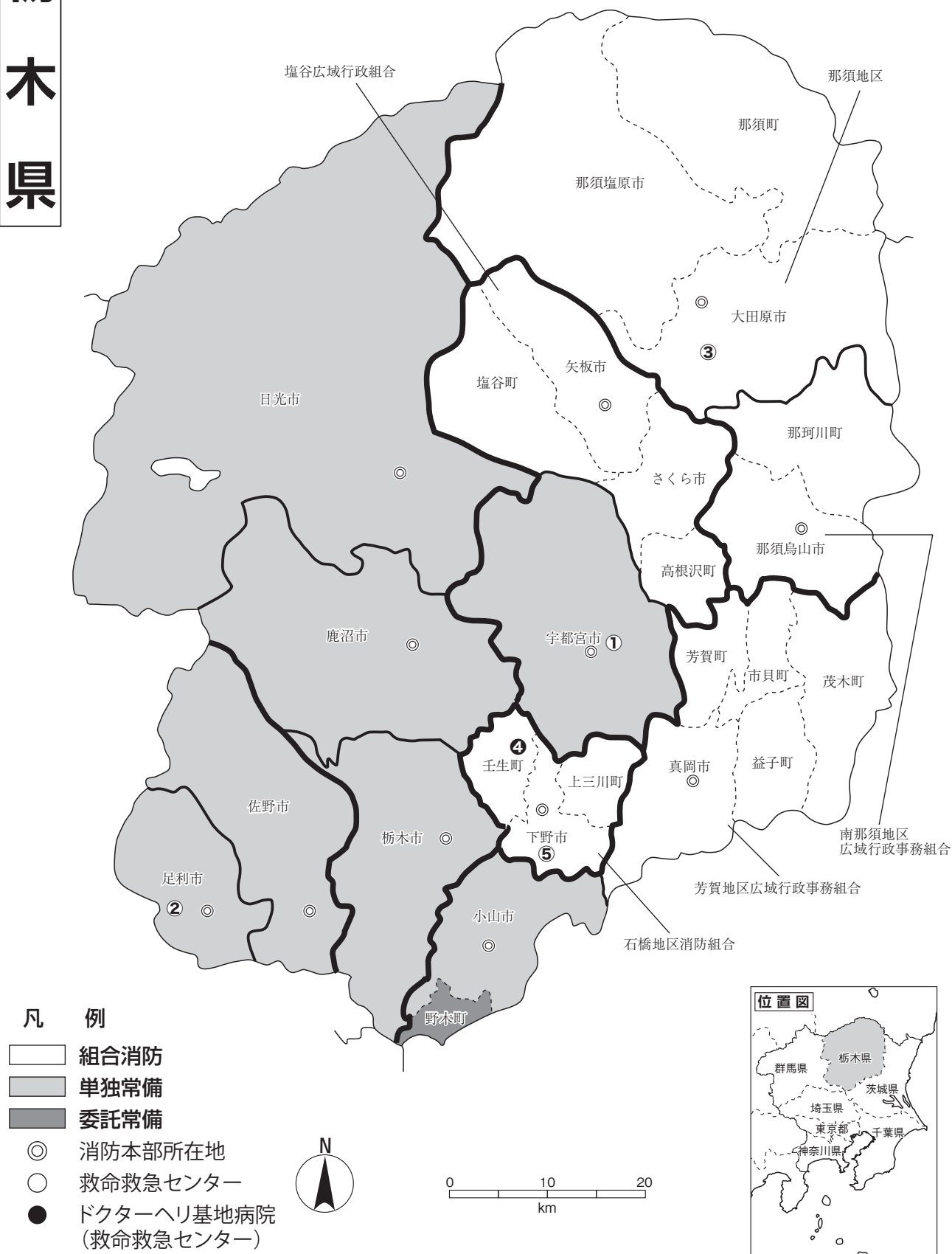
※石橋地区消防組合消防本部は、栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会下都賀・上都賀地域分科会と栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会小山・芳賀地域分科会を重複している。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	済生会宇都宮病院
②	足利赤十字病院
③	那須赤十字病院
④	獨協医科大学病院
⑤	自治医科大学附属病院

栃木県



群馬県 【群馬県救急医療体制検討協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
群馬県救急医療体制検討協議会	西松 輝高 群馬県医師会 副会長	群馬県医務課 前橋市大手町1-1-1 027-226-2534 027-223-0531		前橋赤十字病院 群馬大学医学部附属病院 高崎総合医療センター 太田記念病院
前橋市メディカルコントロール協議会	岸川 一郎 前橋市医師会 監事	前橋市保健所 前橋市朝日町3丁目36-17 027-220-5792 027-223-8835	前橋市消防局	前橋赤十字病院 群馬大学医学部附属病院 県立心臓血管センター 群馬中央病院 前橋協立病院 済生会前橋病院
高崎・安中地域メディカルコントロール協議会	岡本 克実 高崎市医師会 医師会長	安中保健福祉事務所 安中市高別当336-8 027-381-0345 027-382-6366	高崎市等広域消防局	高崎総合医療センター 公立碓氷病院 関越中央病院 日高病院 黒沢病院
渋川地域メディカルコントロール協議会	中野 正幸 渋川地区医師会 医師会長	渋川保健福祉事務所 渋川市金井394 0279-22-4166 0279-24-3542	渋川広域消防本部	渋川医療センター 北関東循環器院 関口病院 渋川中央病院 北毛病院
藤岡地域メディカルコントロール協議会	栗原 透 藤岡多野医師会 医師会長	藤岡保健福祉事務所 藤岡市下戸塚2-5 0274-22-1420 0274-22-3149	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部	公立藤岡総合病院 鬼石病院 篠塚病院 光病院 くすの木病院
富岡甘楽地域メディカルコントロール協議会	武田 滋利 富岡市甘楽郡医師会 医師会長	富岡保健福祉事務所 富岡市田島343-1 0274-62-1541 0274-64-2397	富岡甘楽広域消防本部	公立富岡総合病院 下仁田厚生病院
吾妻地域メディカルコントロール協議会	布施 正博 吾妻郡医師会 医師会長	吾妻保健福祉事務所 吾妻郡中之条町大字西中之条183-1 0279-75-3303 0279-75-6091	吾妻広域消防本部	原町赤十字病院 西吾妻福祉病院
沼田地域メディカルコントロール協議会	林 秀彦 沼田利根医師会 医師会長	利根沼田保健福祉事務所 沼田市薄根町4412 0278-23-2185 0278-22-4479	利根沼田広域消防本部	利根中央病院 沼田病院 沼田脳神経外科循環器科病院 内田病院 月夜野病院 群馬パース病院 上牧温泉病院
伊勢崎地域メディカルコントロール協議会	小林 裕幸 伊勢崎市民病院 病院長	伊勢崎保健福祉事務所 伊勢崎市下植木町499 0270-25-5570 0270-24-8842	伊勢崎市消防本部	伊勢崎市民病院 美原記念病院 伊勢崎佐波医師会病院 石井病院 鶴谷病院 伊勢崎福島病院 角田病院
桐生地域メディカルコントロール協議会	菊地 一真 桐生市医師会 医師会長	桐生保健福祉事務所 桐生市相生町2-351 0277-53-4131 0277-52-1572	桐生市消防本部	桐生厚生総合病院 岩下病院 高木病院 大和病院 東邦病院 恵愛堂病院
太田地域メディカルコントロール協議会	中野 正美 太田市医師会 医師会長	太田保健福祉事務所 太田市西本町41-34 0276-31-8241 0276-31-8349	太田市消防本部	太田記念病院 本島総合病院 堀江病院 イムス太田中央総合病院 城山病院 宏愛会第一病院
館林地域メディカルコントロール協議会	松本 正弘 公立館林厚生病院 病院長	館林保健福祉事務所 館林市大街道1丁目2-25 0276-72-3230 0276-72-4628	館林地区消防組合消防本部	公立館林厚生病院 館林記念病院 新橋病院 おうら病院 慶友整形外科病院 明和セントラル病院

「構成中核の医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	高崎総合医療センター
②	前橋赤十字病院
③	太田記念病院
④	群馬大学病院医学部附属病院

群馬県



埼玉県 【埼玉県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
埼玉県メディカルコントロール協議会	廣澤 信作 埼玉県医師会 副会長	埼玉県危機管理防災部消防課 さいたま市浦和区高砂3-15-1 048-830-8151 048-830-8159		
中央地域メディカルコントロール協議会	田中洋次郎 岩槻医師会 医師会長	さいたま市消防局警防部救急指導室 さいたま市浦和区常盤6-1-28 048-833-7167 048-833-7201	さいたま市消防局 上尾市消防本部 埼玉県央広域消防本部	さいたま赤十字病院 自治医科大学附属さいたま医療センター 県立小児医療センター さいたま市立病院【他】
東部地域メディカルコントロール協議会	原 直 越谷市医師会 医師会長	越谷市消防局救急課 越谷市大沢2-10-15 048-974-0107 048-974-0105	越谷市消防局 春日部市消防本部 三郷市消防本部 蓮田市消防本部 吉川松伏消防組合消防本部 埼玉東部消防組合消防局 草加八潮消防局	獨協医科大学埼玉医療センター 埼玉県済生会加須病院【他】
西部第一地域メディカルコントロール協議会	赤津 拓彦 所沢市医師会 医師会長	埼玉西部消防局警防部救急課 所沢市けやき台1-13-11 04-2929-9123 04-2929-9129	埼玉西部消防局 坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部 比企広域消防本部 西入間広域消防組合消防本部	防衛医科大学校病院 埼玉医科大学国際医療センター【他】
西部第二地域メディカルコントロール協議会	齊藤 正身 川越市医師会 医師会長	川越地区消防局救急課 川越市神明町48-4 049-222-0160 049-224-2211	川越地区消防局 入間東部地区事務組合消防本部 埼玉県南西部消防局	埼玉医科大学総合医療センター 独立行政法人国立病院機構埼玉病院【他】
南部地域メディカルコントロール協議会	長江 厚 川口市医師会 医師会長	川口市消防局救急課 川口市芝下2-1-1 048-261-8972 048-262-4850	川口市消防局 蕨市消防本部 戸田市消防本部	川口市立医療センター【他】
北部地域メディカルコントロール協議会	黒屋 信隆 深谷寄居医師会 医師会長	深谷市消防本部警防課 深谷市上敷免858 048-571-0914 048-571-0959	深谷市消防本部 行田市消防本部 羽生市消防本部 秩父消防本部 児玉郡市広域消防本部 熊谷市消防本部	深谷赤十字病院【他】

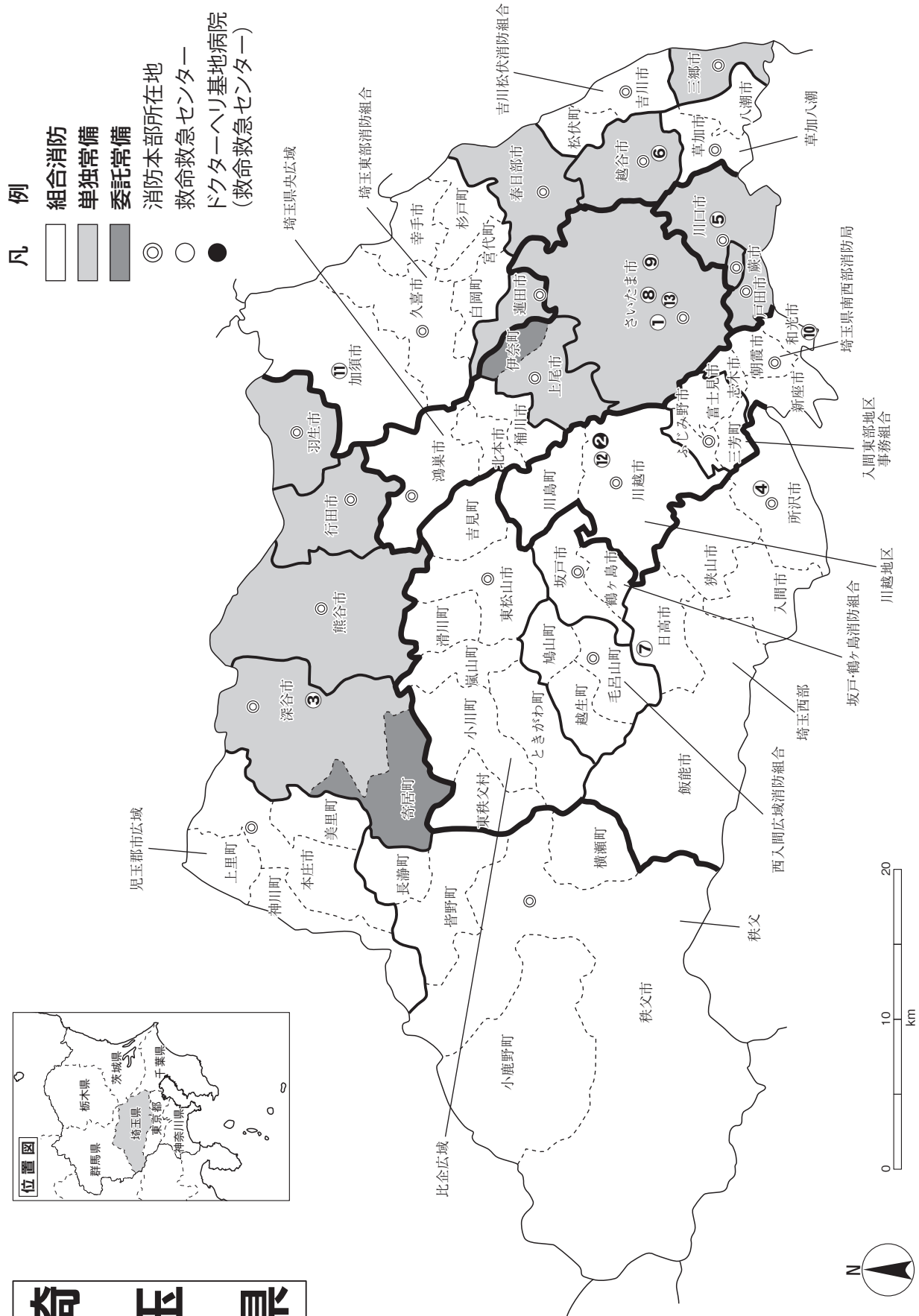
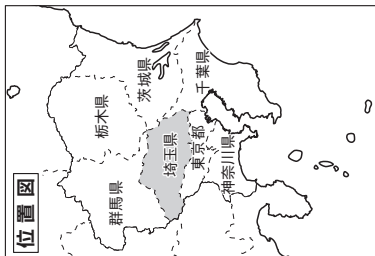
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	さいたま赤十字病院
②	埼玉医科大学総合医療センター
③	深谷赤十字病院
④	防衛医科大学校病院
⑤	川口市立医療センター
⑥	獨協医科大学埼玉医療センター
⑦	埼玉医科大学国際医療センター
⑧	自治医科大学附属さいたま医療センター
⑨	さいたま市立病院
⑩	独立行政法人国立病院機構埼玉病院
⑪	埼玉県済生会加須病院
⑫	埼玉医科大学総合医療センター小児救命救急センター
⑬	埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター

埼玉県



千葉県【千葉県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
千葉県救急業務高度化推進協議会	中田 孝明 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学 教授	千葉県防災危機管理部消防課 千葉県健康福祉部医療整備課 千葉市中央区市場町1-1 043-223-2179 043-224-5481		
千葉市救急業務検討委員会	中田 孝明 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学 教授	千葉市消防局警防部救急課 千葉市中央区長洲1-2-1 043-202-1705 043-202-1659	千葉市消防局	千葉大学医学部附属病院 千葉県総合救急災害医療センター
市原地域救急業務メディカルコントロール協議会	岡田 昌彦 帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター長	市原市消防局警防救急課 市原市国分寺台中央1-1-1 0436-22-8117 0436-21-6874	市原市消防局	帝京大学ちば総合医療センター 千葉労災病院
印旛地域救急業務メディカルコントロール協議会	原 義明 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター部長	四街道市消防本部警防課 四街道市鹿渡934-26 043-422-2493 043-423-7650	佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 印西地区消防組合消防本部 成田市消防本部 四街道市消防本部 富里市消防本部 栄町消防本部	日本医科大学千葉北総病院 成田赤十字病院
君津地域救急業務メディカルコントロール協議会	北村 伸哉 国保直営総合病院君津中央病院 副院長	袖ヶ浦市消防本部警防課 袖ヶ浦市福王台4-10-7 0438-63-6169 0438-62-9729	木更津市消防本部 君津市消防本部 富津市消防本部 袖ヶ浦市消防本部	国保直営総合病院君津中央病院
千葉県東部地域救急業務メディカルコントロール協議会	高橋 功 地方独立行政法人総合病院 国保旭中央病院 救命救急センター長	銚子市消防本部消防総務課警防班 銚子市唐子町371-2 0479-22-3296 0479-20-5085	旭市消防本部 匝瑳市横芝光町消防組合消防本部 銚子市消防本部 香取広域市町村圏事務組合消防本部	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 千葉県立佐原病院 香取おみがわ医療センター 国保東庄病院 国保多古中央病院 国保匝瑳市民病院 東陽病院
東葛飾南部地域救急業務メディカルコントロール協議会	角地 祐幸 船橋市立医療センター 救命救急センター長	八千代市消防本部警防課 八千代市大和田新田186 047-459-7804 047-459-6232	船橋市消防局 習志野市消防本部 八千代市消防本部 鎌ヶ谷市消防本部	船橋市立医療センター 習志野第一病院 千葉県済生会習志野病院 東京女子医科大学附属八千代医療センター
東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会	卯津羅 雅彦 東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命救急センター長	柏市消防局救急課 柏市松葉町7-16-7 04-7133-0118 04-7133-4000	松戸市消防局 柏市消防局 流山市消防本部 我孫子市消防本部 野田市消防本部	松戸市立総合医療センター 新東京病院 千葉西総合病院 新松戸中央総合病院 東京慈恵会医科大学附属柏病院 名戸ヶ谷病院 おおたかの森病院 柏市立柏病院 柏厚生総合病院 野田総合病院 キッコーマン総合病院 東葛病院 千葉愛友会記念病院 流山中央病院 平和台病院 我孫子東邦病院 名戸ヶ谷あびこ病院 柏たなか病院
南房総メディカルコントロール協議会	不動寺 純明 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 救命救急センター長	夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部警防課 夷隅郡大多喜町船子73-2 0470-80-0133 0470-82-5000	安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部	亀田総合病院 安房地域医療センター 塩田病院
山武長生地域メディカルコントロール協議会	橋田 知明 東千葉メディカルセンター 救命救急センター長	長生郡市広域市町村圏組合消防本部警防課 茂原市茂原598 0475-20-0119 0475-24-1725	山武郡市広域行政組合消防本部 長生郡市広域市町村圏組合消防本部	東千葉メディカルセンター 公立長生病院
東葛飾湾岸地域メディカルコントロール協議会	岡本 健 順天堂大学医学部附属浦安病院 院長補佐 救急診療科科長 兼 高度救命救急センター長	市川市消防局救急課 市川市八幡1-8-1 047-333-2169 047-333-8181	市川市消防局 浦安市消防本部	順天堂大学医学部附属浦安病院 東京歯科大学市川総合病院 東京ベイ・浦安市川医療センター 行徳総合病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

地域MC協議会 10

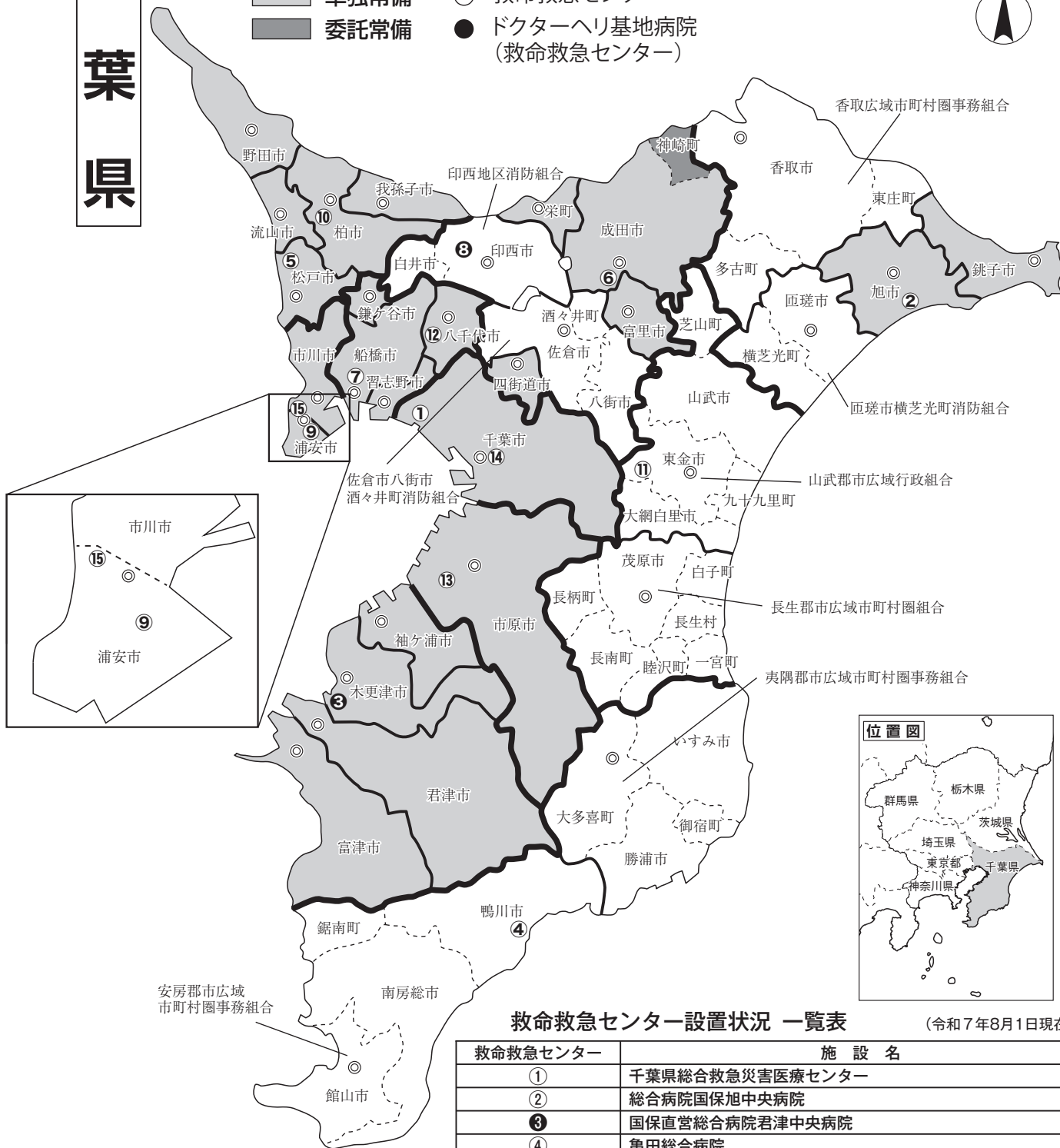
凡 例

	組合消防
	単独常備
	委託常備

- ◎ 消防本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)



千葉県



救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	千葉県総合救急災害医療センター
②	総合病院国保旭中央病院
③	国保直営総合病院君津中央病院
④	亀田総合病院
⑤	松戸市立総合医療センター
⑥	成田赤十字病院
⑦	船橋市立医療センター
⑧	日本医科大学千葉北総病院
⑨	順天堂大学医学部附属浦安病院
⑩	東京慈恵会医科大学附属柏病院
⑪	東千葉メディカルセンター
⑫	東京女子医科大学附属八千代医療センター
⑬	帝京大学ちば総合医療センター
⑭	千葉大学医学部附属病院
⑮	東京ベイ・浦安市川医療センター

東京都 【東京都メディカルコントロール協議会】

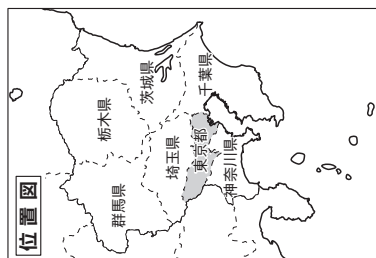
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
東京都メディカルコントロール協議会	横田 裕行 一般財団法人日本救急 医療財団 理事長	東京都総務局総合防災部防災戦略課 新宿区西新宿2-8-1 03-5388-2457 03-5388-1270 東京都保健医療局医療政策部救急災害医療課 新宿区西新宿2-8-1 03-5320-4427 03-5388-1441 東京消防庁救急部救急管理課 千代田区大手町1-3-5 03-3212-2111	東京消防庁 稲城市消防本部 大島町消防本部 三宅村消防本部 八丈町消防本部	慶應義塾大学病院 昭和医科大学医学部 日本大学病院 帝京大学医学部附属病院 東京医科大学病院 東京女子医科大学病院 東邦大学医療センター大森病院 日本医科大学付属病院 東京都立墨東病院 東京大学医学部附属病院 日本大学医学部附属板橋病院 東京都済生会中央病院 東京医科大学八王子医療センター 聖路加国際病院 東京都立多摩総合医療センター 杏林大学医学部付属病院 公立昭和病院 武蔵野赤十字病院 国立病院機構災害医療センター 日本医科大学多摩永山病院 市立青梅総合医療センター 日本赤十字社医療センター 大島医療センター 三宅村国民健康保険直営中央診療所 国民健康保険町立八丈病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

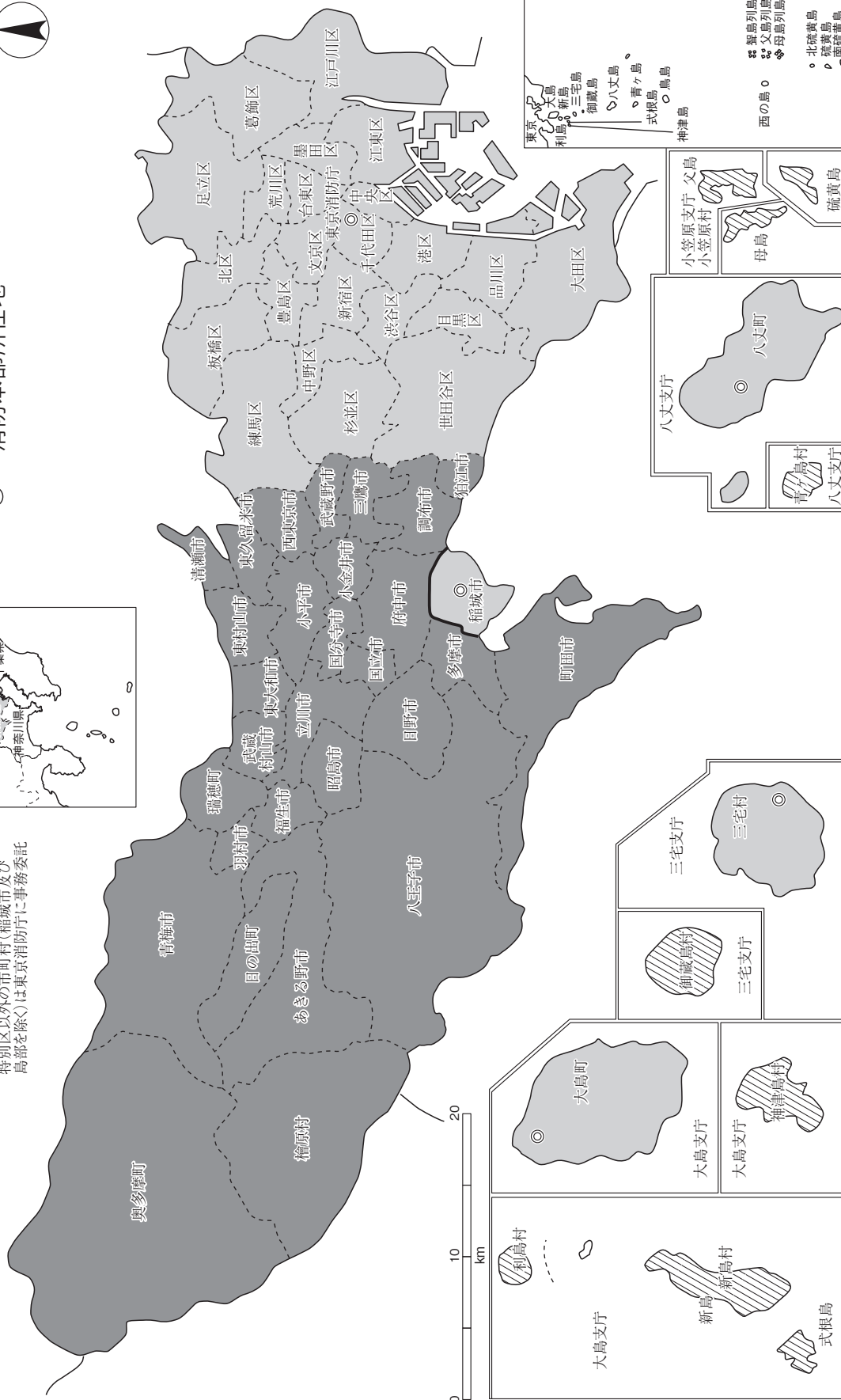
東京都

※救命救急センター位置図は次頁

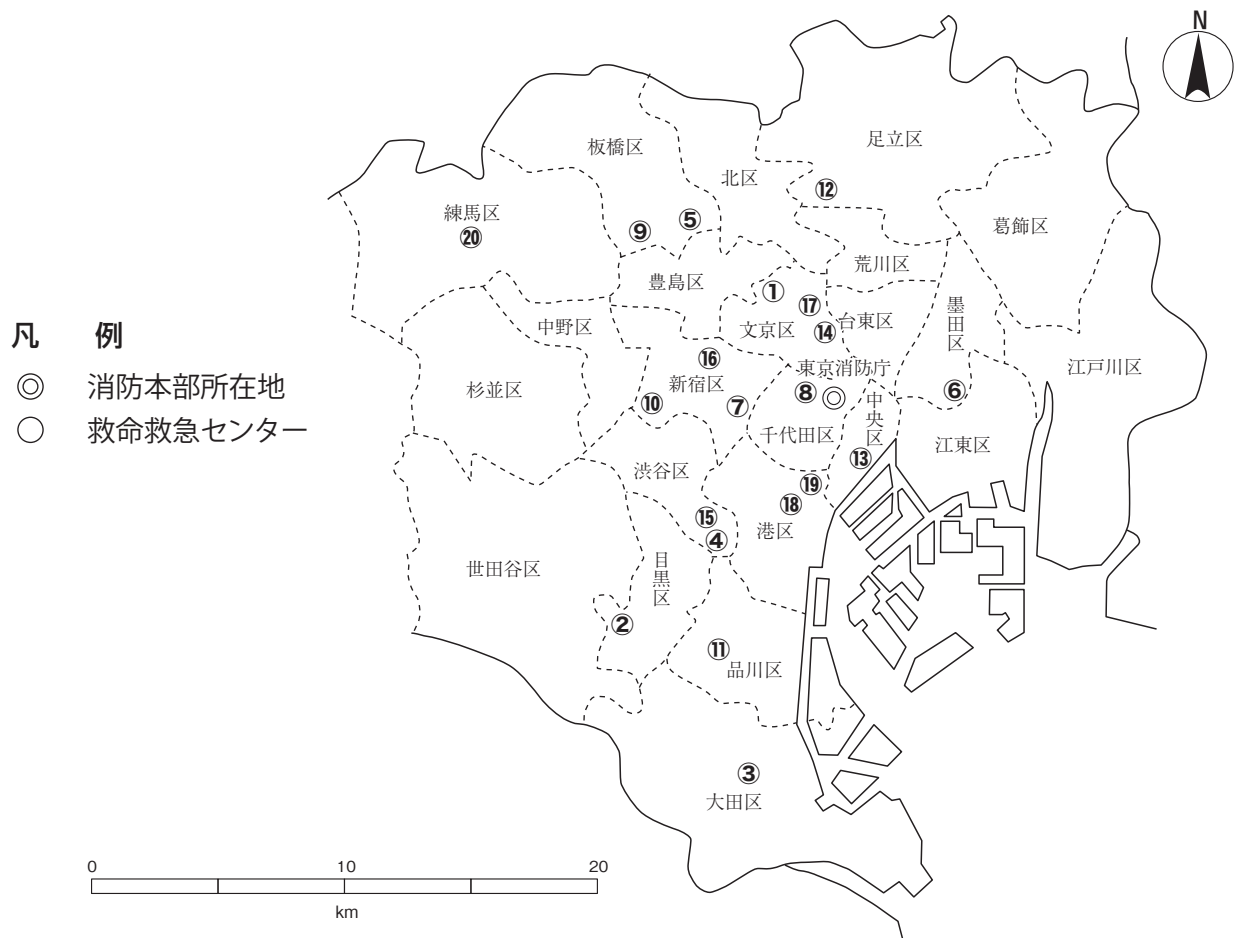
- 凡 例
- 単独常備
 - 委託常備
 - 非常備
 - 消防本部所在地



特別区以外の市町村(稲城市及び島部を除く)は東京消防庁に事務委託



東京都(23区) 救命救急センター位置図



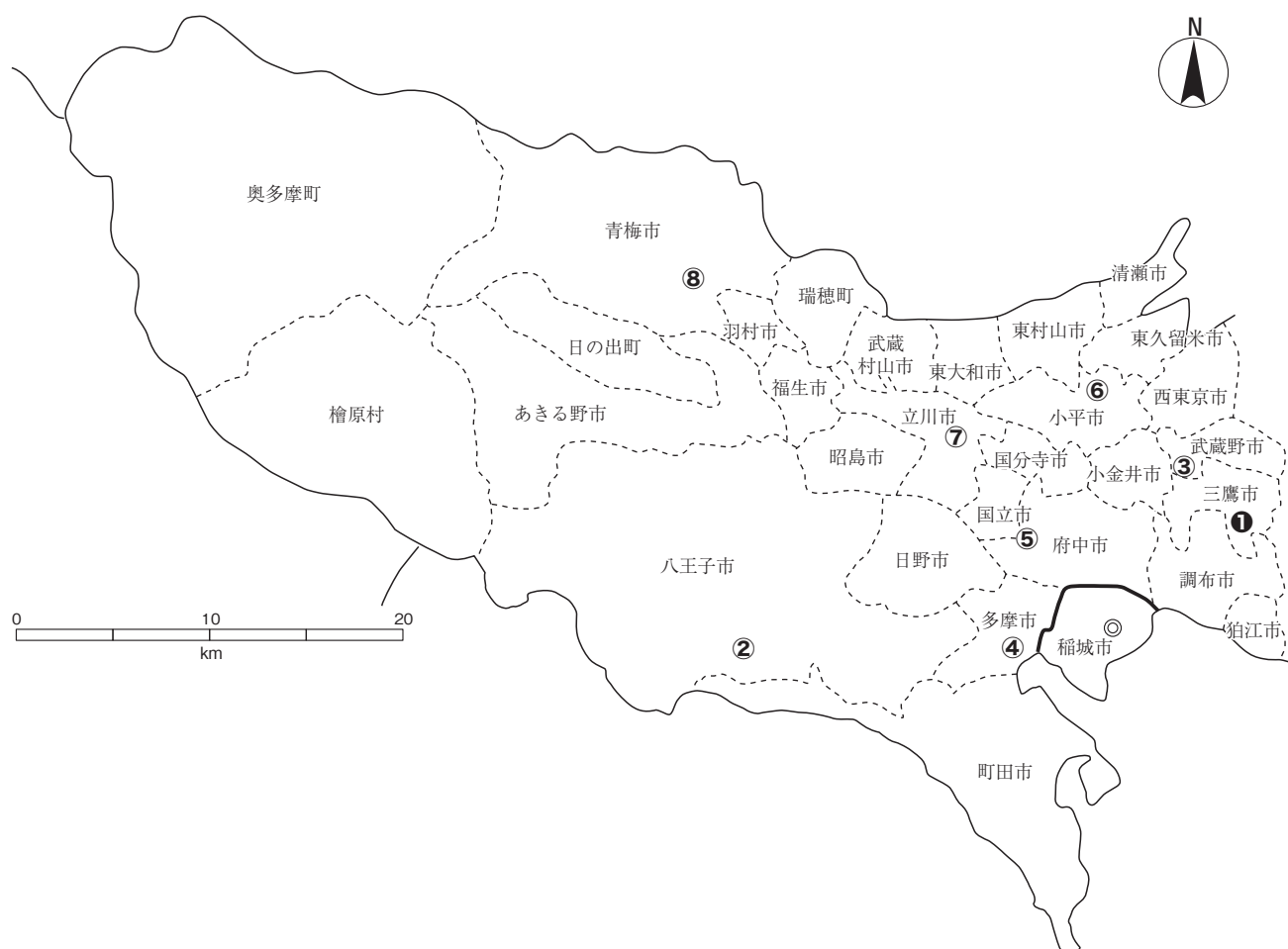
救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	日本医科大学付属病院
②	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
③	東邦大学医療センター大森病院
④	東京都立広尾病院
⑤	帝京大学医学部附属病院
⑥	東京都立墨東病院
⑦	東京女子医科大学病院
⑧	日本大学病院
⑨	日本大学医学部附属板橋病院
⑩	東京医科大学病院
⑪	昭和医科大学病院
⑫	東京女子医科大学附属足立医療センター
⑬	聖路加国際病院
⑭	東京科学大学病院
⑮	日本赤十字社医療センター
⑯	国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
⑰	東京大学医学部附属病院
⑱	東京都済生会中央病院
⑲	東京慈恵会医科大学附属病院
⑳	順天堂大学医学部附属練馬病院

東京都 (多摩地区)

救命救急センター位置図



凡 例

- ◎ 消防本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	杏林大学医学部付属病院
②	東京医科大学八王子医療センター
③	武蔵野赤十字病院
④	日本医科大学多摩永山病院
⑤	東京都立多摩総合医療センター
⑥	公立昭和病院
⑦	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター
⑧	市立青梅総合医療センター

神奈川県【神奈川県メディカルコントロール協議会】

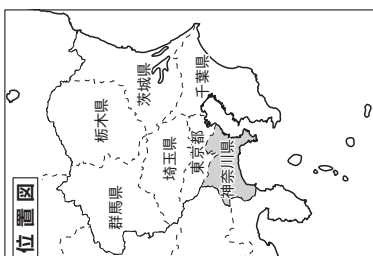
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
神奈川県メディカルコントロール協議会	中川 儀英 東海大学医学部 総合診療学系救命救急医学教授	神奈川県くらし安全防災局安全防災部消防保安課 横浜市中区日本大通1 045-210-3436 045-210-8829		
横浜市メディカルコントロール協議会	竹内 一郎 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター長	横浜市消防局救急部救急指導課 横浜市保土ヶ谷区川辺町2-20 045-334-6797 045-334-6710	横浜市消防局	横浜医療センター 済生会横浜市東部病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 昭和医科大学藤が丘病院 横浜市立市民病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター 横浜市立みなと赤十字病院 横浜労災病院 国際親善総合病院 済生会横浜市南部病院 昭和医科大学横浜市北部病院 横浜栄共済病院 横浜南共済病院
川崎市メディカルコントロール協議会	藤谷 茂樹 聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター長	川崎市消防局警防部救急課 川崎市川崎区南町20-7 044-223-2626 044-223-2619	川崎市消防局	聖マリアンナ医科大学病院 日本医科大学武蔵小杉病院 川崎市立川崎病院
三浦半島地区メディカルコントロール協議会	高宮 光 (一社)横須賀市医師会 会長	横須賀市消防局救急課 横須賀市小川町11 046-821-6562 046-823-8406	横須賀市消防局 鎌倉市消防本部 逗子市消防本部 葉山町消防本部	横須賀共済病院 横須賀市立総合医療センター 湘南鎌倉総合病院 三浦市立病院 大船中央病院 横須賀市立市民病院
湘南地区メディカルコントロール協議会	石原 宏尚 (公社)藤沢市医師会 会長	藤沢市消防局救急救命課 藤沢市朝日町1-1 0466-50-3579 0466-28-6417	藤沢市消防局 平塚市消防本部 小田原市消防本部 茅ヶ崎市消防本部 秦野市消防本部 厚木市消防本部 伊勢原市消防本部 海老名市消防本部 大磯町消防本部 二宮町消防本部 箱根町消防本部 湯河原町消防本部 愛川町消防本部	東海大学医学部付属病院 藤沢市民病院 小田原市立病院 海老名総合病院 平塚市民病院
東北・県央地区メディカルコントロール協議会	片岡 祐一 北里大学病院 救命救急・災害医療センター長	相模原市消防局警防部救急課 相模原市中央区中央2-2-15 042-751-9142 042-786-2472	相模原市消防局 大和市消防本部 座間市消防本部 綾瀬市消防本部	北里大学病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

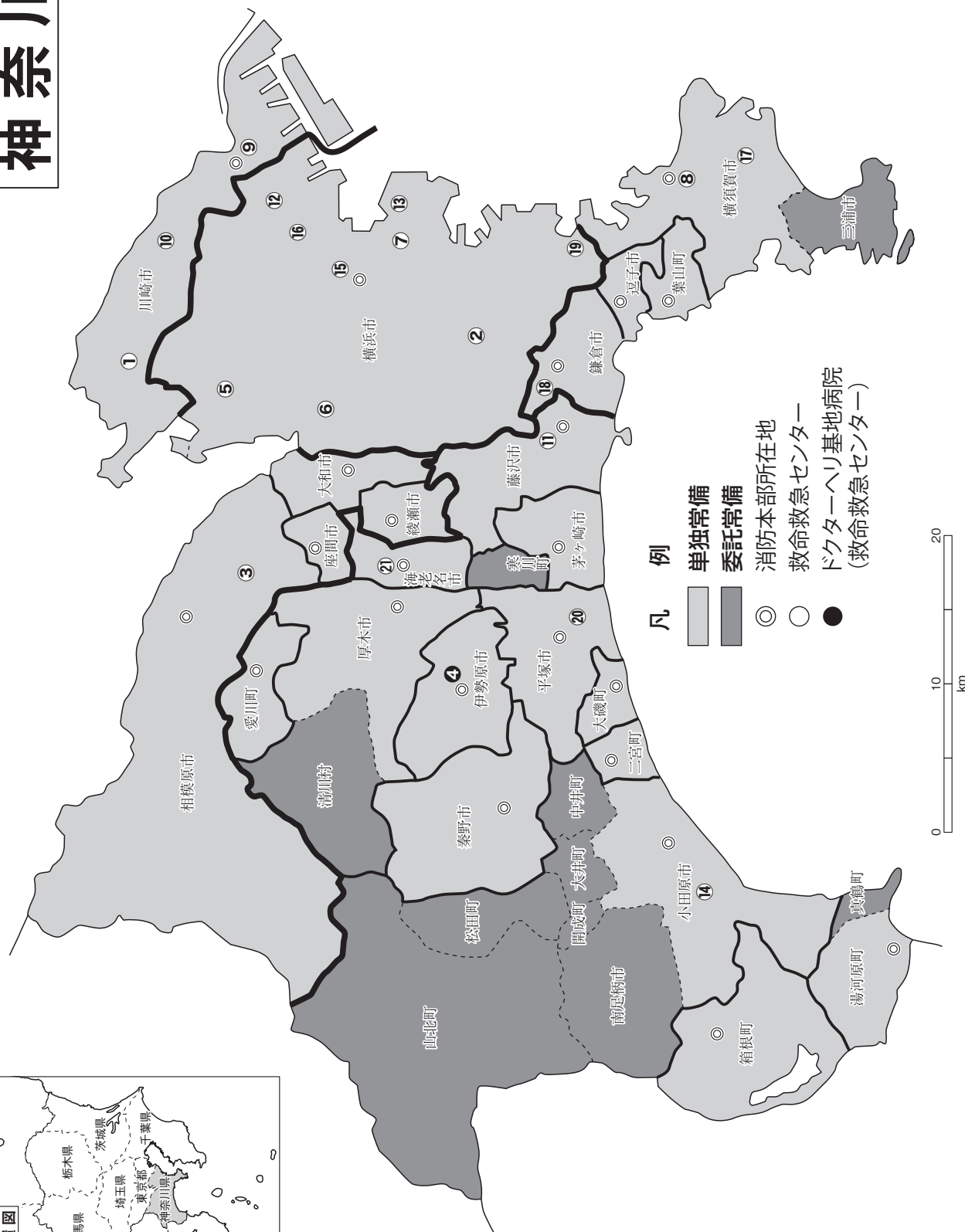
救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	聖マリアンナ医科大学病院
②	横浜医療センター
③	北里大学病院
④	東海大学医学部付属病院
⑤	昭和医科大学藤が丘病院
⑥	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
⑦	横浜市立大学附属市民総合医療センター
⑧	横須賀共済病院
⑨	川崎市立川崎病院
⑩	日本医科大学武蔵小杉病院
⑪	藤沢市民病院
⑫	済生会横浜市東部病院
⑬	横浜市立みなと赤十字病院
⑭	小田原市立病院
⑮	横浜市立市民病院
⑯	横浜労災病院
⑰	横須賀市立総合医療センター
⑱	湘南鎌倉総合病院
⑲	横浜南共済病院
⑳	平塚市民病院
㉑	海老名総合病院



神奈川県



新潟県 【新潟県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所屬機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
新潟県メディカルコントロール協議会	西山 慶 新潟大学大学院医歯学総合研究科 救命救急医学分野 教授 (高次救命災害治療センター部長)	新潟県福祉保健部地域医療政策課 新潟市中央区新光町4番地1 025-256-8924 025-284-0277 新潟県防災局消防課 新潟市中央区新光町4番地1 025-282-1664 025-282-1667		
	新潟地域メディカルコントロール協議会 熊谷 謙 新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター長	新潟県福祉保健部地域医療政策課 新潟市中央区新光町4番地1 025-256-8924 025-284-0277 新潟県防災局消防課 新潟市中央区新光町4番地1 025-282-1664 025-282-1667	新潟市消防局 佐渡市消防本部 五泉市消防本部 阿賀町消防本部	新潟大学医歯学総合病院 新潟市民病院
	下越地域メディカルコントロール協議会 武藤 謙介 新潟県新発田保健所長	新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部(新発田保健所) 新発田市豊町3-3-2 0254-26-9651 0254-26-6800 新発田地域広域事務組合消防本部 新発田市新栄町1-8-31 0254-22-9073 0254-26-6690	新発田地域広域事務組合消防本部 村上市消防本部 阿賀野市消防本部	新潟県立新発田病院
	県央地域メディカルコントロール協議会 鈴木 幸雄 新潟県三条保健所長	新潟県三条地域振興局健康福祉環境部(三条保健所) 三条市興野1-13-45 0256-36-2362 0256-36-2365 三条市消防本部 三条市西裏館3-3-10 0256-34-1111 0256-33-3555	三条市消防本部 加茂地域消防本部 燕・弥彦総合事務組合消防本部	社会福祉法人恩賜財団済生会 新潟県央基幹病院
	中越地域メディカルコントロール協議会 中山 均 新潟県長岡保健所長	新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部(長岡保健所) 長岡市沖田3-2711-1 0258-33-4930 0258-33-4933	長岡市消防本部 柏崎市消防本部 小千谷市消防本部 見附市消防本部	長岡赤十字病院
	魚沼地域メディカルコントロール協議会 山口 征吾 新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院 地域救命救急センター長	新潟県南魚沼地域振興局健康福祉環境部(南魚沼保健所) 南魚沼市六日町620-2 025-772-8142 025-772-2190 南魚沼市消防本部 南魚沼市竹俣82-2 025-782-5331 025-782-1989	南魚沼市消防本部 十日町地域消防本部 魚沼市消防本部	新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院
	上越地域メディカルコントロール協議会 小川 理 新潟県立中央病院 救命救急センター長	新潟県上越地域振興局健康福祉環境部(上越保健所) 上越市春日山町3-8-34 025-524-6134 025-524-6998 新潟県糸魚川地域振興局健康福祉部(糸魚川保健所) 糸魚川市南押上1-15-1 025-553-1933 025-552-8800	上越地域消防局 糸魚川市消防本部	新潟県立中央病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	長岡赤十字病院
②	新潟市民病院
③	新潟県立中央病院
④	新潟県立新発田病院
⑤	新潟大学医歯学総合病院
⑥	新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院

新潟県

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- 消防本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)



富山県 【富山県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
富山県救急業務高度化推進協議会	臼田 和生 富山県立中央病院 院長	富山県危機管理局消防課 富山市新総曲輪1-7 076-444-4589 076-432-0657		
富山医療圏メディカルコントロール協議会	若杉 雅浩 富山県立中央病院 救命救急センター部長	富山市消防局警防課 富山市今泉191-1 076-493-4872 076-493-4018	富山市消防局 富山県東部消防組合消防本部 立山町消防本部 射水市消防本部	富山県立中央病院 富山市立富山市民病院 富山赤十字病院 富山県済生会富山病院 富山大学附属病院 厚生連滑川病院 かみいち総合病院 富山西総合病院
高岡医療圏メディカルコントロール協議会	吉田 昌弘 厚生連高岡病院 救命救急センター長	高岡市消防本部警防課 高岡市広小路5-10 0766-22-3133 0766-22-1994	高岡市消防本部 射水市消防本部	厚生連高岡病院 高岡市民病院 富山県済生会高岡病院 JCHO高岡ふしき病院 射水市民病院 金沢医科大学氷見市民病院
新川地区メディカルコントロール協議会	辻 宏和 黒部市民病院 院長	新川地域消防本部警防課 黒部市植木761番地1 0765-54-0119 0765-54-3992	富山県東部消防組合消防本部 新川地域消防本部	富山労災病院 黒部市民病院 あさひ総合病院
砺波地域メディカルコントロール協議会	家接 健一 市立砺波総合病院 救急部長兼外科主任部長	砺波地域消防組合消防本部警防課 砺波市大辻501 0763-32-4957 0763-32-2230	砺波地域消防組合消防本部	市立砺波総合病院 南砺市民病院 公立学校共済組合北陸中央病院 公立南砺中央病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

※富山県東部消防組合消防本部は、富山医療圏メディカルコントロール協議会と新川地区メディカルコントロール協議会を重複している。

※射水市消防本部は、富山医療圏メディカルコントロール協議会と高岡医療圏メディカルコントロール協議会を重複している。

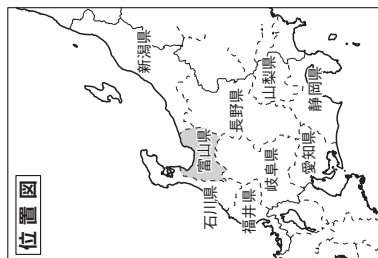
救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

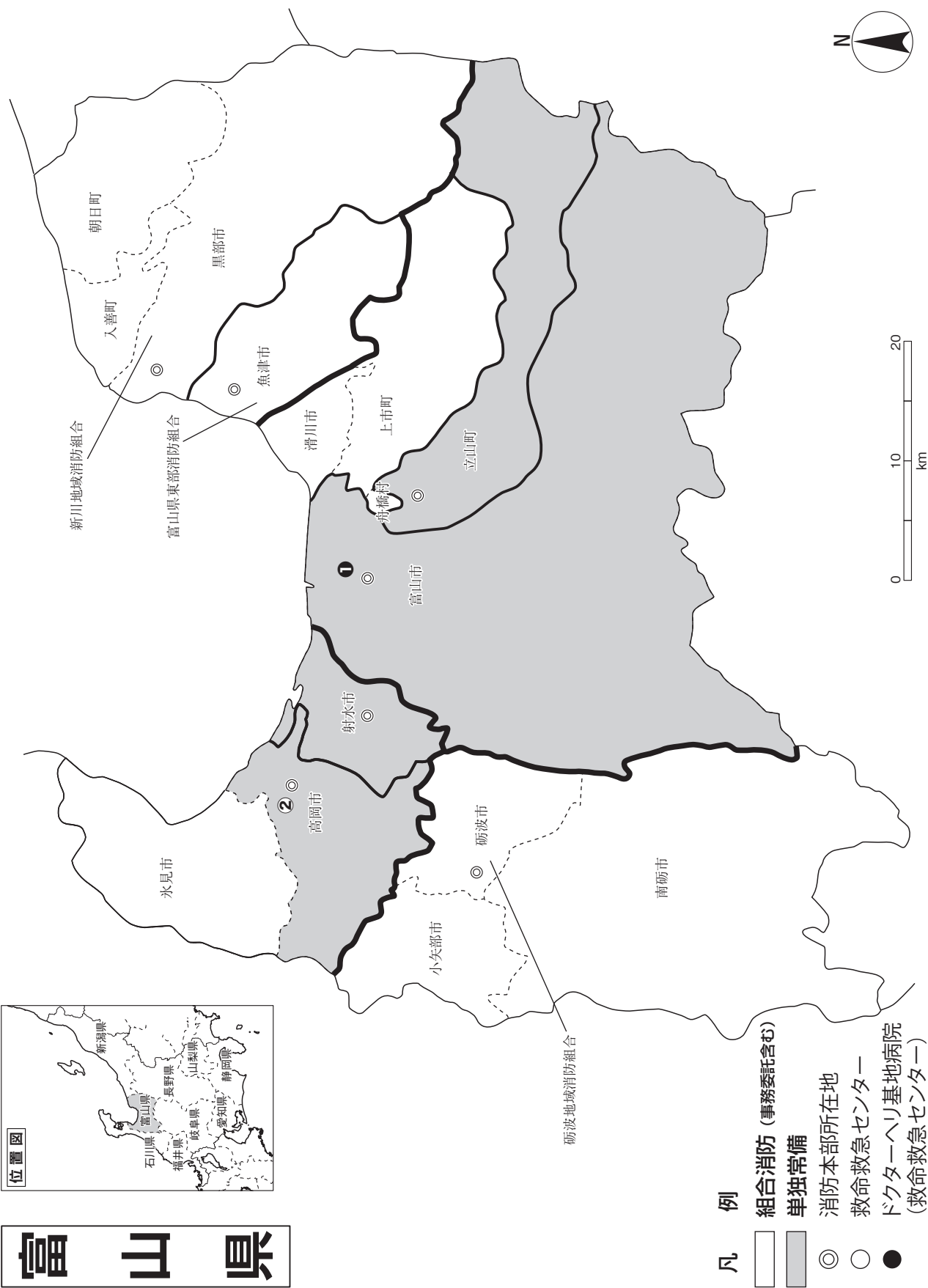
救命救急センター	施設名
①	富山県立中央病院
②	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院

地域MC協議会 4

富 山 県



位置図



石川県 【石川県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
石川県メディカルコントロール協議会	岡島 正樹 金沢大学附属病院 救急部部長	石川県危機管理部消防保安課 石川県健康福祉部医療支援課 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076-225-1481 / 076-225-1439 FAX 076-225-1486 / 076-225-1434	金沢市消防局 七尾鹿島消防本部 小松市消防本部 加賀市消防本部 かほく市消防本部 能美市消防本部 津幡町消防本部 内灘町消防本部 羽咋郡市広域圏事務組合消防本部 白山野々市広域消防本部 奥能登広域圏事務組合消防本部	金沢大学附属病院 金沢医科大学病院 石川県立中央病院 公立能登総合病院 加賀市医療センター 小松市民病院 公立松任石川中央病院 金沢医療センター 金沢市立病院 恵寿総合病院 市立輪島病院 珠洲市総合病院

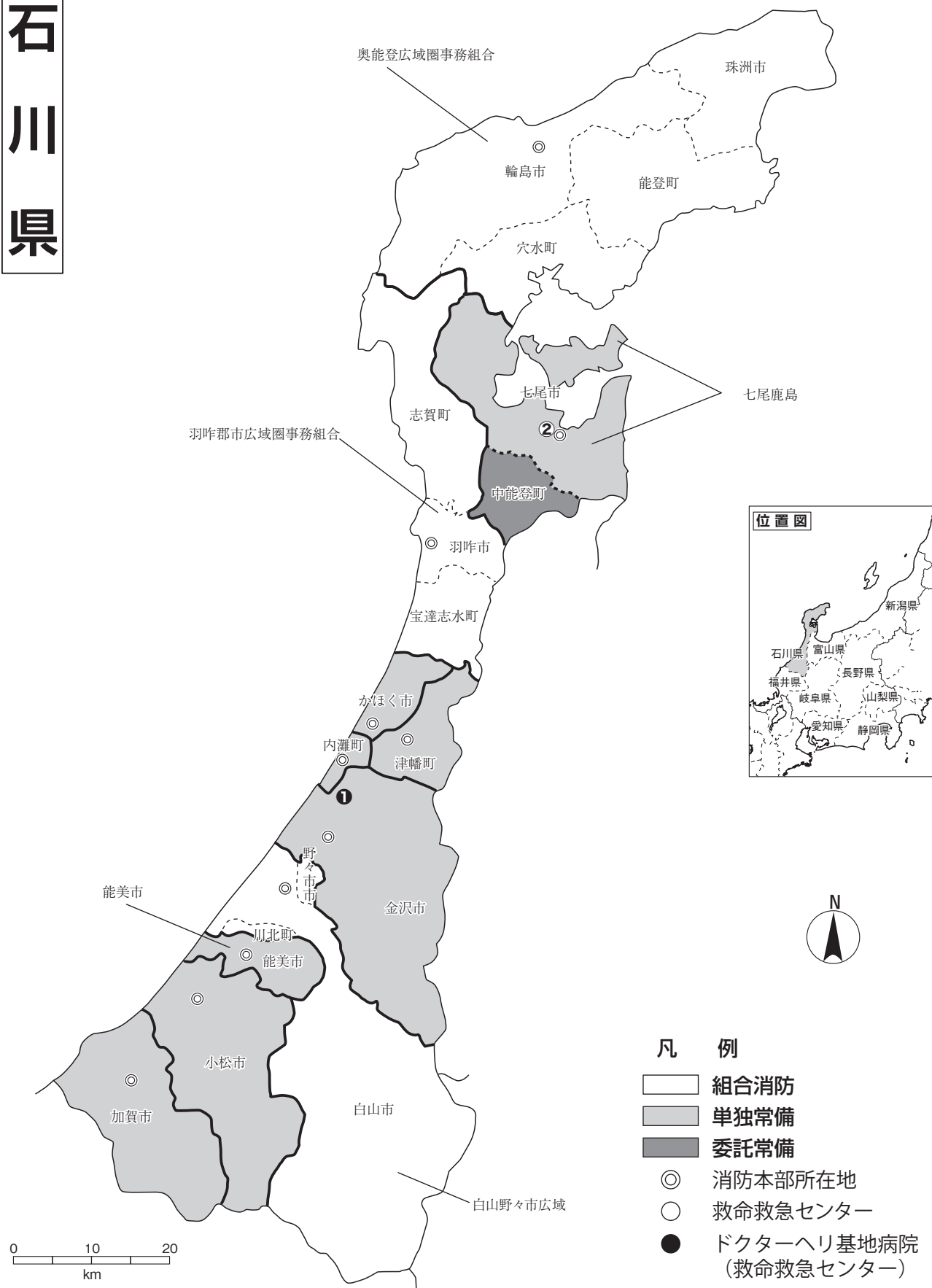
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	石川県立中央病院（平成30年9月 ドクターヘリ導入）
②	公立能登総合病院

石川県



福井県 【福井県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
福井県メディカルコントロール協議会	林 寛之 福井大学医学部附属病院 総合診療部 教授	福井県防災安全部 消防保安課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642		
福井・坂井地域メディカルコントロール協議会	前田 重信 福井県立病院 救急救命センター主任医長	福井県防災安全部 消防保安課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	嶺北消防組合消防本部 福井市消防局 永平寺町消防本部	福井県立病院 福井大学医学部附属病院
奥越地域メディカルコントロール協議会	田口 誠一 福井勝山総合病院 副院長	福井県防災安全部 消防保安課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	大野市消防本部 勝山市消防本部	福井勝山総合病院
丹南地域メディカルコントロール協議会	北島 竜美 公立丹南病院 院長	福井県防災安全部 消防保安課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	南越消防組合消防本部 鯖江・丹生消防組合消防本部	公立丹南病院
嶺南地域メディカルコントロール部会	廣瀬 敏士 杉田玄白記念公立小浜病院 副院長	福井県防災安全部 消防保安課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	敦賀美方消防組合消防本部 若狭消防組合消防本部	市立敦賀病院 杉田玄白記念公立小浜病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

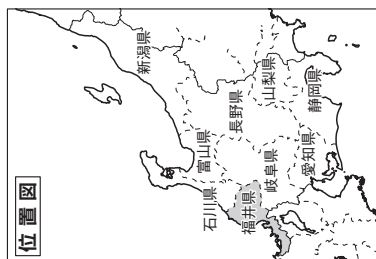
救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	福井県立病院
②	杉田玄白記念公立小浜病院

地域MC協議会 4

福井県



位置図

凡 例

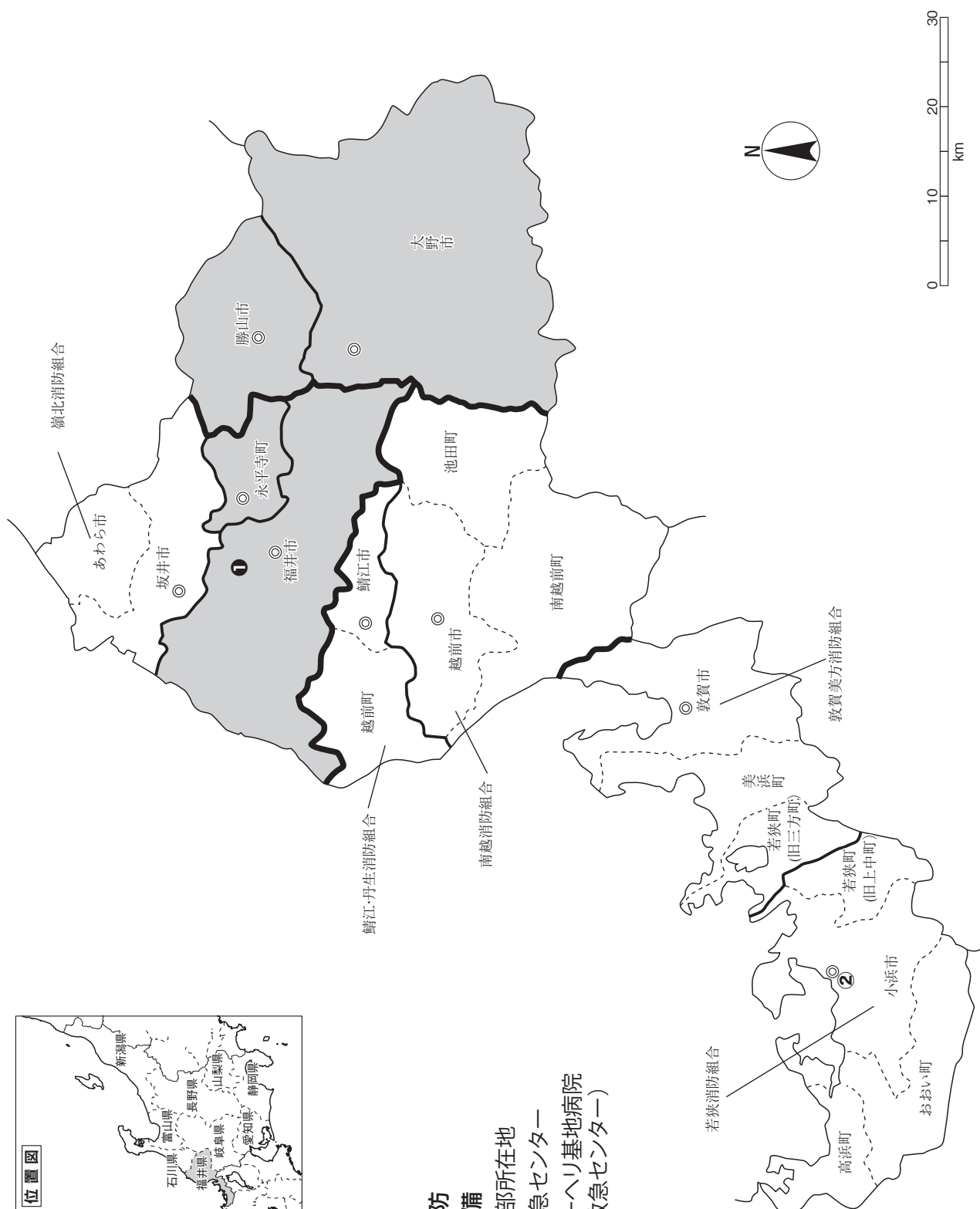
組合消防

単独常備

消防本部所在地

救命救急センター

ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)



山梨県 【山梨県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
山梨県メディカルコントロール協議会	中澤 良英 社団法人山梨県医師会 理事	山梨県防災局消防保安課 甲府市丸の内一丁目6番1号 055-223-1430 055-223-1429	甲府地区広域行政事務組合消防本部 都留市消防本部 富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 大月市消防本部 峡北広域行政事務組合消防本部 笛吹市消防本部 峡南広域行政組合消防本部 東山梨行政事務組合東山梨消防本部 上野原市消防本部 南アルプス市消防本部	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院高度救命救急センター 山梨大学医学部附属病院救急科

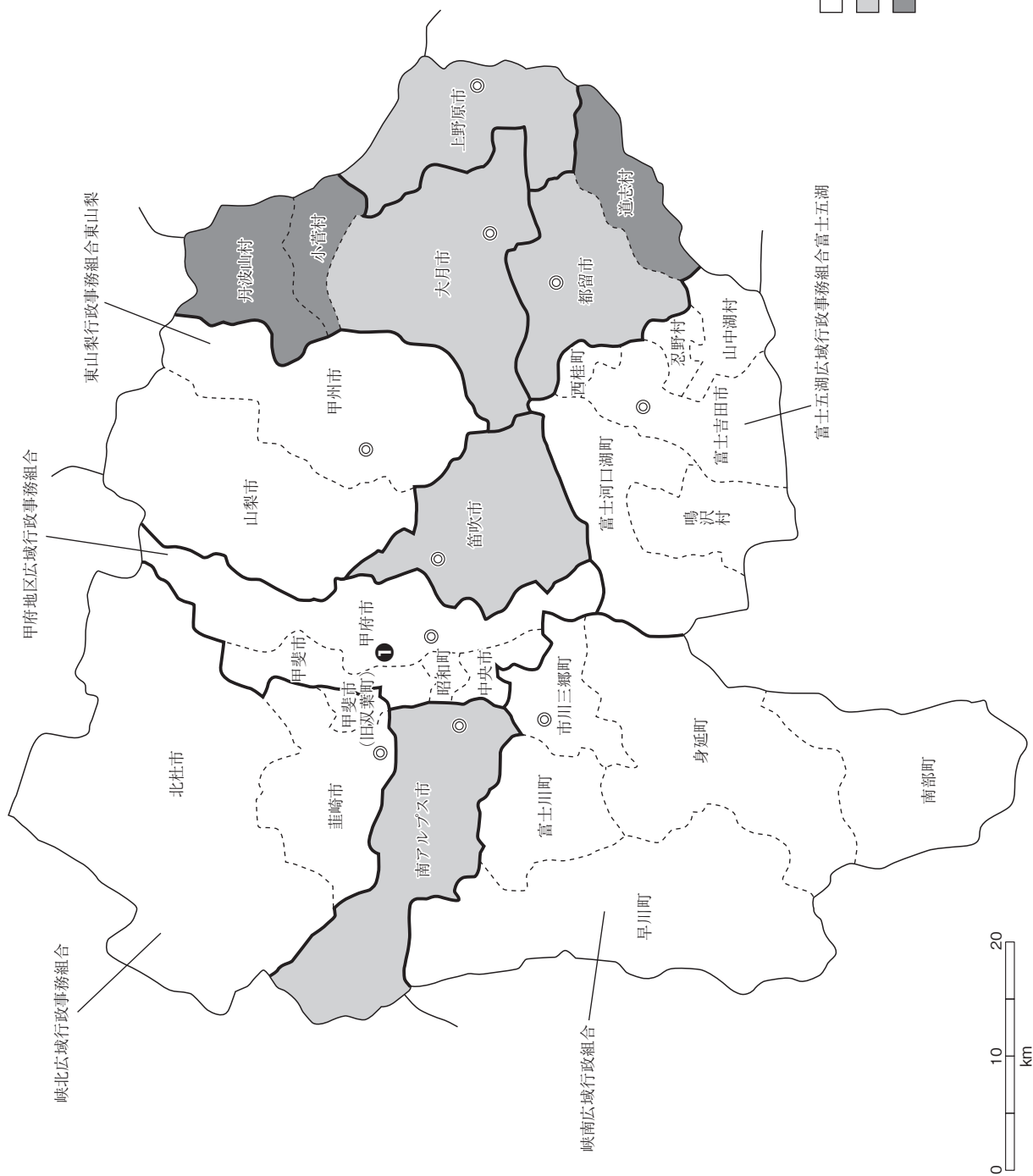
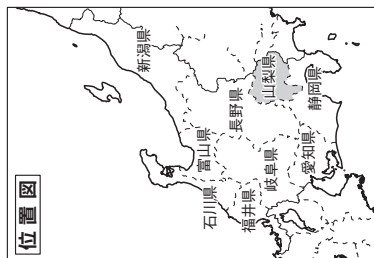
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院高度救命救急センター

山梨県



長野県【長野県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
長野県メディカルコントロール協議会	今村 浩 信州大学医学部附属病院 救急集中治療医学教室教授 高度救命救急センター長	長野県健康福祉部医療政策課 長野市大字南長野字幅下692-2 026-235-7145 026-223-7106		
佐久地域メ ディカルコン ロール協議会	菅原 敏明 佐久医師会 医師会長	佐久広域連合消防本部救急課 佐久市中込2947 0267-64-0119 0267-62-7745	佐久広域連合消防本部	JA長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター 佐久市立国保浅間総合病院 JA長野厚生連浅間南麓こもろ医療センター 軽井沢町国民健康保険 軽井沢病院
上田地域広域 連合メディカ ルコンロー ル分科会	橋本 至永 上田市医師会 医師会長	上田地域広域連合消防本部警防課 上田市大手二丁目7番16号 0268-26-0119 0268-23-6901	上田地域広域連合消防本部	信州大学医学部附属病院高度救命救急センター 独立行政法人国立病院機構信州上田医療センター 丸子中央病院 東御市民病院 依田窪病院
諏訪地域メ ディカルコン ロール協議会	今井 智彦 岡谷市医師会 理事	諏訪広域消防本部警防課 岡谷市加茂町一丁目2番6号 0266-21-1190 0266-21-2119	諏訪広域消防本部	諏訪赤十字病院 岡谷市民病院 諏訪湖畔病院 諏訪共立病院 諏訪中央病院 富士見高原病院
上伊那地域包 括医療協議会 メディカルコン ロール委員 会	高山 伸 上伊那医師会 医師会長	上伊那広域連合保健福祉課 伊那市荒井3500番地1いなっせ3階 0265-78-5356 0265-73-5867	上伊那広域消防本部	伊那中央病院 町立辰野病院 昭和伊南総合病院
飯伊地区メ ディカルコン ロール分科会	小林 尊志 飯田市立病院 救命救急センター長	飯伊地区包括医療協議会 飯田市東中央通5-96 0265-23-3636 0265-23-7112	飯田広域消防本部	飯田市立病院 県立阿南病院 飯田病院 健和会病院 輝山会記念病院 下伊那厚生病院 下伊那赤十字病院 瀬口脳神経外科病院
木曽地域メ ディカルコン ロール協議会	北川 奈美 長野県立木曽病院 救急部運営委員長	木曽広域消防本部消防課 木曽郡木曽町福島3737番地 0264-24-3119 0264-24-2929	木曽広域消防本部	長野県立木曽病院
松本広域圏救 急・災害医療 協議会メディ カルコンロー ル委員会	今村 浩 信州大学医学部附属病院 救急集中治療医学教室教授 高度救命救急センター長	松本広域消防局 松本市渚1丁目7番12号 0263-25-1699 0263-25-3987	松本広域消防局	信州大学医学部附属病院 社会医療法人財団慈泉会相澤病院 松本市医師会及び所属医療機関 塩筑医師会及び所属医療機関 安曇野市医師会及び所属医療機関 松本保健福祉事務所 松本保健所
大北地域メ ディカルコン ロール分科会	高木 哲 市立大町総合病院 副院長	北アルプス広域消防本部警防係 大町市大町4724-1 0261-22-0735 0261-21-3310	北アルプス広域消防本部	北アルプス医療センターあづみ病院 市立大町総合病院
長野地域メ ディカルコン ロール協議会	釜田秀明 長野市医師会 医師会長	長野市消防局警防課 長野市大字鶴賀1730-2 026-227-8002 026-226-8461	長野市消防局 千曲坂城消防本部 須坂市消防本部	長野赤十字病院 長野市民病院 長野中央病院 篠ノ井総合病院 長野松代総合病院 飯綱病院 新町病院 県立信州医療センター 千曲中央病院
中高・飯水地区 救急医療体制 確立及びメディ カルコンロー ル協議会	三澤 一道 中高医師会 医師会長	岳南広域消防本部消防課 中野市大字江部1324-2 0269-38-0911 0269-22-5991	岳南広域消防本部 岳北消防本部	JA長野厚生連北信総合病院 飯山赤十字病院

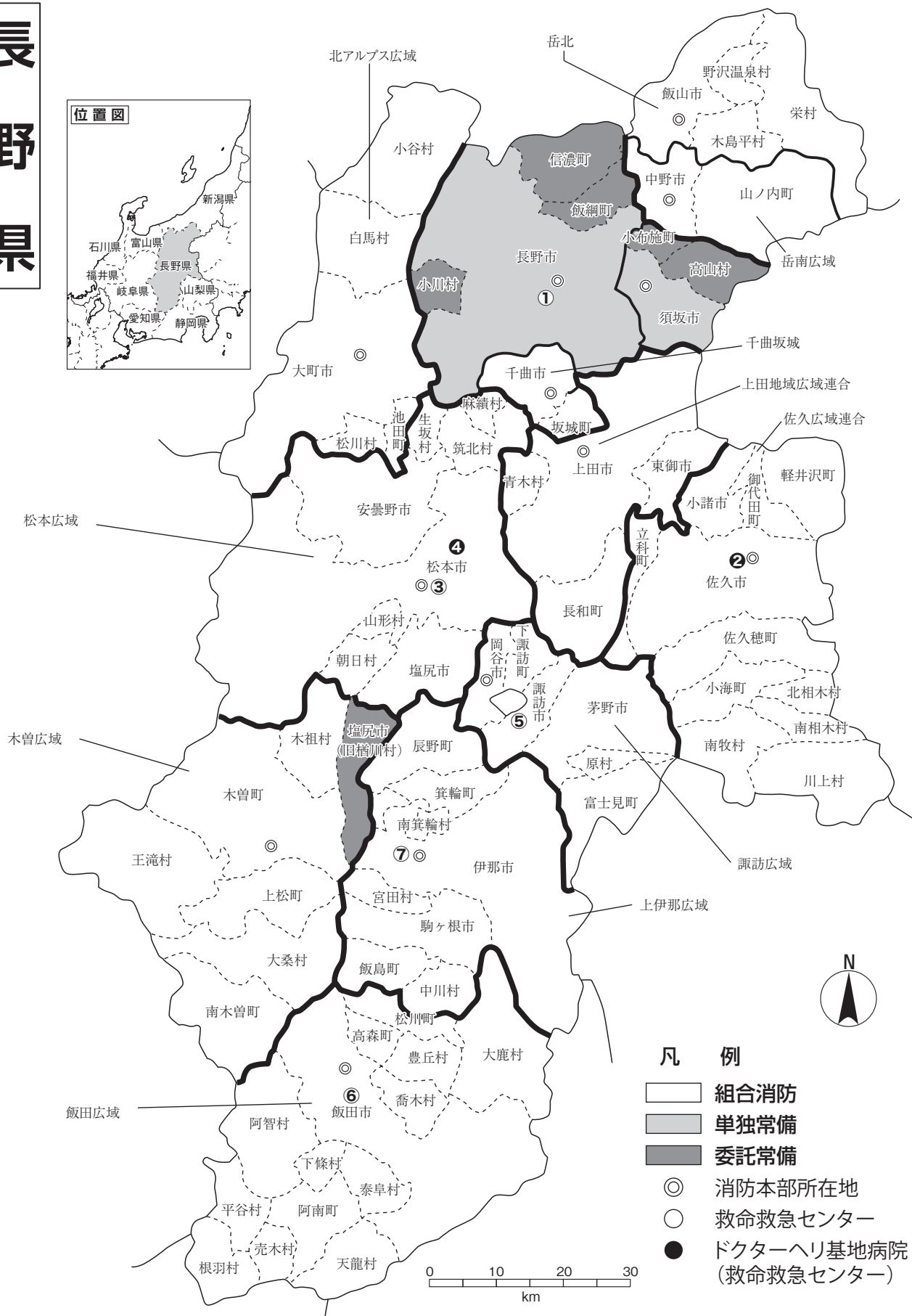
「構成中核の医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	長野赤十字病院
②	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院佐久医療センター
③	慈泉会相澤病院
④	信州大学医学部附属病院
⑤	諏訪赤十字病院
⑥	飯田市立病院
⑦	伊那中央病院

長野県



岐阜県【岐阜県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長(支部長)名 所属機関 役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
岐阜県メディカルコントロール協議会	岡田 英志 岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学分野 教授	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549		
岐阜支部	豊田 泉 岐阜県総合医療センター 副院長兼救命救急センター長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	岐阜市消防本部 羽島市消防本部 各務原市消防本部 羽島郡広域連合消防本部	岐阜大学医学部附属病院 岐阜県総合医療センター 岐阜市民病院 岐阜赤十字病院 朝日大学病院 羽島市民病院 東海中央病院 岐阜北厚生病院 松波総合病院 長良医療センター 岐阜清流病院
西濃支部	大西 将美 大垣市民病院 副院長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	大垣消防組合消防本部 海津市消防本部 養老町消防本部 不破消防組合消防本部 揖斐郡消防組合消防本部	大垣市民病院 大垣徳洲会病院 海津市医師会病院 西美濃厚生病院 博愛会病院 揖斐厚生病院
中濃支部	山田 実貴人 中部国際医療センター 副院長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	可茂消防事務組合消防本部 中濃消防組合消防本部 郡上市消防本部	可児とうのう病院 中部国際医療センター 中濃厚生病院 美濃病院 郡上市市民病院 鷺見病院 白川病院 太田病院 東可児病院 国保白鳥病院 関中央病院
東濃支部	稲垣 雅昭 岐阜県立多治見病院 救命救急センター長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	多治見市消防本部 瑞浪市消防本部 土岐市消防本部 中津川市消防本部 恵那市消防本部	岐阜県立多治見病院 東濃厚生病院 土岐市立総合病院 中津川市民病院 市立恵那病院 多治見市民病院
飛騨支部	竹中 勝信 高山赤十字病院 院長兼救命救急センター長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	高山市消防本部 飛騨市消防本部 下呂市消防本部	高山赤十字病院 久美愛厚生病院 国保白川診療所 飛騨市民病院 下呂温泉病院 下呂市立金山病院 高山市国民健康保険荘川診療所

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

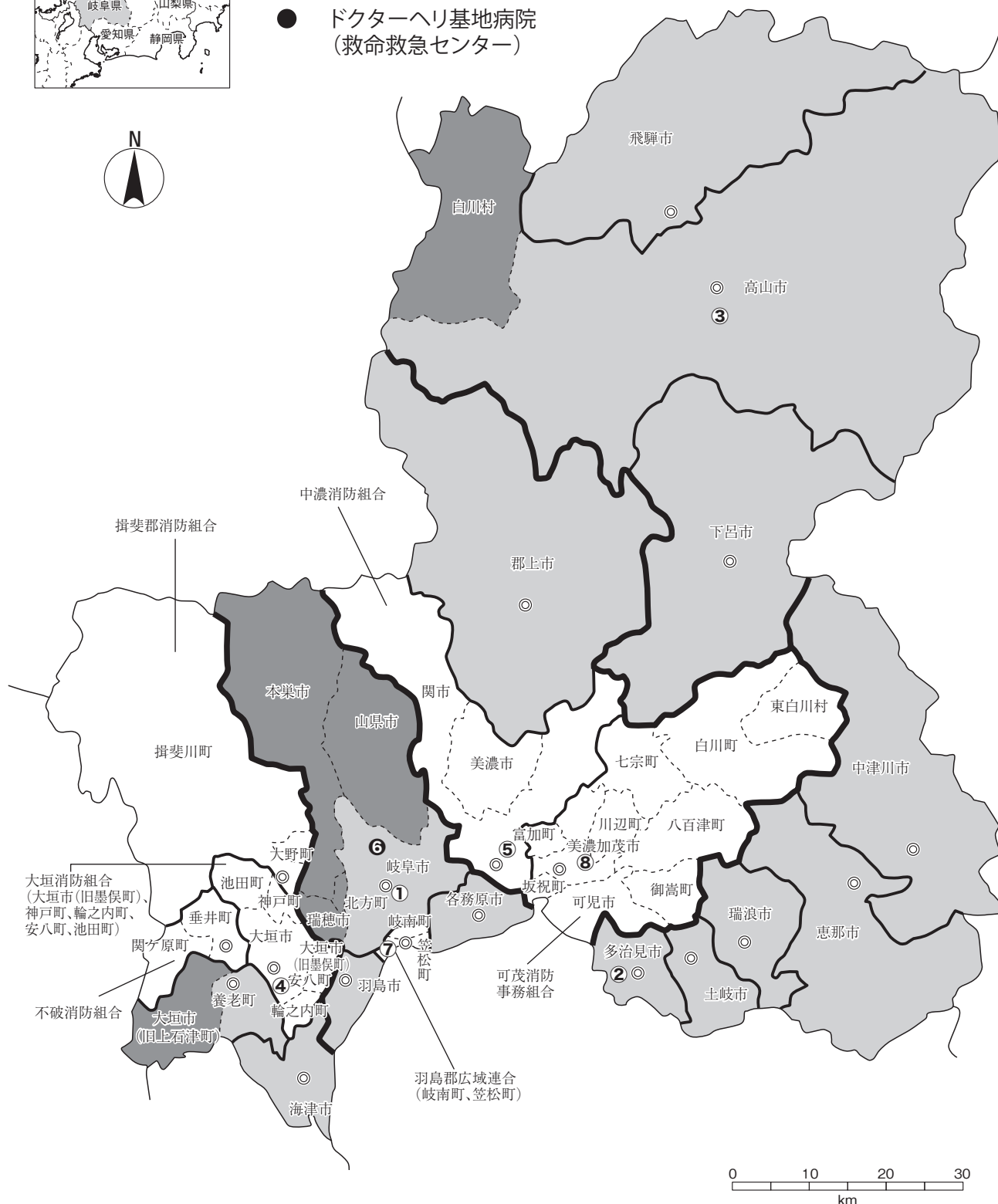
救命救急センター	施 設 名
①	岐阜県総合医療センター
②	地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院
③	日本赤十字社 高山赤十字病院
④	大垣市民病院
⑤	JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院
⑥	岐阜大学医学部附属病院
⑦	松波総合病院
⑧	中部国際医療センター



凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- 消防本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)

岐 阜 県

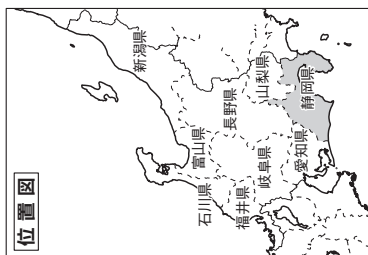
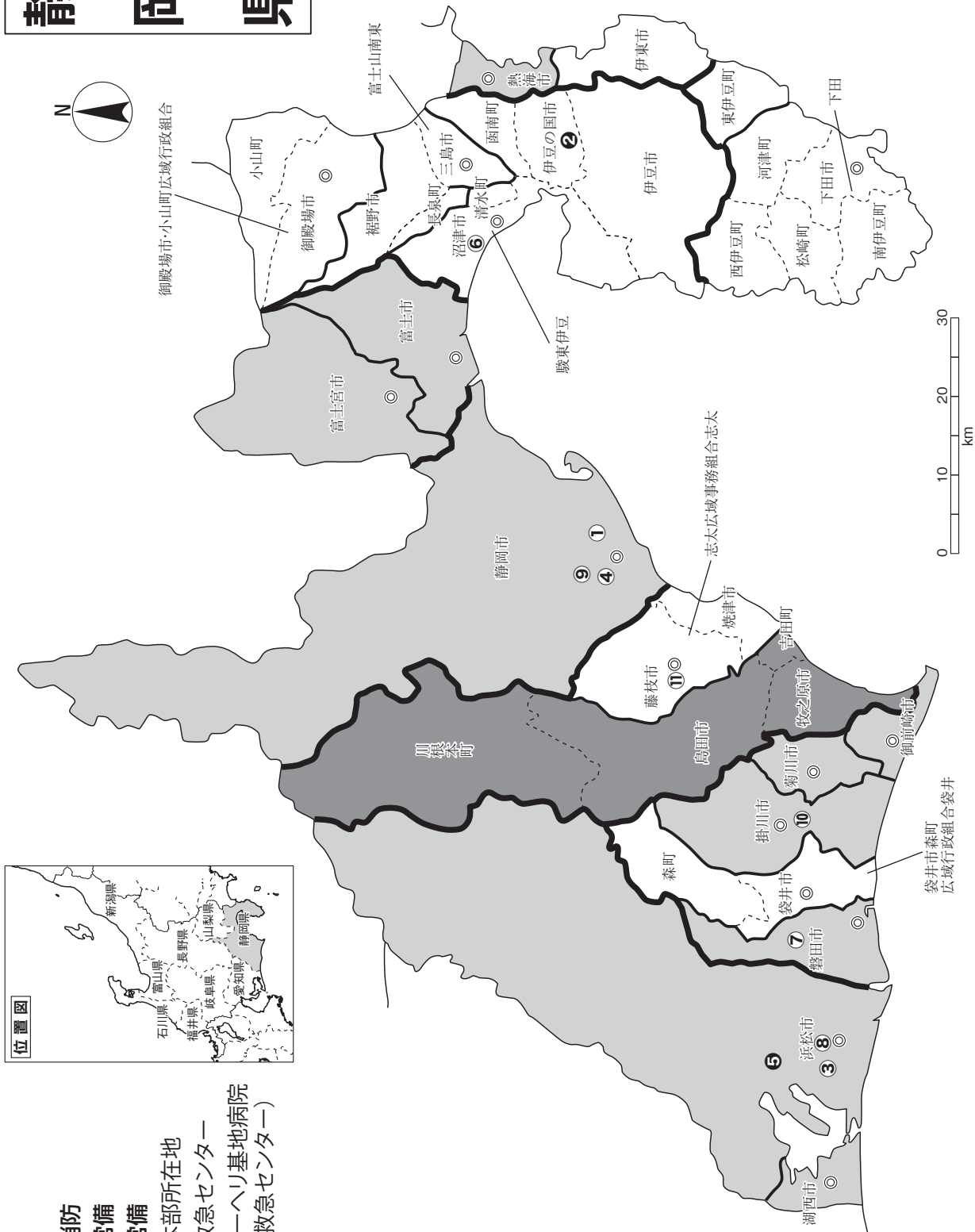


静岡県【静岡県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
静岡県メディカルコントロール協議会	秋山 欣文 静岡県医師会 理事	静岡県健康福祉部地域医療課 静岡県危機管理部消防保安課 静岡市葵区追手町9番6号 054-221-2406 054-221-2073 054-251-7188 054-221-3327		
賀茂地域メディカルコントロール協議会	太田 清利 賀茂医師会 会長	静岡県賀茂保健所地域医療課 下田市中531の1 0558-24-2052 0558-24-2169	下田消防本部 駿東伊豆消防本部	下田メディカルセンター 医療法人社団健育会西伊豆健育会病院 公益社団法人地域医療振興協会伊豆今井浜病院 医療法人社団康心会伊豆東部病院 順天堂大学医学部附属静岡病院【他】
熱海・伊東地域メディカルコントロール協議会	渡辺 英二 熱海市医師会 会長	静岡県熱海保健所総務福祉課 熱海市水口町13-15 0557-82-9106 0557-82-9131	熱海市消防本部 駿東伊豆消防本部	国際医療福祉大学熱海病院 医療法人社団伊豆七海会熱海所記念病院 伊東市民病院 順天堂大学医学部附属静岡病院【他】
駿東田方地域メディカルコントロール協議会	田中 日出和 沼津医師会 会長	駿東伊豆消防本部警防部救急課 沼津市寿町2-10 055-920-9111 055-923-9911	駿東伊豆消防本部 富士山南東消防本部 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	沼津市立病院 順天堂大学医学部附属静岡病院 一般財団法人芙蓉協会聖隷沼津病院 独立行政法人地域医療機能推進機構三島総合病院 医療法人社団志仁会三島中央病院 独立行政法人国立病院機構静岡医療センター 医療法人社団青虎会フジ虎ノ門整形外科病院 公益財団法人伊豆保健医療センター 裾野赤十字病院 医療法人社団親和会西島病院 医療法人社団宏和会岡村記念病院 伊豆赤十字病院 公益社団法人有隣厚生会富士病院 医療法人社団駿栄会御殿場石川病院 公益社団法人有隣厚生会東部病院 公益社団法人有隣厚生会富士小山病院【他】
富士地域メディカルコントロール協議会	望月 衛 富士市医師会 会長	富士市消防本部警防課救急管理室 富士市永田町1丁目100 0545-55-2856 0545-53-4633	富士宮市消防本部 富士市消防本部	富士宮市立病院 一般財団法人富士脳障害研究所附属病院 富士市立中央病院 共立蒲原総合病院 医療法人社団秀峰会川村病院 一般財団法人恵愛会聖隷富士病院【他】
静岡地域メディカルコントロール協議会	鈴木 研一郎 静岡市静岡医師会 会長	静岡市消防局警防部救急課 静岡市駿河区南八幡町10-30 054-280-0199 054-280-0189	静岡市消防局	静岡済生会総合病院 静岡赤十字病院 静岡県立総合病院 JA静岡厚生連静岡厚生病院 静岡市立静岡病院 静岡県立こども病院 静岡徳洲会病院 静岡市立清水病院 JA静岡厚生連清水厚生病院 独立行政法人地域医療機能推進機構清水さくら病院
志太榛原地域メディカルコントロール協議会	森 泰雄 志太医師会 会長	静岡県中部保健所地域医療課 藤枝市瀬戸新屋362-1 054-644-9273 054-644-4471	静岡市消防局 志太広域事務組合志太消防本部	島田市立総合医療センター 焼津市立総合病院 藤枝市立総合病院 榛原総合病院【他】
中東遠地域メディカルコントロール協議会	福永 研 磐田市医師会 会長	静岡県西部保健所地域医療課 磐田市見付3599-4 0538-37-2793 0538-37-2224	磐田市消防本部 掛川市消防本部 菊川市消防本部 御前崎市消防本部 袋井市森町広域行政組合袋井消防本部	磐田市立総合病院 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 菊川市立総合病院 市立御前崎総合病院 公立森町病院【他】
西部地域メディカルコントロール協議会	滝浪 實 浜松市医師会 会長	浜松市消防局警防課救急企画グループ 浜松市中央区下池川町19-1 053-475-7562 053-475-7539	浜松市消防局 湖西市消防本部	浜松医療センター 社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷三方原病院 社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院 浜松医科大学医学部附属病院 独立行政法人労働者健康安全機構浜松労災病院 浜松赤十字病院 JA静岡厚生連遠州病院 独立行政法人国立病院機構天竜病院 浜松市国民健康保険佐久間病院【他】

「構成中核の医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

静岡県



例
凡

総合消防
 単独常備
 委託常備
 消防本部所在地
 救命救急センター
 ドクターヘリ基地病院 (救命救急センター)

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	静岡済生会総合病院
②	順天堂大学医学部附属静岡病院
③	浜松医療センター
④	静岡赤十字病院
⑤	聖隷三方原病院
⑥	沼津市立病院
⑦	磐田市立総合病院
⑧	聖隷浜松病院
⑨	地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院
⑩	中東遠総合医療センター
⑪	藤枝市立総合病院

愛知県 【愛知県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
愛知県救急業務高度化推進協議会	北川 喜己 名古屋掖済会病院 院長	愛知県防災安全局防災部消防保安課 愛知県保健医療局健康医務部医務課 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 052-954-7454 052-954-6994		
名古屋市メディカルコントロール協議会	稲田 真治 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 第一救急科部長 兼救命救急センター長	名古屋市消防局 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 052-972-3583 052-972-3582	名古屋市消防局	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 (独)国立病院機構名古屋医療センター 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 名古屋市立大学病院 名古屋掖済会病院 (独)地域医療機能推進機構 中京病院 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 名古屋大学医学部附属病院 藤田医科大学病院
海部地区メディカルコントロール協議会	谷内 仁 厚生連 海南病院 院長補佐兼第4診療部長 兼救命救急センター長 兼救急科代表部長	海部南部消防組合消防本部 海部郡飛鳥村大宝五丁目182番地 0567-52-3111 0567-52-3114	津島市消防本部 愛西市消防本部 蟹江町消防本部 海部東部消防組合消防本部 海部南部消防組合消防本部	厚生連 海南病院 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 名古屋掖済会病院
知多地区メディカルコントロール協議会	太平 周作 (地独)知多半島総合医療機構知多半島総合医療センター 副院長兼 救急科統括部長	知多中部広域事務組合消防本部 半田市東洋町1丁目6番地 0569-21-1492 0569-22-7420	常滑市消防本部 東海市消防本部 大府市消防本部 知多市消防本部 知多中部広域事務組合消防本部 知多南部消防組合消防本部	(地独)知多半島総合医療機構知多半島総合医療センター あいち小児保健医療総合センター (独)地方医療機能推進機構 中京病院 藤田医科大学病院 刈谷豊田総合病院
尾張東部地区メディカルコントロール協議会	渡邊 栄三 愛知医科大学病院 救命救急科教授	尾三消防本部 愛知郡東郷町大字諸輪字曙18番地 0561-38-7215 0561-38-6962	瀬戸市消防本部 尾張旭市消防本部 尾三消防本部	公立陶生病院 藤田医科大学病院 愛知医科大学病院
尾張北部地区メディカルコントロール協議会	井上 卓也 小牧市民病院 救急集中治療科部長 兼救命救急センター長	小牧市消防本部 小牧市安田町119番地 0568-76-0276 0568-73-5614	一宮市消防本部 春日井市消防本部 犬山市消防本部 江南市消防本部 小牧市消防本部 稲沢市消防本部 岩倉市消防本部 丹羽広域事務組合消防本部 西春日井広域事務組合消防本部	一宮市立市民病院 総合大雄会病院 春日井市民病院 小牧市民病院 厚生連 江南厚生病院
西三河地区メディカルコントロール協議会	田淵 昭彦 厚生連 安城更生病院 副院長兼 集中治療センター長	岡崎市消防本部 岡崎市朝日町三丁目4番地 0564-21-9886 0564-21-9821	岡崎市消防本部 豊田市消防本部 西尾市消防本部 幸田町消防本部 衣浦東部広域連合消防局	厚生連 豊田厚生病院 トヨタ記念病院 岡崎市民病院 刈谷豊田総合病院 厚生連 安城更生病院
東三河地区メディカルコントロール協議会	斗野 敦士 豊橋市民病院 救急科部長 兼救急外来センター長	豊橋市消防本部 豊橋市東松山町23番地 0532-51-3101 0532-56-1411	豊橋市消防本部 豊川市消防本部 蒲郡市消防本部 新城市消防本部 田原市消防本部	豊橋市民病院 豊川市民病院

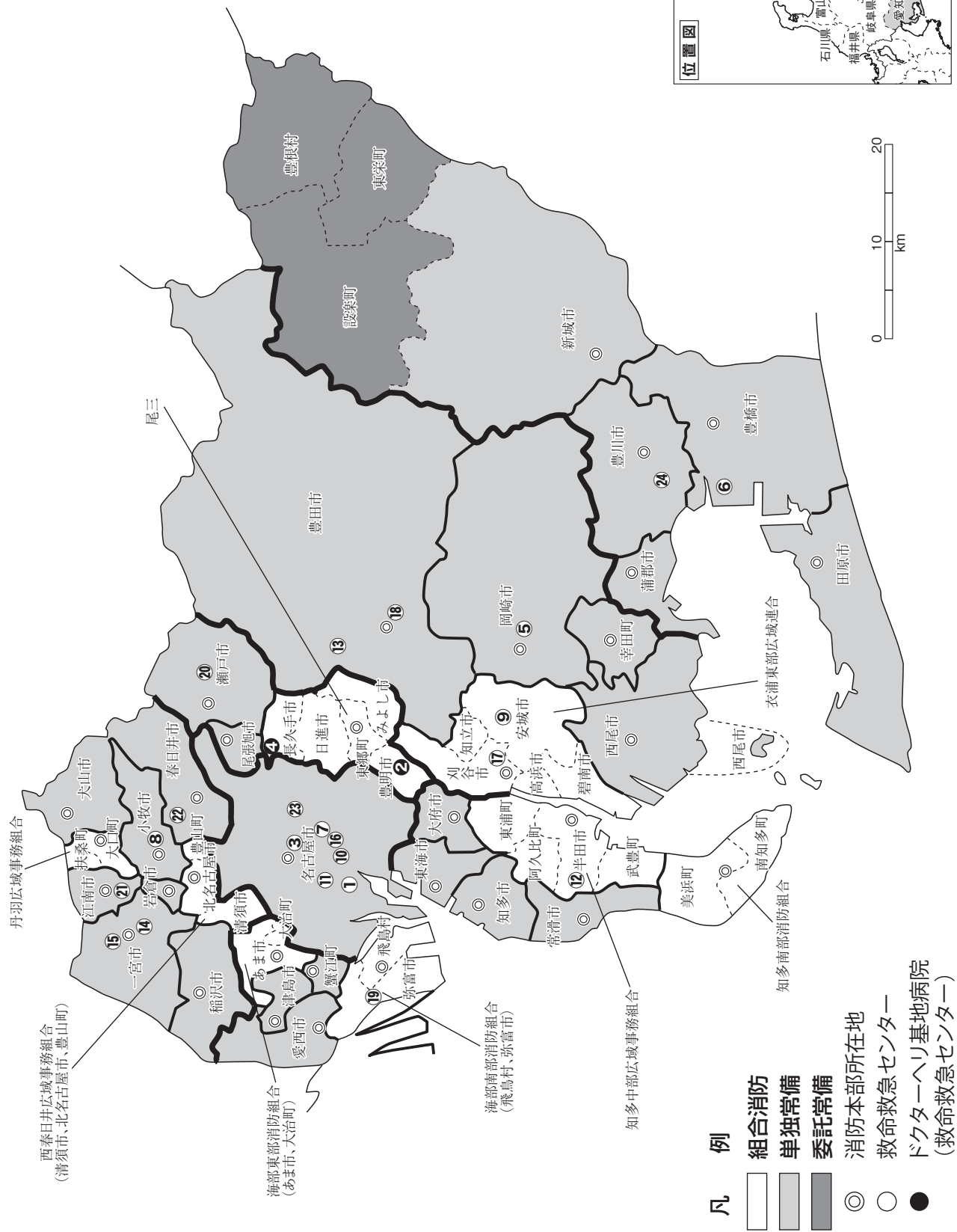
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	名古屋掖済会病院
②	藤田医科大学病院
③	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
④	愛知医科大学病院
⑤	岡崎市民病院
⑥	豊橋市民病院
⑦	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
⑧	小牧市民病院
⑨	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
⑩	中京病院
⑪	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
⑫	地方独立行政法人知多半島総合医療機構知多半島総合医療センター
⑬	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
⑭	総合大雄会病院
⑮	一宮市立市民病院
⑯	名古屋市立大学病院
⑰	刈谷豊田総合病院
⑱	トヨタ記念病院
⑲	愛知厚生連海南病院
⑳	公立陶生病院
㉑	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院
㉒	春日井市民病院
㉓	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター
㉔	豊川市民病院

愛 知 県



三重県 【三重県救急搬送・医療連携協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
三重県救急搬送・医療連携協議会	【会長】 佐久間 肇 三重大学医学部附属病院 三重大学医学部附属病院院長	三重県医療保健部医療政策課 津市広明町13 TEL 059-224-3370 FAX 059-224-2340 三重県防災対策部消防・保安課 津市広明町13 TEL 059-224-2108 FAX 059-224-3350		
桑名地域メディカルコントロール協議会	辻 理 桑名医師会 桑名医師会副会長	桑名保健所 桑名市中央町5丁目71 TEL 0594-24-3621 FAX 0594-24-3692	桑名市消防本部	桑名市総合医療センター いなべ総合病院
四日市地域メディカルコントロール協議会	山中 賢治 四日市医師会 四日市医師会会長	四日市市保健所 四日市市諏訪町2-2 TEL 059-354-8281 FAX 059-351-3304	四日市市消防本部 菰野町消防本部	県立総合医療センター 市立四日市病院 四日市羽津医療センター 菰野厚生病院
鈴鹿・亀山地域メディカルコントロール協議会	清水 重利 鈴鹿中央総合病院 副院長	鈴鹿市消防本部 鈴鹿市飯野寺家町217-1 TEL 059-382-9155 FAX 059-383-1447	鈴鹿市消防本部 亀山市消防本部	鈴鹿中央総合病院 鈴鹿回生病院 亀山市立医療センター
津・久居地域メディカルコントロール協議会	鈴木 圭 三重大学医学部附属病院 救命救急センター長・教授	津保健所 津市桜橋3-446-34 TEL 059-223-5290 FAX 059-223-5119	津市消防本部	三重大学医学部附属病院 三重中央医療センター 武内病院 永井病院
松阪地区メディカルコントロール協議会	平岡 直人 松阪地区医師会 松阪地区医師会会長	松阪地区広域消防組合消防本部 松阪市川井町1001-1 TEL 0598-25-1413 FAX 0598-21-3080	松阪地区広域消防組合消防本部 紀勢地区広域消防組合消防本部	松阪中央総合病院 済生会松阪総合病院 松阪市民病院 大台厚生病院 南島メディカルセンター
三地域メディカルコントロール協議会	山川 伸隆 伊勢地区医師会 伊勢地区医師会会長	伊勢保健所 伊勢市勢田町628-2 TEL 0596-27-5134 FAX 0596-27-5253	伊勢市消防本部 鳥羽市消防本部 志摩市消防本部	伊勢赤十字病院 市立伊勢総合病院 三重県立志摩病院
伊賀地域メディカルコントロール協議会	田中 光司 伊賀市立上野総合市民病院 院長	伊賀保健所 伊賀市四十九町2802 TEL 0595-24-8070 FAX 0595-24-8085	伊賀市消防本部 名張市消防本部	伊賀市立上野総合市民病院 社会医療法人畿内会 岡波総合病院 名張市立病院
東紀州地域尾鷲地区メディカルコントロール協議会	世古口 茂幸 紀北医師会 紀北医師会理事	尾鷲保健所 尾鷲市坂場西町1-1 TEL 0597-23-3446 FAX 0597-23-3449 三重紀北消防組合消防本部 尾鷲市中川28-43 TEL 0597-22-8679 FAX 0597-22-6392	三重紀北消防組合消防本部	尾鷲総合病院
紀南地域メディカルコントロール協議会	寺本 泰 紀南医師会 紀南医師会会員	熊野保健所 熊野市井戸町383 TEL 0597-85-2158 FAX 0597-85-3914 熊野市消防本部 熊野市有馬町1365-1 TEL 0597-89-0995 FAX 0597-89-4424	熊野市消防本部	紀南病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

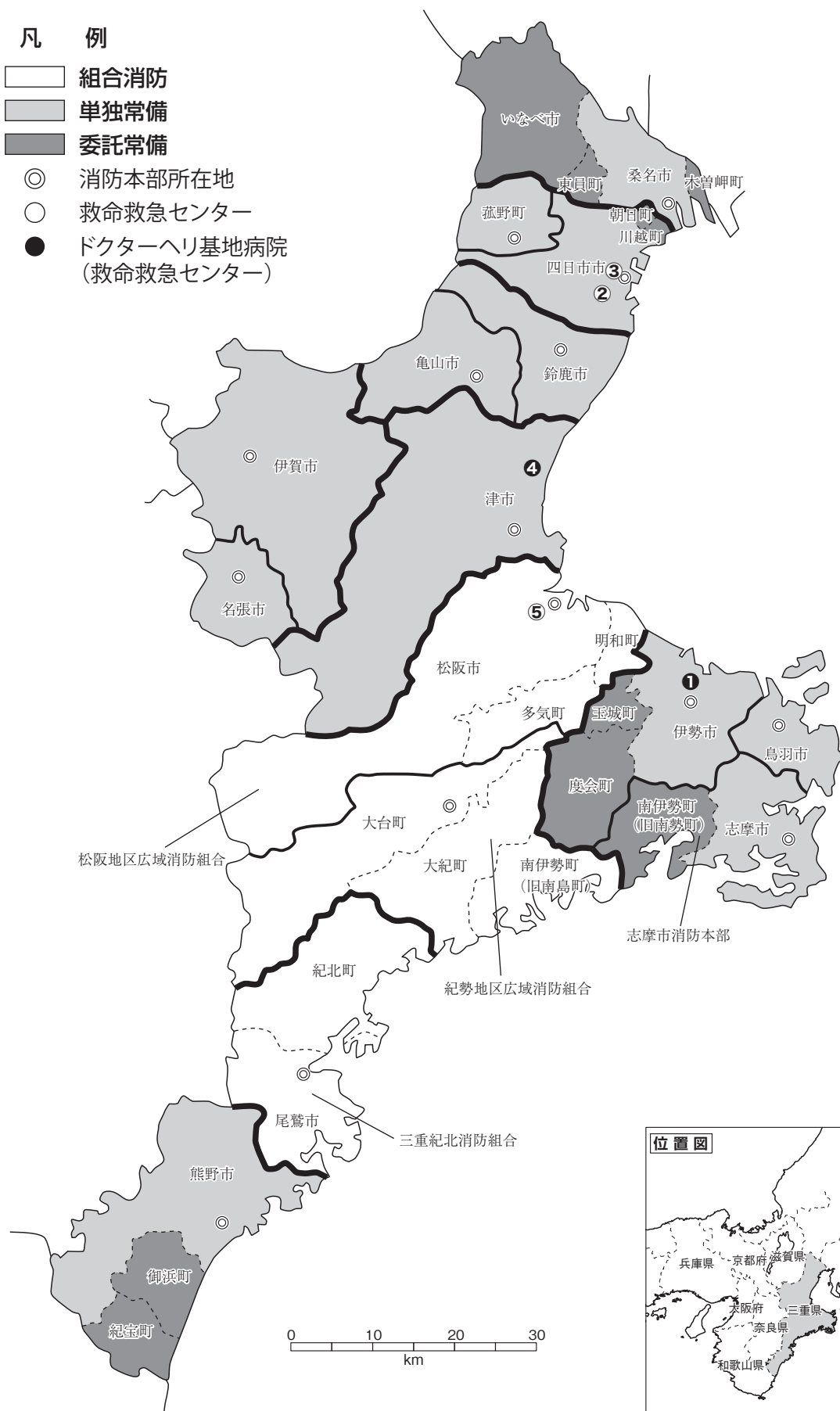
救命救急センター	施設名
①※	伊勢赤十字病院
②	三重県立総合医療センター
③	市立四日市病院
④※	三重大学医学部附属病院
⑤	松阪中央総合病院

※2施設でドクターヘリ1機

三重県



- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - 消防本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)



滋賀県 【滋賀県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
滋賀県メディカルコントロール協議会	小川 修 大津赤十字病院 院長	滋賀県知事公室防災危機管理局 滋賀県健康医療福祉部医療政策課 大津市京町四丁目1番1号 (防災) (医療) 077-528-3431 077-528-3625 077-528-6037 077-528-4859		
大津市メディカルコントロール協議会	塩見 直人 滋賀医科大学 救急集中治療医学講座 教授	大津市消防局警防課救急高度化推進室 大津市御陵町3番1号 077-525-9903 077-525-9904	大津市消防局	大津赤十字病院 市立大津市民病院 滋賀医科大学医学部附属病院 地域医療機能推進機構滋賀病院 琵琶湖大橋病院 大津赤十字志賀病院
湖南救急医療連絡協議会	森谷 季吉 社会医療法人誠光会 淡海医療センター病院長	湖南広域消防局救命救急課 栗東市小柿三丁目1番1号 077-552-9922 077-552-0988	湖南広域消防局	済生会滋賀県病院 淡海医療センター 市立野洲病院 済生会守山市民病院 滋賀医科大学医学部附属病院 滋賀県立総合病院 近江草津徳洲会病院
甲賀地域メディカルコントロール協議会	浅田 佳邦 (一社)甲賀湖南医師会 会長	甲賀広域行政組合消防本部警防課 甲賀市水口町水口6218番地 0748-63-7934 0748-63-7940	甲賀広域行政組合消防本部	公立甲賀病院 甲賀市立信楽中央病院 生田病院 甲南病院
東近江救急高度化推進協議会	頼住 一 (一社)近江八幡市蒲生郡医師会 会長	東近江行政組合消防本部警防課 東近江市東今崎町5番33号 0748-22-7604 0748-22-7613	東近江行政組合消防本部	近江八幡市立総合医療センター 国立病院機構東近江総合医療センター 東近江敬愛病院 東近江市立能登川病院 日野記念病院 湖東記念病院
湖東地域救急高度化推進協議会	中野 顯 彦根市立病院 院長	彦根市消防本部警防課 彦根市西今町415番地 0749-22-0337 0749-22-9427	彦根市消防本部	彦根市立病院 彦根中央病院 友仁山崎病院 豊郷病院
湖北地域救急医療高度化推進協議会	森上 直樹 (一社)湖北医師会 会長	湖北地域消防本部救急課 長浜市平方町1135番地 0749-62-6194 0749-65-4450	湖北地域消防本部	長浜赤十字病院 市立長浜病院 長浜市立湖北病院
高島市メディカルコントロール協議会	松本 道明 (一社)高島市医師会 会長	高島市消防本部警防課 高島市今津町日置前5150番地 0740-22-5402 0740-22-5199	高島市消防本部	高島市民病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

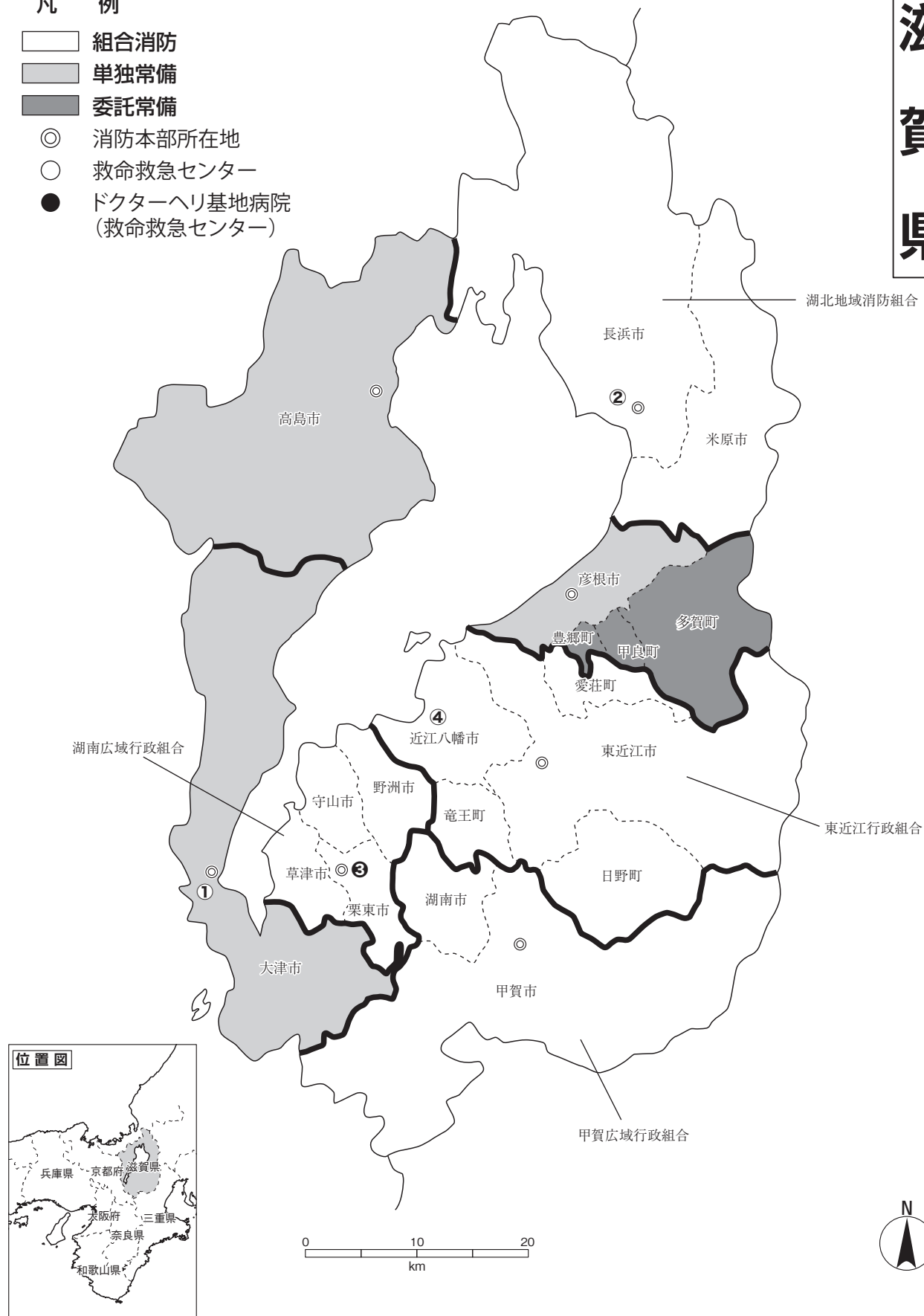
(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	大津赤十字病院
②	長浜赤十字病院
③	済生会滋賀県病院
④	近江八幡市立総合医療センター

地域MC協議会 7

滋賀県

- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - 消防本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)



京都市 【京都市高度救急業務推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
京都市高度救急業務推進協議会	谷口 洋子 京都府医師会(谷口医院) 副会長(院長)	京都府危機管理部消防保安課 京都市上京区下立売新町西入藪ノ内町 075-414-4471 075-414-4477		
丹後メディカルコントロール協議会	落合 登志哉 与謝医師会 (京都府立医科大学附属北部医療センター) 副会長(病院長)	宮津与謝消防組合消防本部警防課 宮津市字須津413番地の26 0772-46-6126 0772-46-6120	京丹後市消防本部 宮津与謝消防組合消防本部	京都府立医科大学附属北部医療センター 丹後中央病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院
中丹メディカルコントロール協議会	大槻 匠 綾部医師会 大槻医院 会長(院長)	綾部市消防本部 警防課 綾部市味方町アミダジ20-2 0773-42-0119 0773-43-1483	福知山市消防本部 舞鶴市消防本部 綾部市消防本部	舞鶴共済病院 舞鶴医療センター 舞鶴赤十字病院 京都ルネス病院 市立福知山市民病院 綾部市立病院 綾部ルネス病院
南丹メディカルコントロール協議会	計良 夏哉 京都中部総合医療センター 副院長兼循環器内科部長 兼救急部長	京都中部広域消防組合消防本部消防課 亀岡市荒塚町1丁目9番1号 0771-22-9581 0771-23-4535	京都中部広域消防組合消防本部	京都中部総合医療センター 亀岡市立病院 亀岡シミズ病院 園部病院 京丹波町病院
京都市・乙訓メディカルコントロール協議会	高階 謙一郎 京都第一赤十字病院 救命救急センター長	京都市消防局警防部救急課 京都市中京区押小路通河原町西入榎町450番地の2 075-212-6742 075-212-6748	京都市消防局 乙訓消防組合消防本部	京都第一赤十字病院 京都第二赤十字病院 京都医療センター 洛和会音羽病院 京都大学医学部附属病院 京都府立医科大学附属病院 京都市立病院 京都済生会病院
山城北メディカルコントロール協議会	清水 義博 京都岡本記念病院 副院長	宇治市消防本部警防救急課 宇治市宇治下居13番地の2 0774-39-9403 0774-39-9406	宇治市消防本部 城陽市消防本部 八幡市消防本部 京田辺市消防本部 久御山町消防本部	宇治徳洲会病院 京都岡本記念病院 京都きづ川病院 京都田辺中央病院 男山病院
山城南メディカルコントロール協議会	岸田 秀樹 相楽医師会 (岸田内科医院) 会長(院長)	精華町消防本部指令救急課 相楽郡精華町大字北福八間小字寄田長31番地 0774-94-4197 0774-94-5493	相楽中部消防組合消防本部 精華町消防本部	京都山城総合医療センター 学研都市病院 精華町国民健康保険病院

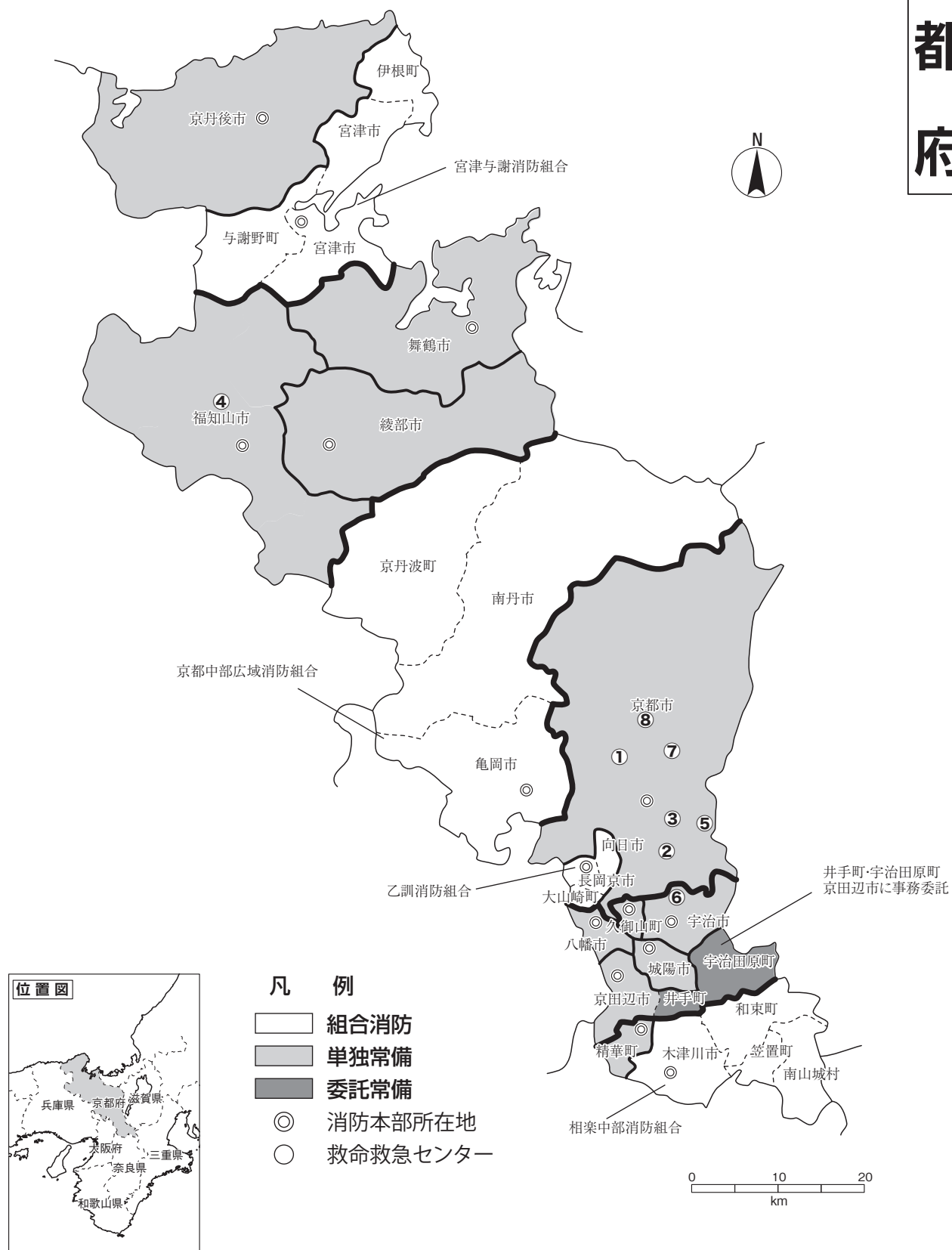
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	京都第二赤十字病院
②	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
③	京都第一赤十字病院
④	市立福知山市民病院
⑤	医療法人社団洛和会音羽病院
⑥	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院
⑦	京都大学医学部附属病院
⑧	京都府立医科大学附属病院

京 都 府

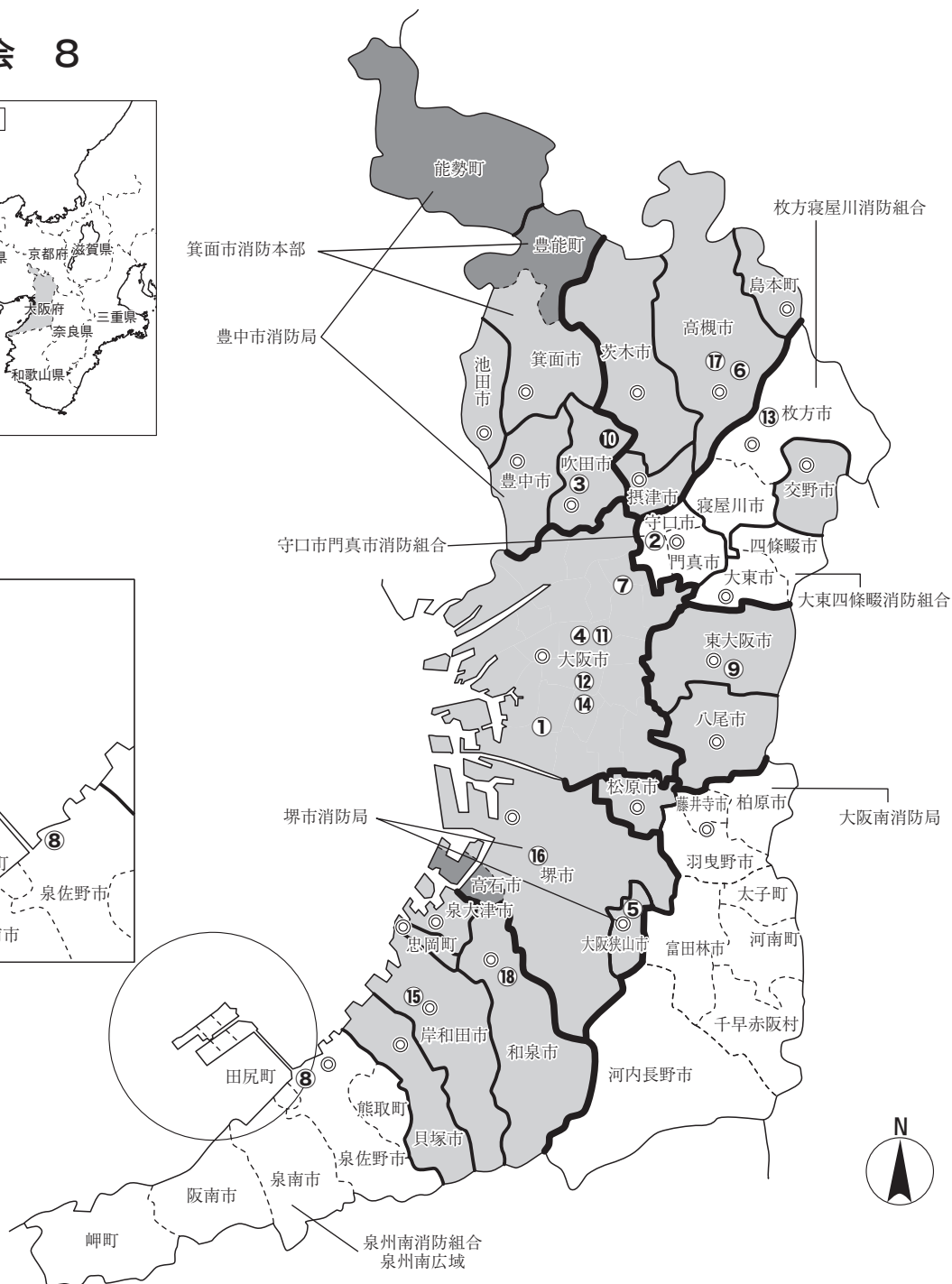
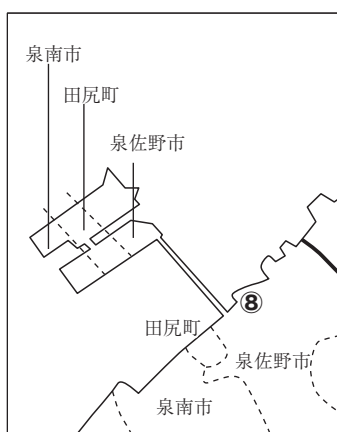
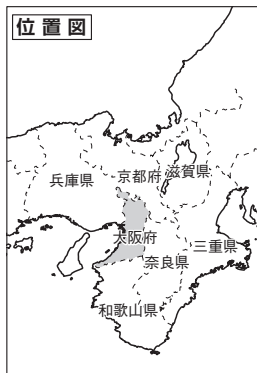


大阪府 【大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
大阪府救急医療対策審議会 救急業務高度化推進に関する部会	大阪府医師会 副会長 宮川 松剛	大阪府危機管理室消防保安課 大阪市中央区大手前3丁目1-43 06-6944-6458 06-6944-6654		
大阪府大阪市 地域メディカル コントロール 協議会	嶋津 岳士 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 総長	大阪府危機管理室消防保安課 大阪市中央区大手前3丁目1-43 06-6944-6458 06-6944-6654	大阪市消防局	大阪市立総合医療センター 大阪公立大学医学部附属病院 地方独立行政法人大阪府立病院機構大 阪急性期・総合医療センター 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 大阪大学医学部附属病院 大阪赤十字病院 大阪けいさつ病院
大阪府豊能地 域救急メデ ィカルコン トロール協 議会	織田 順 大阪大学大学院医学系研究科 救急医学 教授	大阪府危機管理室(池田土木事務所地域支援・企画課) 池田市城南町1丁目1-1豊能府民センタービル内 072-752-4111 072-753-5509	豊中市消防局 池田市消防本部 吹田市消防本部 箕面市消防本部	大阪大学医学部附属病院 大阪府済生会千里病院 国立循環器病研究センター 市立豊中病院【他】
大阪府三島地 域メディカル コントロール 協議会	高須 朗 大阪医科薬科大学 救急医学教室 教授	大阪府危機管理室(茨木土木事務所地域支援・企画課) 茨木市中穂積1丁目3-43三島府民センタービル内 072-627-1121 072-622-3311	茨木市消防本部 高槻市消防本部 摂津市消防本部 島本町消防本部	大阪医科薬科大学病院 高槻病院【他】
大阪府北河内 地域救急メ ディカルコン トロール協 議会	鎌方 安行 関西医科大学救急医学講座 主任教授	大阪府危機管理室(枚方土木事務所地域支援・企画課) 枚方市大垣内町2丁目15-1北河内府民センタービル内 072-844-1331 072-843-4623	守口市門真市消防組合消防本部 枚方寝屋川消防組合 交野市消防本部 大東四條畷消防本部	関西医科大学附属病院 関西医科大学総合医療センター【他】
大阪府中河内 地域メディカル コントロール 協議会	岸本 正文 大阪府立中河内救命救急センター 所長代行	大阪府危機管理室(八尾土木事務所地域支援・企画課) 八尾市荘内町2丁目1-36中河内府民センタービル内 072-994-1515 072-924-2466	東大阪市消防局 八尾市消防本部	大阪府立中河内救命救急センター 地方独立行政法人市立東大阪医療センター 【他】
大阪府南河内 地域救急メ ディカルコン トロール協 議会	篠崎 広一郎 近畿大学病院 救命救急センター長	大阪府危機管理室(富田林土木事務所地域支援・企画課) 富田林市寿町2丁目6-1南河内府民センタービル内 0721-25-1175 0721-25-6109	大阪南消防局 松原市消防本部	近畿大学医学部附属病院 独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター 城山病院【他】
大阪府堺地域 メディカルコン トロール協 議会	横田 順一郎 地方独立行政法人堺市立病院機構 顧問	大阪府危機管理室(鳳土木事務所地域支援・企画課) 堺市西区鳳東町4丁目390-1泉北府民センタービル内 072-273-0123 072-271-8494	堺市消防局	地方独立行政法人堺市立病院機構 堺市立総合医療センター ペルランド総合病院【他】
大阪府泉州地 域メディカル コントロール 協議会	松岡 哲也 地方独立行政法人りん くう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 病院長	大阪府危機管理室(岸和田土木事務所地域支援・企画課) 岸和田市野田町3丁目13-2泉南府民センタービル内 072-439-1350 072-436-3749	岸和田市消防本部 泉大津市消防本部 貝塚市消防本部 泉州南消防組合泉州南広域消防本部 和泉市消防本部 忠岡町消防本部	地方独立行政法人りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 市立岸和田市民病院 岸和田徳洲会病院【他】

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

大阪府



救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
②	関西医科大学総合医療センター
③	大阪府済生会千里病院
④	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
⑤	近畿大学病院
⑥	大阪医科薬科大学病院
⑦	大阪市立総合医療センター (小児含む)
⑧	地方独立行政法人りんくう総合医療センター
⑨	大阪府立中河内救命救急センター
⑩	大阪大学医学部附属病院
⑪	大阪赤十字病院
⑫	大阪けいさつ病院
⑬	関西医科大学附属病院
⑭	大阪公立大学医学部附属病院
⑮	岸和田徳洲会病院
⑯	堺市立総合医療センター
⑰	高槻病院 (小児)
⑱	大阪母子医療センター (小児)

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- 消防本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地病院 (救命救急センター)

兵庫県 【兵庫県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
兵庫県メディカルコントロール協議会	石原 諭 兵庫県災害医療センター長	兵庫県危機管理部消防保安課 神戸市中央区下山手通5-10-1 078-362-9831 078-362-9915		
神戸市メディカルコントロール協議会	有吉 孝一 神戸市立医療センター 中央市民病院救命救急センター長	神戸市消防局救急部救急課 神戸市中央区加納町6-5-1 078-333-0119 078-325-8597	神戸市消防局	神戸市立医療センター中央市民病院 兵庫県災害医療センター 神戸大学医学部附属病院
阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会	平田 淳一 兵庫医科大学救急災害医学講座 主任教授	西宮市消防局救急課 西宮市六湛寺町8-28 0798-26-0119 0798-36-2460	西宮市消防局 尼崎市消防局 芦屋市消防本部 伊丹市消防局 宝塚市消防本部 川西市消防本部 三田市消防本部 丹波篠山市消防本部 丹波市消防本部 猪名川町消防本部	兵庫医科大学病院 兵庫県立西宮病院 兵庫県立尼崎総合医療センター 兵庫県立丹波医療センター
東播磨・北播磨・淡路地域メディカルコントロール協議会	佐野 秀 兵庫県立加古川医療センター 救命救急センター長兼救急科部長	明石市消防局警防課 明石市藤江924-8 078-921-0119 078-918-5983	明石市消防局 加古川市消防本部 高砂市消防本部 三木市消防本部 小野市消防本部 淡路広域消防事務組合消防本部 北はりま消防本部	兵庫県立加古川医療センター 兵庫県立淡路医療センター
中播磨・西播磨地域メディカルコントロール協議会	磯部 尚志 独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター 救急科医長	姫路市消防局救急課 姫路市三左衛門堀西の町3 079-223-0003 079-222-8222	姫路市消防局 西はりま消防本部 赤穂市消防本部	兵庫県立はりま姫路総合医療センター
但馬地域メディカルコントロール協議会	永嶋 太 公立豊岡病院組合立豊岡病院 但馬救命救急センター長	豊岡市消防本部警防課 豊岡市昭和町4-33 0796-24-1119 0796-24-1176	豊岡市消防本部 美方広域消防本部 南但消防本部	公立豊岡病院組合立豊岡病院（但馬救命救急センター）

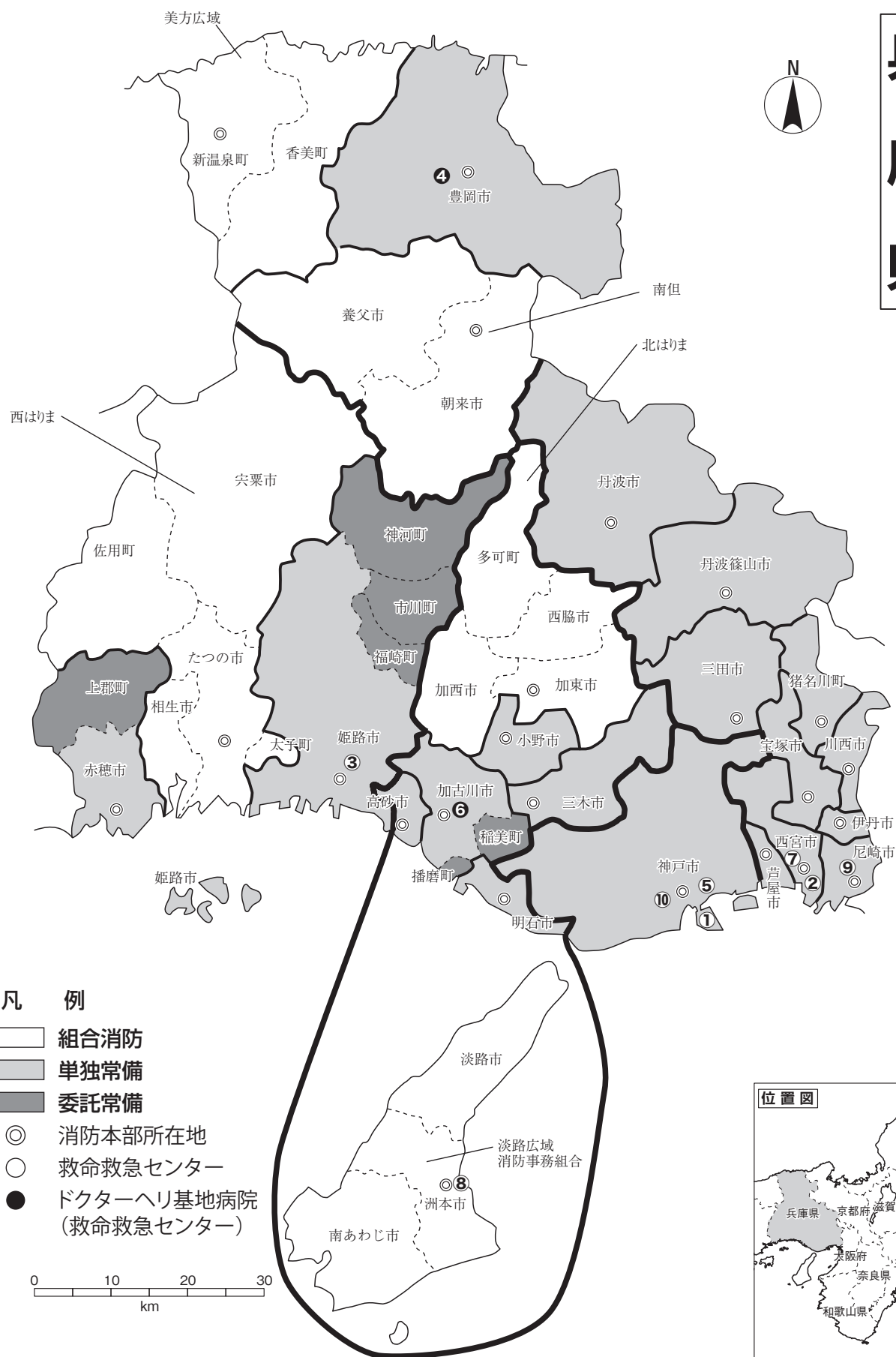
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

（令和7年8月1日現在）

救命救急センター	施設名
①	神戸市立医療センター中央市民病院
②	兵庫医科大学病院
③※	兵庫県立はりま姫路総合医療センター
④	公立豊岡病院組合立豊岡病院
⑤	兵庫県災害医療センター
⑥※	兵庫県立加古川医療センター
⑦	兵庫県立西宮病院
⑧	兵庫県立淡路医療センター
⑨	兵庫県立尼崎総合医療センター
⑩	神戸大学医学部附属病院

※2施設でドクターヘリ1機



兵庫県

奈良県 【奈良県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
奈良県メディカルコントロール協議会	福島 英賢 奈良県立医科大学 救急医学教室 教授	奈良県総務部知事公室消防救急課 奈良市登大路町30 0742-27-8423 0742-27-0090	奈良市消防局 生駒市消防本部 奈良県広域消防組合消防本部	奈良県総合医療センター 近畿大学奈良病院 奈良県立医科大学附属病院

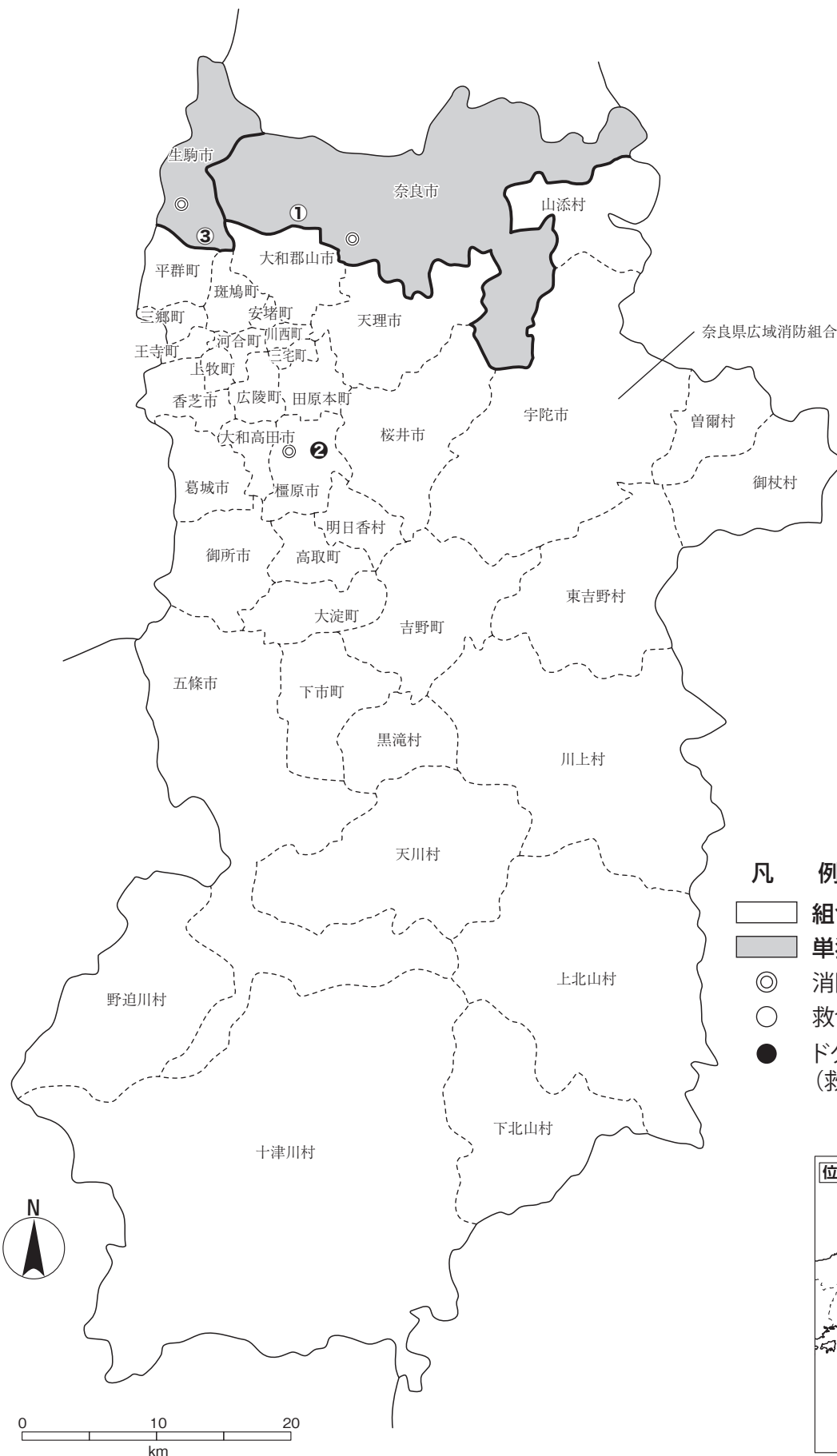
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	奈良県総合医療センター
②	奈良県立医科大学附属病院
③	近畿大学奈良病院

奈良県



和歌山県 【和歌山県救急救命協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
和歌山県救急救命協議会	井上 茂亮 和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座教授	和歌山県危機管理部危機管理局危機管理消防課 和歌山市小松原通1-1 073-441-2274 073-423-7652		
和歌山市地域 メディカルコン トロール協議 会	室谷 知孝 日本赤十字社和歌山医療センター	和歌山市消防局警防課 和歌山市八番丁12番地 073-428-0119 073-423-0190	和歌山市消防局	日本赤十字社和歌山医療センター 和歌山県立医科大学附属病院 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター
紀北地域メ ディカルコン トロール協議会	井上 茂亮 和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座教授	海南市消防本部警防課 海南市日方1294番地13 073-482-0119 073-482-0088	海南市消防本部 橋本市消防本部 有田市消防本部 紀美野町消防本部 高野町消防本部 有田川町消防本部 那賀消防組合消防本部 伊都消防組合消防本部 湯浅広川消防組合消防本部	日本赤十字社和歌山医療センター 和歌山県立医科大学附属病院 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター
紀南地域メ ディカルコン トロール協議会	川崎 貞男 独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター 救急・災害医療部長	田辺市消防本部警防課 田辺市新庄町46番地の119 0739-22-0119 0739-22-3402	御坊市消防本部 田辺市消防本部 新宮市消防本部 日高広域消防事務組合消防本部 白浜町消防本部 那智勝浦町消防本部 串本町消防本部	日本赤十字社和歌山医療センター 和歌山県立医科大学附属病院 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター

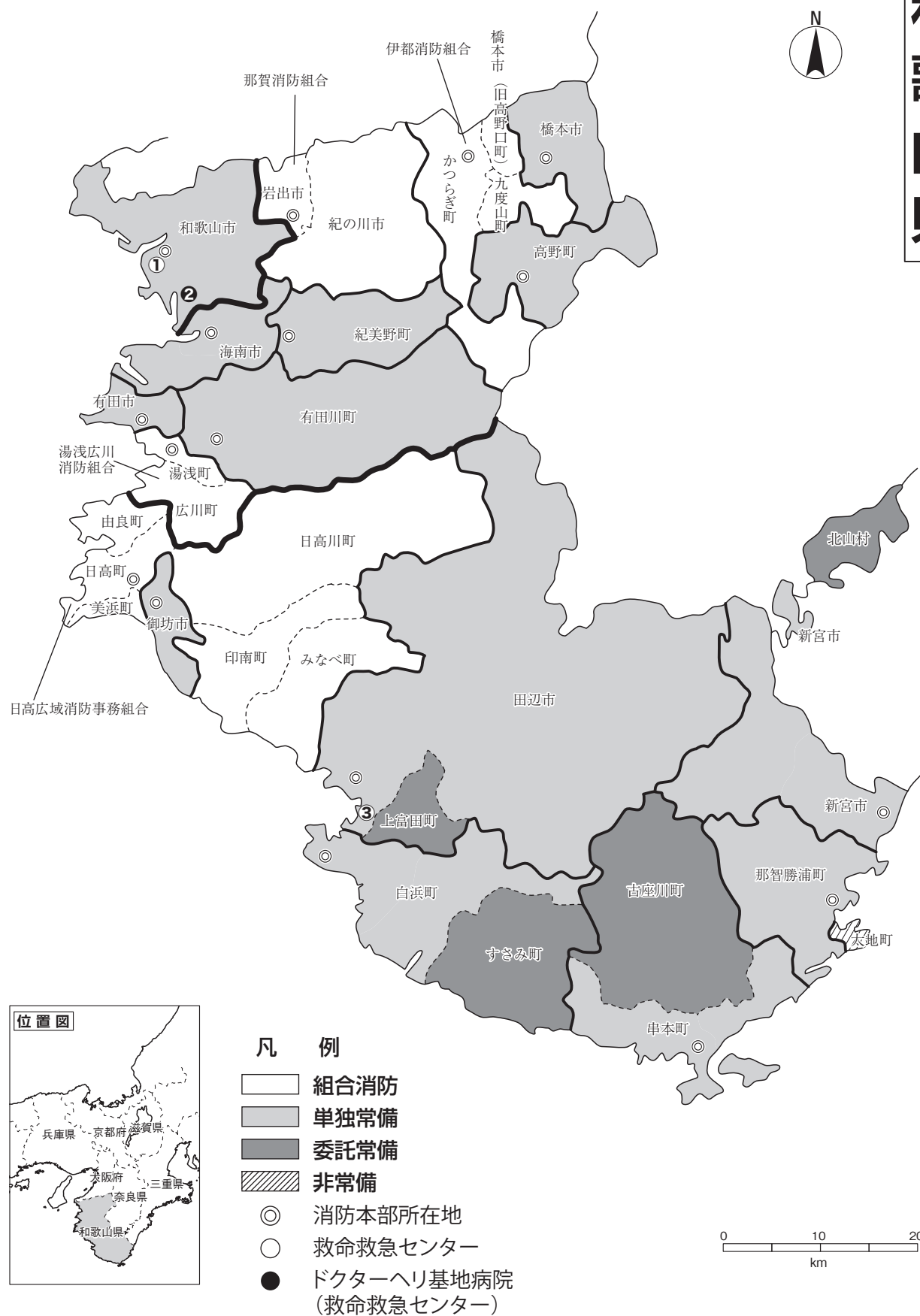
「構成中核の医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	日本赤十字社和歌山医療センター
②	和歌山県立医科大学附属病院
③	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター

和歌山県



鳥取県 【鳥取県救急搬送高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
鳥取県救急搬送高度化推進協議会	上田 敬博 鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター長	鳥取県危機管理部消防防災課 鳥取市東町一丁目271 0857-26-7065 0857-26-8139		
鳥取県東部地区メディカルコントロール協議会	池田 光之 鳥取県東部医師会 副会長	鳥取県東部広域行政管理組合消防局 鳥取市吉成640-1 0857-23-2303 0857-54-1221	鳥取県東部広域行政管理組合消防局	鳥取県立中央病院 鳥取市立病院 鳥取赤十字病院 鳥取生協病院
鳥取県中部地区メディカルコントロール協議会	西江 浩 鳥取県立厚生病院 副院長	鳥取中部ふるさと広域連合消防局 倉吉市福守町415-2 0858-29-5122 0858-29-7750	鳥取中部ふるさと広域連合消防局	鳥取県立厚生病院 野島病院
鳥取県西部地区メディカルコントロール協議会	本間 正人 鳥取大学医学部附属病院 器官制御外科学講座 救急・災害医学分野教授	鳥取県西部広域行政管理組合消防局 米子市両三柳5452 0859-35-1958 0859-35-1961	鳥取県西部広域行政管理組合消防局	鳥取大学医学部附属病院 山陰労災病院 博愛病院

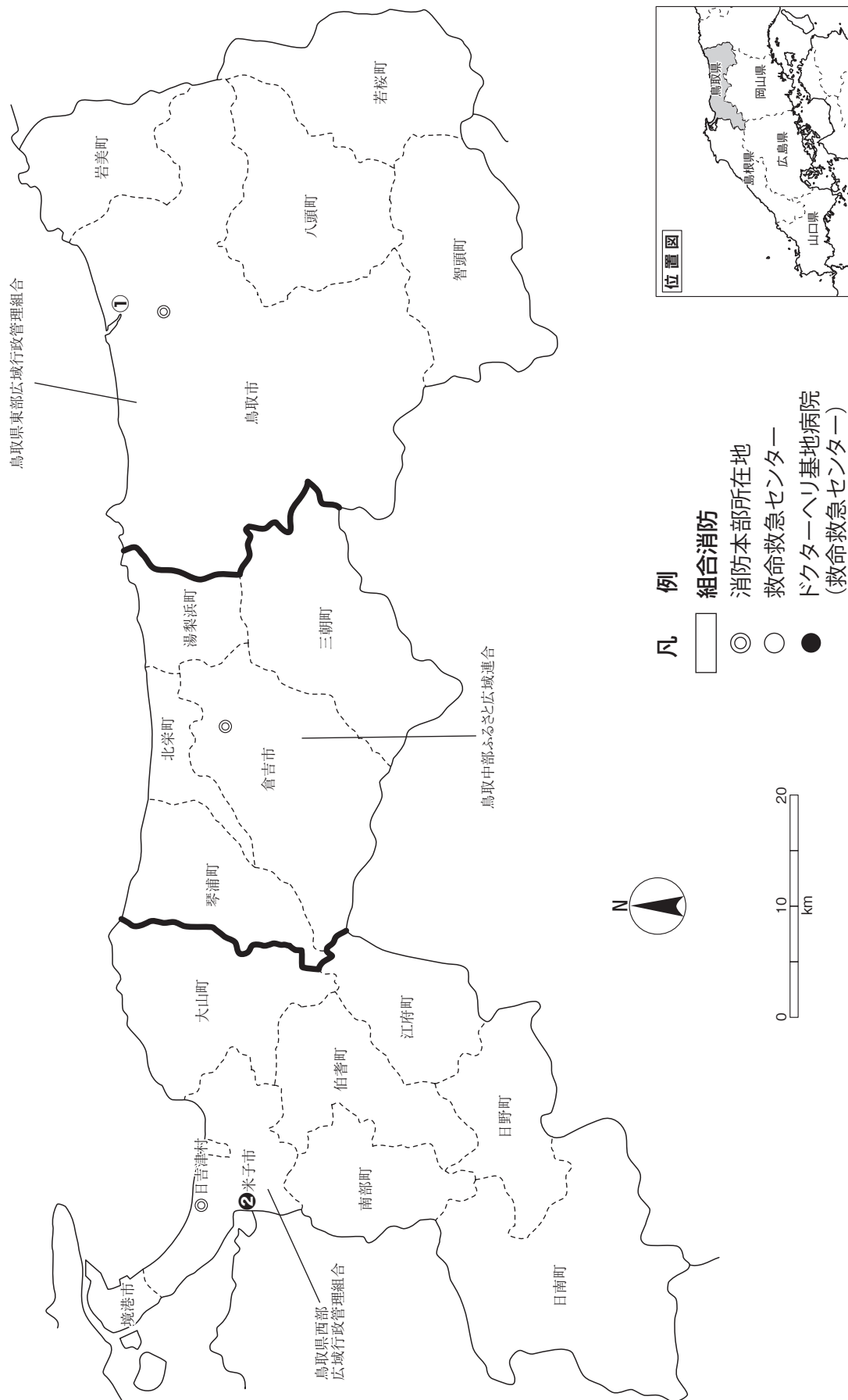
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	鳥取県立中央病院
②	鳥取大学医学部附属病院

鳥 取 県



島根県 【島根県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
島根県救急業務高度化推進協議会	伊藤 徹 島根県 防災部長	防災部消防総務課 松江市殿町1番地 0852-22-6828 0852-22-5930		
松江・安来地区メディカルコントロール協議会	大居 慎治 松江赤十字病院 病院長	松江市消防本部警防課 松江市学園南一丁目17番3号 0852-32-9132 0852-22-9876	松江市消防本部 安来市消防本部	松江赤十字病院 松江市立病院 松江生協病院 安来市立病院
出雲地区救急業務連絡協議会	山森 祐治 島根県立中央病院 副院長	出雲市消防本部警防課 出雲市渡橋町253-1 0853-21-6999 0853-21-8241	出雲市消防本部 大田市消防本部 雲南消防本部 隠岐広域連合消防本部	島根大学医学部附属病院 島根県立中央病院 出雲市立総合医療センター 出雲徳州会病院 大田市立病院 奥出雲町立奥出雲病院 雲南市立病院 平成記念病院 飯南町立飯南病院 隠岐広域連合立隠岐病院 隠岐広域連合立隠岐島前病院
浜田・江津地区救急業務連絡協議会	赤岸 健一 浜田市消防本部 消防長	浜田市消防本部警防課 浜田市原井町908-11 0855-25-5167 0855-23-1228	浜田市消防本部 江津邑智消防組合消防本部	国立病院機構浜田医療センター 済生会江津総合病院 公立邑智病院 西川病院
益田地区救急業務連絡協議会	大賀 哲也 益田広域消防本部 消防長	益田広域消防本部警防課 益田市久城町300-5 0856-31-0240 0856-24-2217	益田広域消防本部	益田赤十字病院 益田地域医療センター医師会病院 よしか病院 津和野共存病院

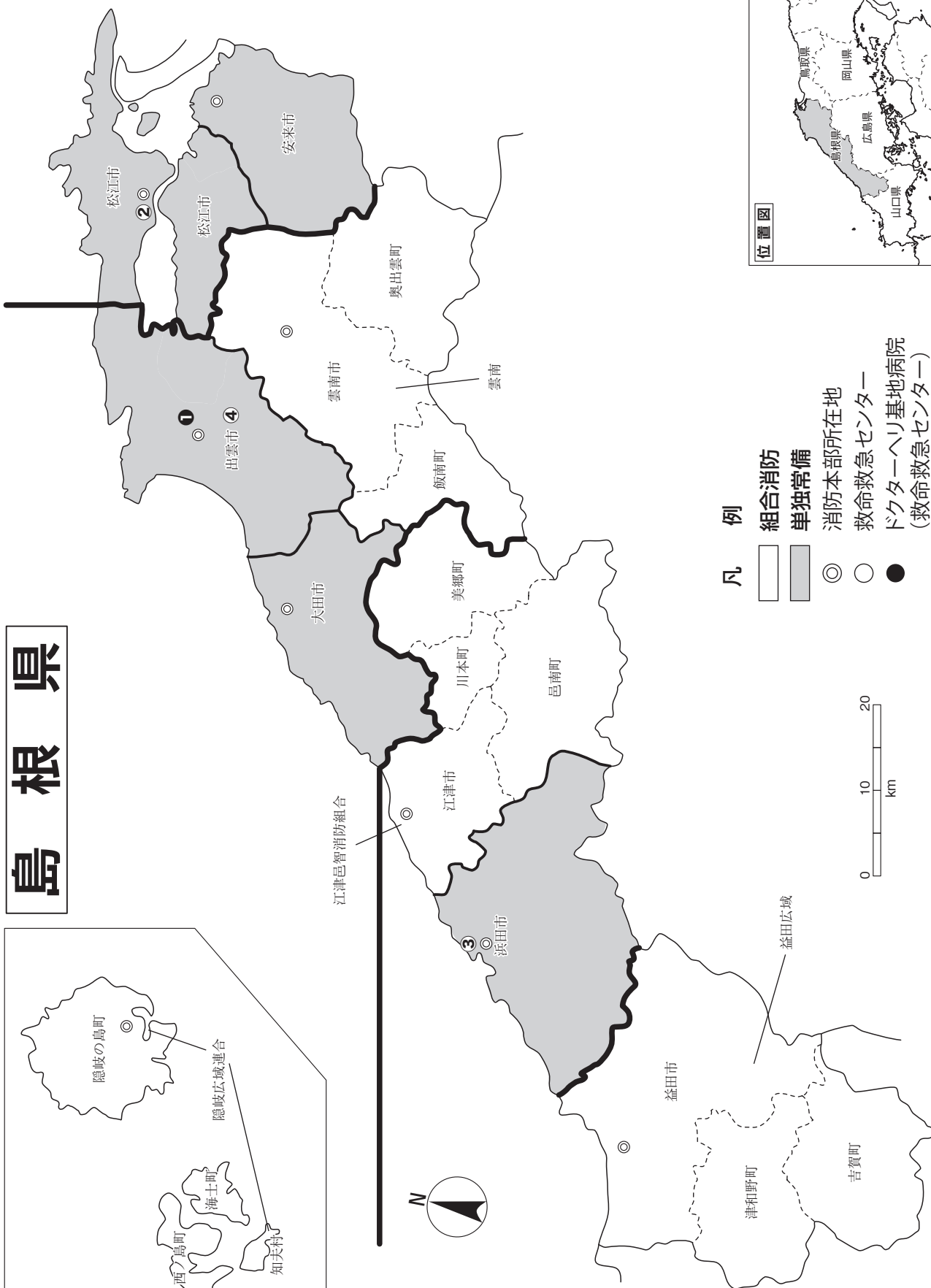
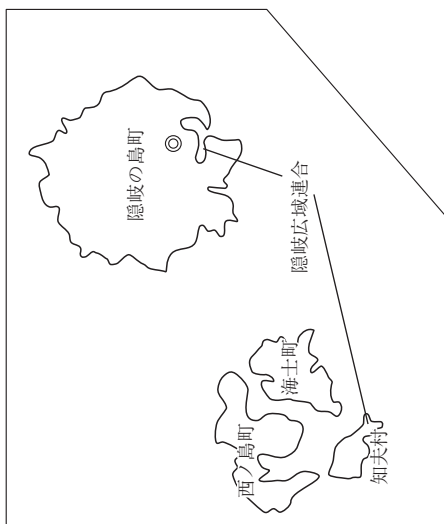
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	島根県立中央病院
②	松江赤十字病院
③	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
④	島根大学医学部附属病院

島根県



岡山県 【岡山県救急搬送体制連絡協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
岡山県救急搬送体制連絡協議会	松山 正春 岡山県医師会 会長	岡山県消防保安課 岡山市北区内山下2-4-6 086-226-7295 086-225-4659		
岡山県南東部 メディカルコントロール協議会	實金 健 岡山赤十字病院 院長 兼救命救急センター長	岡山市消防局 岡山市北区大供1-1-1 086-234-9977 086-234-1059	岡山市消防局 玉野市消防本部 東備消防組合消防本部 赤磐市消防本部 瀬戸内市消防本部	岡山赤十字病院 岡山大学病院
備中地区メ ディカルコントロール協議会	椎野 泰和 川崎医科大学附属病院 救急科部長 兼高度救命救急センター長	倉敷市消防局 倉敷市白楽町162-5 086-426-1192 086-421-1244	倉敷市消防局 笠岡地区消防組合消防本部 井原地区消防組合消防本部 総社市消防本部 高梁市消防本部 新見市消防本部	川崎医科大学附属病院 倉敷中央病院
美作地域メ ディカルコントロール協議会	前山 博輝 津山中央病院 救命救急センター長	津山圏域消防組合消防本部 津山市林田95 0868-31-1265 0868-31-2080	津山圏域消防組合消防本部 真庭市消防本部 美作市消防本部	津山中央病院

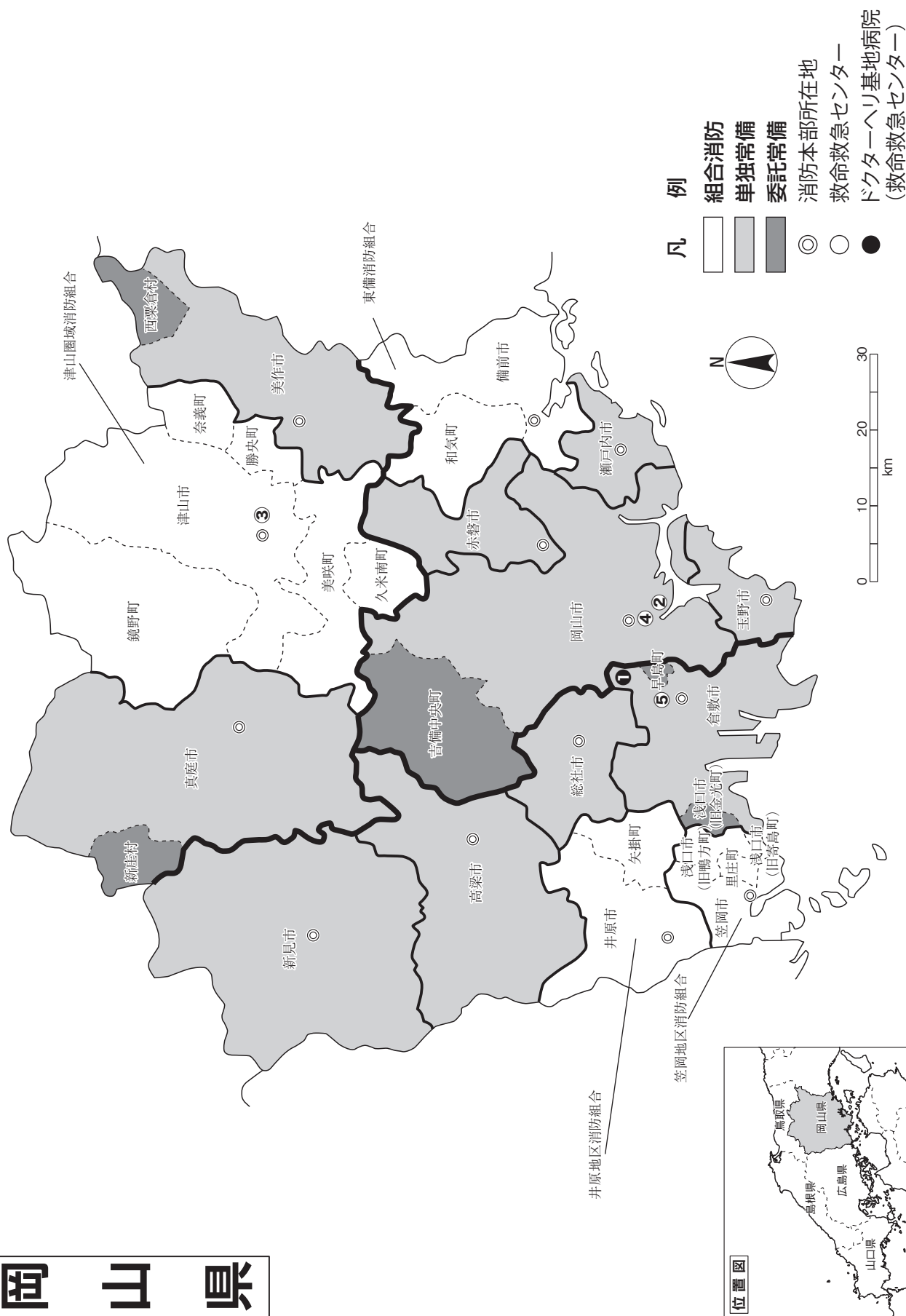
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	川崎医科大学附属病院
②	岡山赤十字病院
③	津山中央病院
④	岡山大学病院
⑤	倉敷中央病院

岡山県



広島県 【広島県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
広島県メディカルコントロール協議会	志馬 伸朗 広島大学大学院 医系科学研究科救急救集中治療医学 教授	広島県危機管理監消防保安課 広島県健康福祉局健康危機管理課 広島市中区基町10-52 082-513-2778 082-227-2122		
広島西圏域メディカルコントロール協議会	大久保 和典 佐伯地区医師会 会長	廿日市市消防本部警防課 廿日市市串戸1-9-33 0829-30-9233 0829-32-4119	廿日市市消防本部 大竹市消防本部	厚生連広島総合病院
広島圏域メディカルコントロール協議会	内藤 博司 広島市立広島市民病院 救急救命センター センター長 (兼)救急科主任部長 (兼)麻酔科部長	広島市消防局警防部救急課 広島市中区大手町5-20-12 082-546-3461 082-249-1160	広島市消防局 安芸高田市消防本部 府中町消防本部 北広島町消防本部	広島市立広島市民病院 県立広島病院 広島大学病院 広島赤十字・原爆病院 広島市立北部医療センター安佐市民病院 JA吉田総合病院 安芸太田病院 マツダ病院 JR広島病院
呉圏域メディカルコントロール協議会	石井 哲朗 呉市医師会 会長	呉市消防局警防課 呉市西中央3-1-9 0823-26-0313 0823-26-0308	呉市消防局 江田島市消防本部	国立病院機構呉医療センター 呉共済病院 中国労災病院
広島中央圏域メディカルコントロール協議会	高梨 敦 医療法人社団 葵会 本永病院 院長	東広島市消防局警防課 東広島市西条町助実1173番地1 082-422-5648 082-422-7248	東広島市消防局	国立病院機構東広島医療センター 県立安芸津病院
尾三圏域メディカルコントロール協議会	ト部 利真 世羅郡医師会 会長	三原市消防本部警防課 三原市宮浦1丁目22-2 0848-64-5924 0848-64-5911	尾道市消防局 三原市消防本部	尾道市立市民病院 厚生連尾道総合病院 興生総合病院 総合病院三原赤十字病院
福山・府中圏域メディカルコントロール協議会	宮阪 英 福山市医師会 救急委員会委員	福山地区消防組合消防局警防部救急課 福山市中野上町5-13-8 084-928-1196 084-928-1220	福山地区消防組合消防局	福山市民病院 日本鋼管福山病院 国立病院機構福山医療センター 中国中央病院 大田記念病院 福山循環器病院 寺岡記念病院 府中市市民病院 府中北市民病院
備北圏域メディカルコントロール協議会	中西 敏夫 三次地区医師会 会長	備北地区消防組合消防本部警防課 三次市十日市中3-1-21 0824-63-9575 0824-63-3129	備北地区消防組合消防本部	市立三次中央病院 総合病院庄原赤十字病院

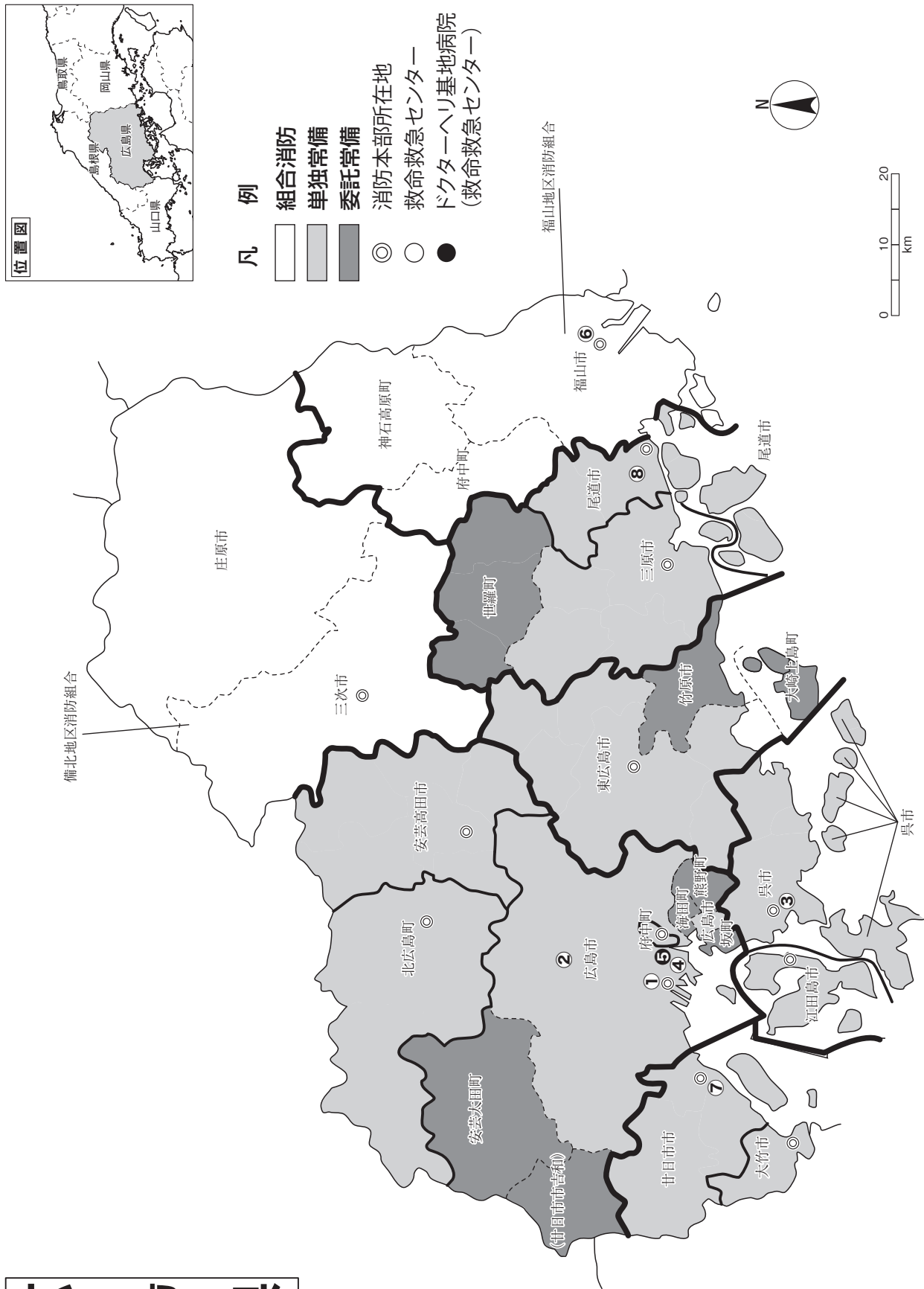
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	広島市立広島市民病院
②	広島市立北部医療センター安佐市民病院
③	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
④	県立広島病院
⑤	広島大学病院
⑥	福山市民病院
⑦	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院
⑧	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院

広島県



山口県 【山口県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
山口県救急業務高度化推進協議会	鶴田 良介 山口大学大学院医学系研究科 救急医学講座 教授 山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター部長	山口県総務部消防保安課 山口市滝町1-1 083-933-2399 083-933-2408		
東部地域メディカルコントロール協議会	宮内 崇 国立病院機構岩国医療センター 救急科医長	岩国地区消防組合消防本部警防課 岩国市愛宕町1-4-1 0827-31-0199 0827-32-2119	岩国地区消防組合消防本部 柳井地区広域消防本部	国立病院機構岩国医療センター
周南地域メディカルコントロール協議会	清水 弘毅 地域医療機能推進機構徳山中央病院 救急科主任部長	周南市消防本部警防課 周南市新宿通5-1-3 0834-22-8762 0834-31-8533	周南市消防本部 下松市消防本部 光地区消防組合消防本部	地域医療機能推進機構徳山中央病院
山口・防府地域メディカルコントロール協議会	井上 健 山口県立総合医療センター 救急科診療部長	防府市消防本部警防課 防府市佐波2-11-25 0835-23-9918 0835-23-9910	防府市消防本部 山口市消防本部	山口県立総合医療センター
宇部・山陽小野田・美祢・萩地域メディカルコントロール協議会	藤田 基 山口大学医学部附属病院 准教授	宇部・山陽小野田消防局警防課 宇部市港町2-3-30 0836-21-6113 0836-31-0119	宇部・山陽小野田消防局 美祢市消防本部 萩市消防本部	山口大学医学部附属病院
下関・長門地域メディカルコントロール協議会	佐藤 穰 国立病院機構関門医療センター 救命救急センター長	下関市消防局警防課 下関市岬之町17-1 083-233-9112 083-224-0119	下関市消防局 長門市消防本部	国立病院機構関門医療センター

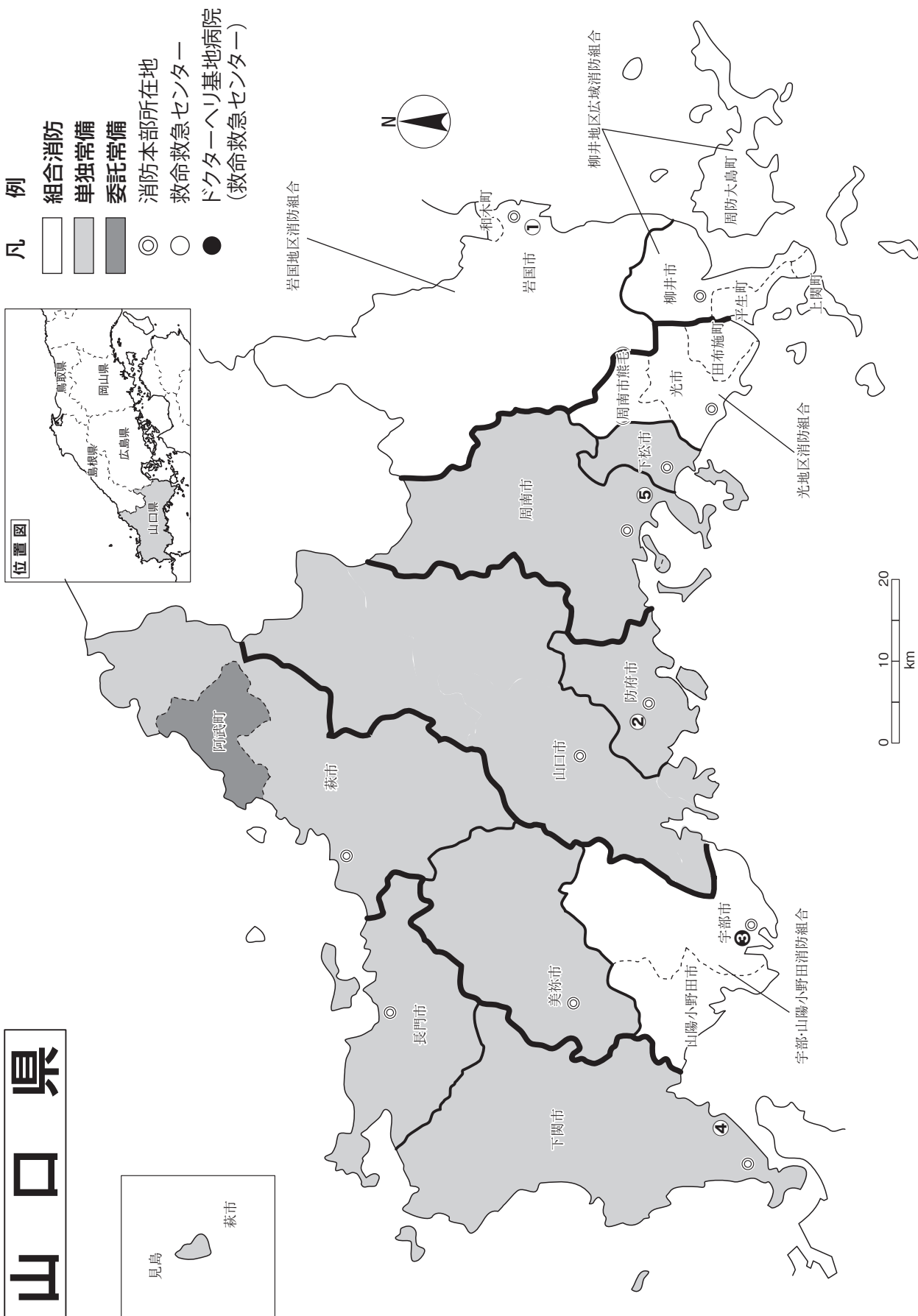
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター
②	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター
③	山口大学医学部附属病院
④	独立行政法人国立病院機構 関門医療センター
⑤	独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院

山口県



徳島県 【徳島県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
徳島県メディカルコントロール協議会	吉岡 一夫 医療法人 岡山会 田岡病院 理事長	徳島県危機管理部消防保安課 徳島市万代町1丁目1番地 088-621-2284 088-621-2849	徳島市消防局 鳴門市消防本部 小松島市消防本部 阿南市消防本部 美馬市消防本部 那賀町消防本部 名西消防組合消防本部 海部消防組合消防本部 板野東部消防組合消防本部 板野西部消防組合消防本部 徳島中央広域連合消防本部 美馬西部消防組合消防本部 みよし広域連合消防本部	徳島赤十字病院 徳島県立中央病院 徳島大学病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

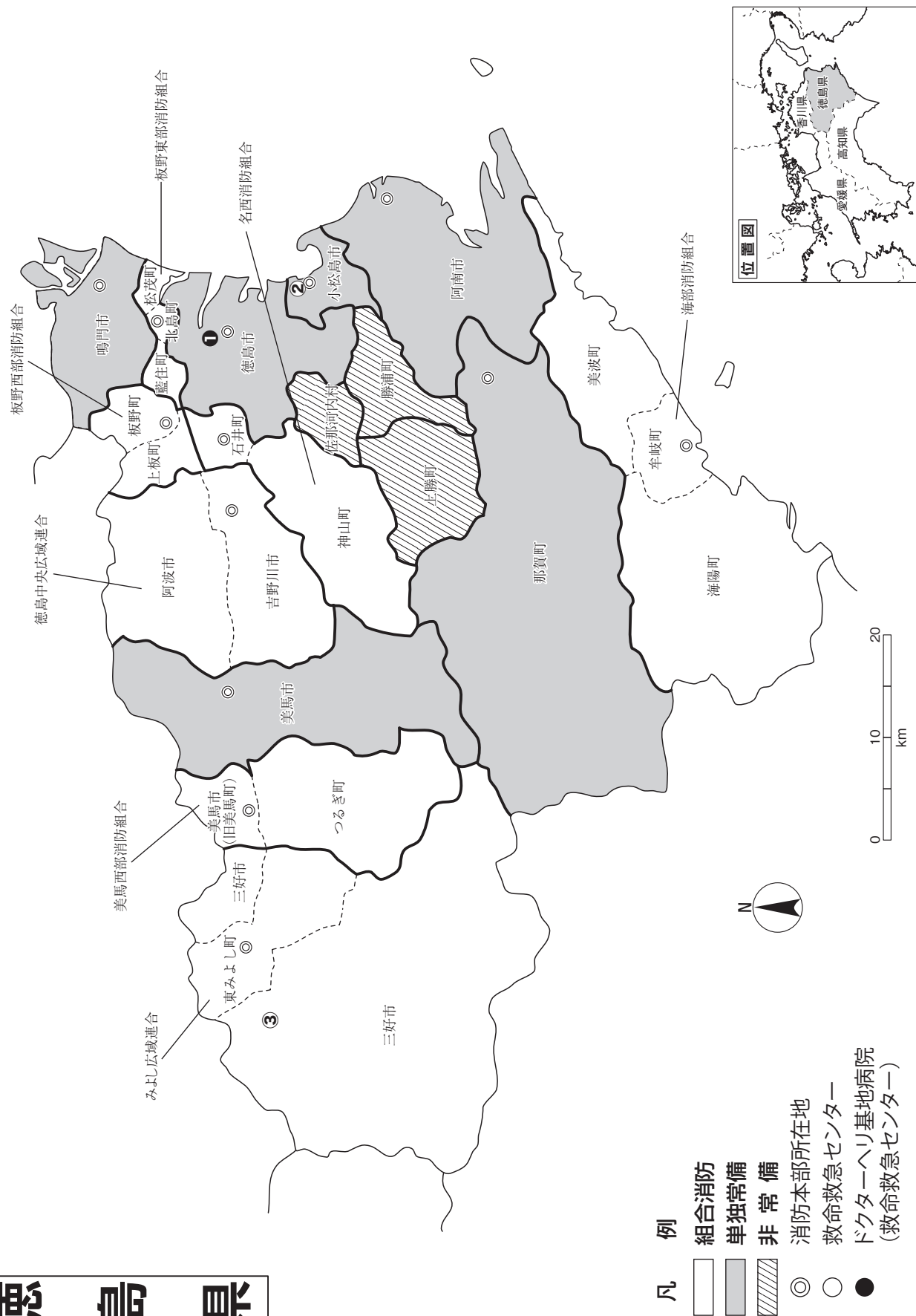
※勝浦町は消防非常備地域だがメディカルコントロール協議会の下部組織（作業部会）に参加している。

救命救急センター設置状況 一覧表

（令和7年8月1日現在）

救命救急センター	施 設 名
①	徳島県立中央病院
②	徳島赤十字病院
③	徳島県立三好病院

徳島県



香川県 【香川県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
香川県メディカルコントロール協議会	櫻村 重樹 香川県医師会常任理事	危機管理総局危機管理課 健康福祉部医療政策課 高松市番町四丁目1番10号 087-832-3850 087-832-3256 087-831-8811 087-806-0248	高松市消防局 丸亀市消防本部 坂出市消防本部 善通寺市消防本部 多度津町消防本部 三観広域行政組合消防本部 大川広域消防本部 小豆地区消防本部 仲多度南部消防組合消防本部	香川大学医学部附属病院 香川県立中央病院 高松市立みんなの病院 高松赤十字病院 香川県済生会病院 地域医療機能推進機構りつりん病院 屋島総合病院 KKR高松病院 高松平和病院 滝宮総合病院 香川労災病院 坂出市立病院 総合病院回生病院 四国こどもとおとなの医療センター 三豊総合病院 三豊市立みとよ市民病院 香川県立白鳥病院 さぬき市民病院 小豆島中央病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

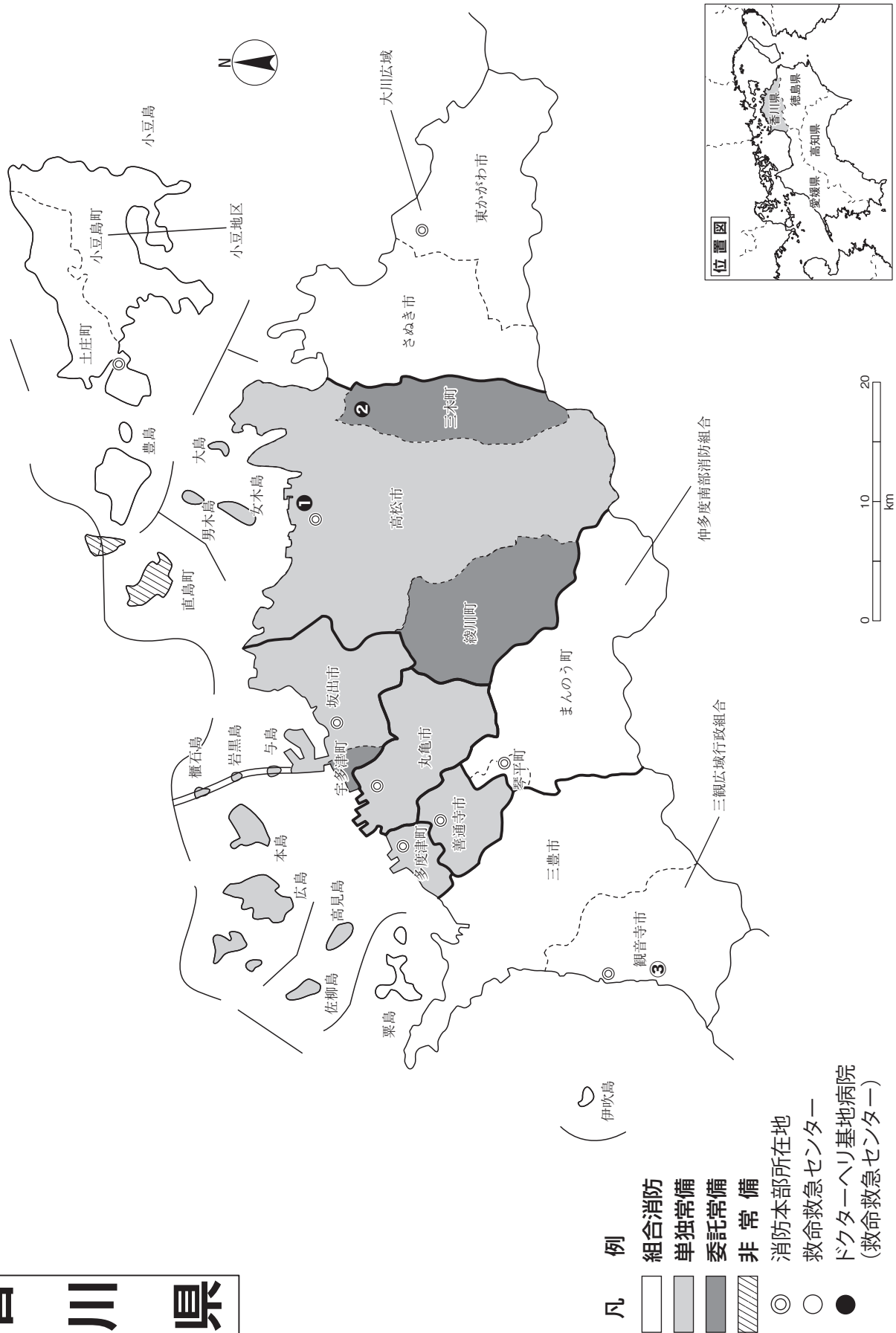
救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	香川県立中央病院
②※	香川大学医学部附属病院
③	三豊総合病院

※2施設でドクターヘリ1機

香川県



愛媛県 【愛媛県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
愛媛県メディカルコントロール協議会	佐藤 格夫 愛媛大学大学院医学系研究科 救急医学講座教授	愛媛県消防防災安全課 松山市一番町4丁目4番地2 089-912-2316 089-941-0119		
東予地域メディカルコントロール協議会	田中 英夫 愛媛県立新居浜病院 東予救命救急センター センター長	四国中央市消防本部 警防課 四国中央市中曾根町 500番地 0896-28-6933 0896-23-6614	今治市消防本部 上島町消防本部 西条市消防本部 新居浜市消防本部 四国中央市消防本部	四国中央病院 長谷川病院 HITO病院 愛媛労災病院 愛媛県立新居浜病院 十全総合病院 住友別子病院 済生会西条病院 村上記念病院 西条中央病院 市立周桑病院 済生会今治病院 木原病院 今治第一病院 愛媛県立今治病院 横山病院 西条市民病院 広瀬病院 瀬戸内海病院 今治市医師会市民病院 立花病院 循環器科林病院 三木病院 放射線第一病院 片木脳神経外科
中予地域メディカルコントロール協議会	馬越 健介 愛媛県立中央病院 救命救急センター長	松山市消防局救急課 松山市本町6丁目6-1 089-926-9227 089-926-9187	松山市消防局 東温市消防本部 久万高原町消防本部 伊予消防等事務組合消防本部	愛媛大学医学部附属病院 国立病院機構愛媛医療センター 松山城東病院 渡辺病院 愛媛県立中央病院 済生会松山病院 松山さくら病院 松山市民病院 野本記念病院 平成脳神経外科病院 松山赤十字病院 奥島病院 愛媛生協病院 南松山病院 梶浦病院 松山まどんな病院 久万高原町立病院
南予地域メディカルコントロール協議会	根津 賢司 市立宇和島病院 南予救命救急センター センター長 兼呼吸器外科科長	西予市消防本部防災課 西予市宇和町神領 515番地 0894-62-4558 0894-62-6581	大洲地区広域消防事務組合消防本部 八幡浜地区施設事務組合消防本部 西予市消防本部 宇和島地区広域事務組合消防本部 愛南町消防本部	市立大洲病院 加戸病院 大洲中央病院 市立八幡浜総合病院 西予市立西予市民病院 市立宇和島病院 愛媛県立南宇和病院 JCHO宇和島病院 宇和島徳洲会病院 市立津島病院 市立吉田病院 大洲記念病院 喜多医師会病院

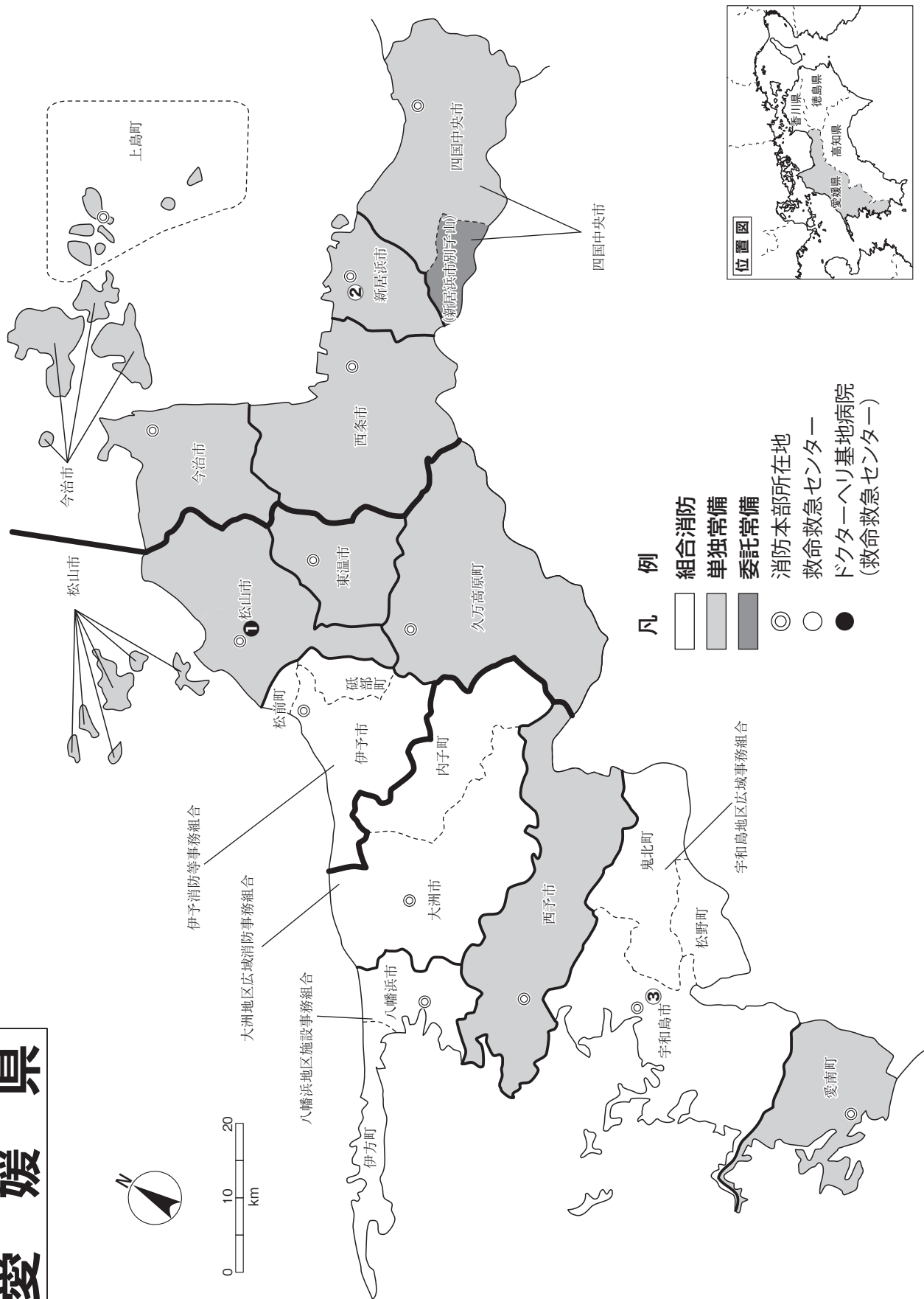
「構成中核の医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	愛媛県立中央病院
②	愛媛県立新居浜病院
③	市立宇和島病院

愛媛県



高知県 【高知県救急医療協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
高知県救急医療協議会	野並 誠二 高知県医師会 会長	高知県医療政策課 高知県消防政策課 高知市丸ノ内1丁目2-20 088-823-9625 088-823-9318 088-823-9137 088-823-9253	高知市消防局 室戸市消防本部 安芸市消防本部 香南市消防本部 香美市消防本部 南国市消防本部 土佐市消防本部 土佐清水市消防本部 高幡消防組合消防本部 中芸広域連合消防本部 高吾北広域町村事務組合消防本部 仁淀消防組合消防本部 嶺北広域行政事務組合消防本部 幡多西部消防組合消防本部 幡多中央消防組合消防本部	高知医療センター 高知赤十字病院 近森病院

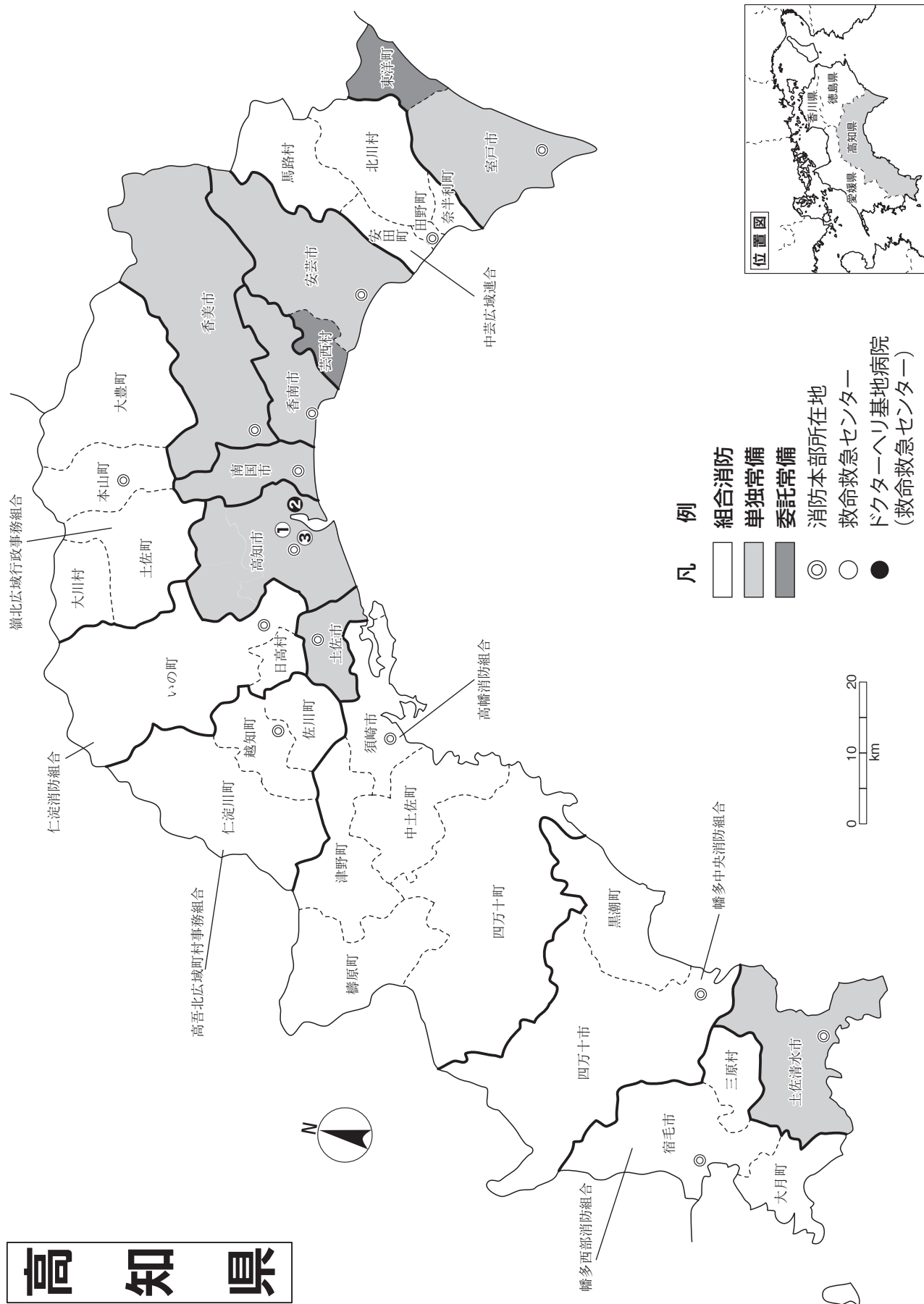
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	高知赤十字病院
②	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
③	近森病院

高 知 県



福岡県 【福岡県救急業務メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関	
福岡県救急業務メディカルコントロール協議会	一宮 仁 福岡県医師会 副会長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117			
	北九州地域救急業務メディカルコントロール協議会	黒田 宏昭 北九州総合病院 救命救急センター長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	北九州市消防局 行橋市消防本部 中間市消防本部 苅田町消防本部 京築広域圏消防本部 遠賀郡消防本部	北九州市立八幡病院救命救急センター 北九州総合病院救命救急センター【他】
	福岡地域救急業務メディカルコントロール協議会	平川 勝之 福岡市医師会 常任理事	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	福岡市消防局 糸島市消防本部 筑紫野太宰府消防組合消防本部 春日・大野城・那珂川消防組合消防本部 粕屋南部消防本部 粕屋北部消防本部 宗像地区消防本部	済生会福岡総合病院救命救急センター 福岡大学病院救命救急センター 九州大学病院救命救急センター 福岡東医療センター救命救急センター【他】 九州医療センター広域・救命救急センター【他】
	筑豊地域救急業務メディカルコントロール協議会	岩見 元照 飯塚医師会 会長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	直方市消防本部 飯塚地区消防本部 田川地区消防本部 直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部	飯塚病院救命救急センター【他】
	筑後地域救急業務メディカルコントロール協議会	高須 修 久留米大学病院 高度救命救急センター長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	大牟田市消防本部 久留米広域消防本部 柳川市消防本部 筑後市消防本部 みやま市消防本部 八女消防本部 甘木・朝倉消防本部	久留米大学病院高度救命救急センター 聖マリア病院救命救急センター【他】

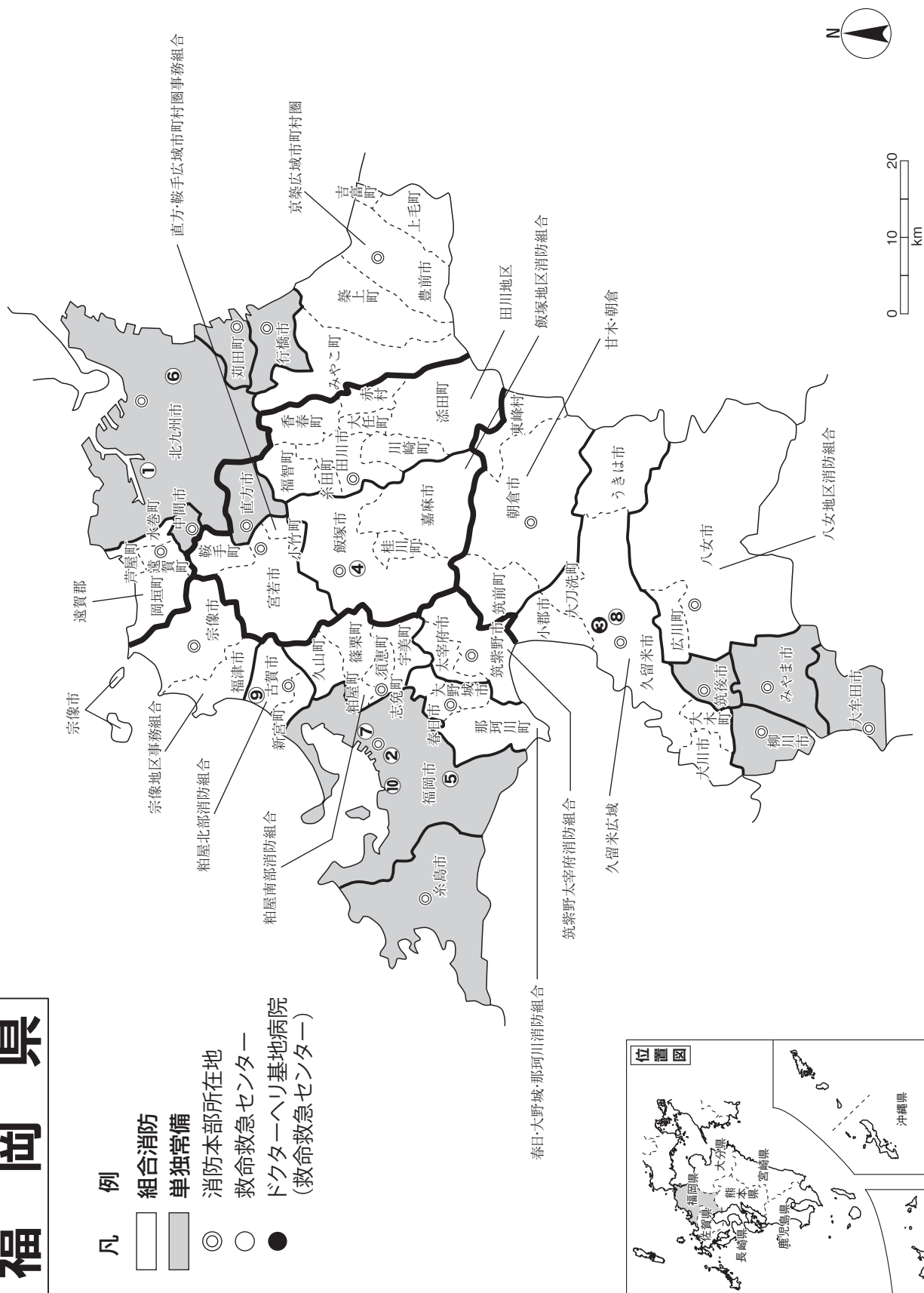
「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	北九州市立八幡病院
②	済生会福岡総合病院
③	久留米大学病院
④	飯塚病院
⑤	福岡大学病院
⑥	北九州総合病院
⑦	九州大学病院
⑧	聖マリア病院
⑨	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
⑩	独立行政法人国立病院機構九州医療センター

縣國裡



佐賀県 【佐賀県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
佐賀県メディカルコントロール協議会	枝國 源一郎 佐賀県医師会 専務理事	佐賀県政策部危機管理・報道局危機管理防災課 佐賀市城内一丁目1-59 0952-25-7026 0952-25-7262		
佐賀県中部地区メディカルコントロール協議会	吉原 正博 佐賀市医師会 会長	佐賀広域消防局警防課 佐賀市兵庫北三丁目5-1 0952-33-6761 0952-31-2119	佐賀広域消防局	佐賀大学医学部附属病院 佐賀県医療センター好生館
佐賀県東部地区メディカルコントロール協議会	原田 良策 鳥栖三養基医師会 会長	鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部警防課 鳥栖市本町三丁目1488-1 0942-83-7995 0942-84-2397	鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部	今村病院 やよいが [※] おか鹿毛病院 東佐賀病院
佐賀県北部地区メディカルコントロール協議会	服巻 信也 唐津東松浦医師会 会長	唐津市消防本部警防課 唐津市ニタ子三丁目2-46 0955-72-4148 0955-74-0119	唐津市消防本部	唐津赤十字病院 済生会唐津病院
佐賀県西部地区メディカルコントロール協議会	古川 浩一郎 伊万里・有田地区医師会 会長	伊万里・有田消防本部警防課 伊万里市立花町1355-3 0955-23-2119 0955-23-7598	伊万里・有田消防本部	伊万里・有田共立病院 山元記念病院 西田病院
佐賀県南部地区メディカルコントロール協議会	太田 光博 武雄杵島地区医師会 会長	杵藤地区広域市町村圏組合消防本部警防課 武雄市武雄町大字富岡12634番地1 0954-23-0115 0954-23-0139	杵藤地区広域市町村圏組合消防本部	嬉野医療センター 織田病院 白石共立病院 新武雄病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

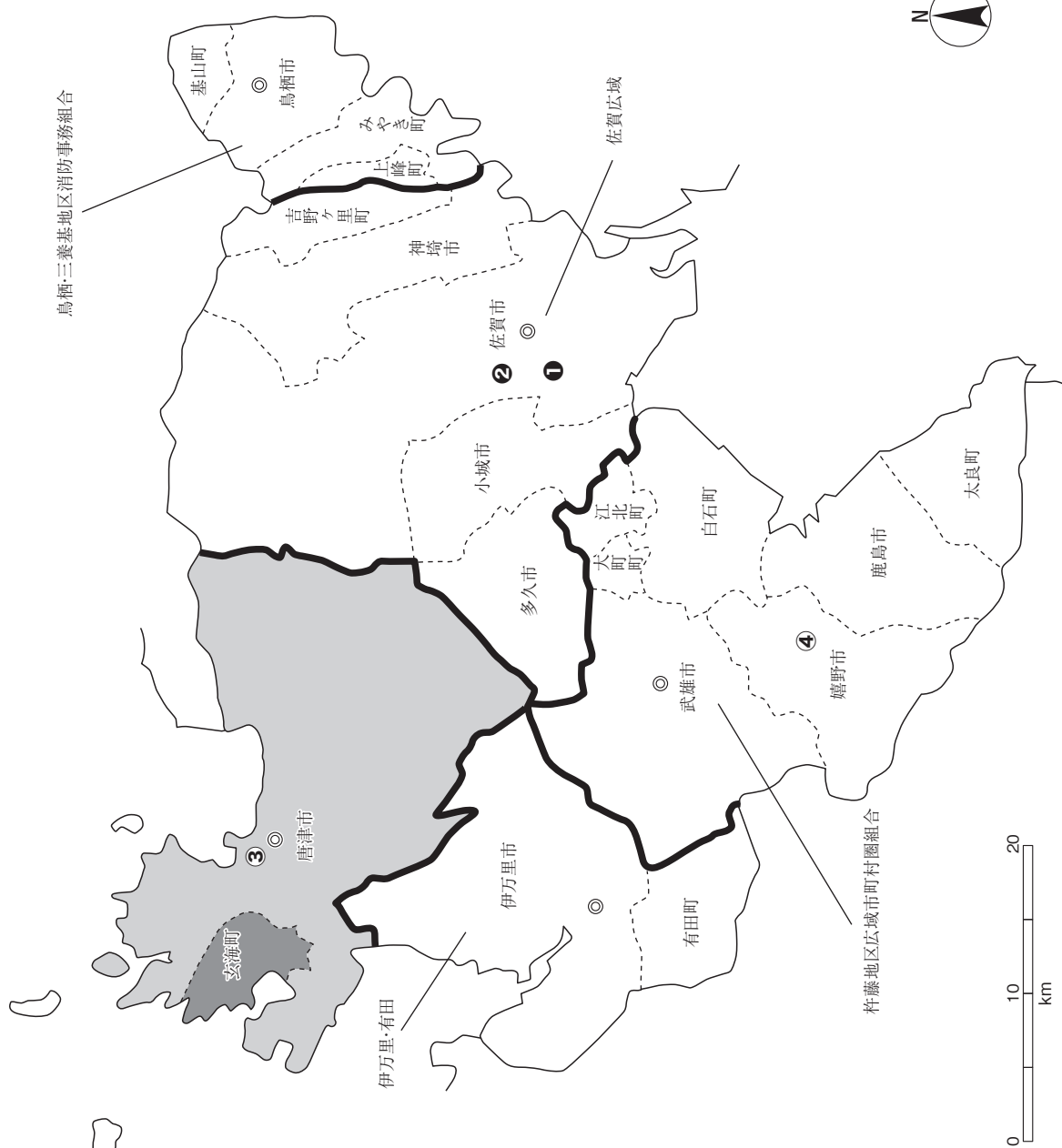
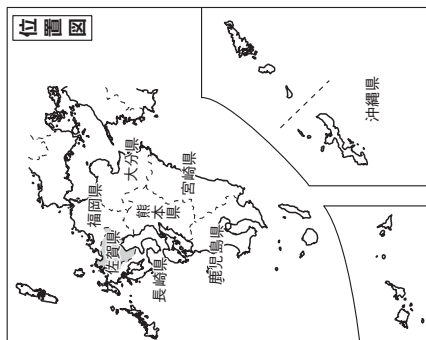
救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	佐賀県医療センター好生館
②※	佐賀大学医学部附属病院
③	唐津赤十字病院
④	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター

※2施設でドクターヘリ1機

佐賀県



- | 凡 | 例 |
|---|--------------------------|
| | 組合消防 |
| | 単独常備 |
| | 委託常備 |
| | 消防本部所在地 |
| | 救命救急センター |
| | ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター) |

長崎県 【長崎県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
長崎県メディカルコントロール協議会	森崎 正幸 長崎県医師会 医師会長	長崎県消防保安室消防班 長崎市尾上町3-1 095-895-2146 095-821-9202		
長崎地域メディカルコントロール協議会	出口 雅浩 長崎市医師会 救急医療担当理事	長崎市消防局警防課 長崎市興善町3-1 095-822-0448 095-829-1067	長崎市消防局	長崎大学病院 高度救命救急センター 長崎みなとメディカルセンター
県北地域メディカルコントロール協議会	深野 拓 佐世保市医師会 救急医療担当理事	佐世保市消防局警防課 佐世保市平瀬町9-2 0956-23-2598 0956-23-8011	佐世保市消防局 平戸市消防本部 松浦市消防本部	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター高度救命救急センター 佐世保市総合医療センター
県央・県南地域メディカルコントロール協議会	中道 親昭 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター長	県央地域広域市町村圏組合消防本部警防救急課 諫早市鷺崎町221番地1 0957-23-0119 0957-22-8119	県央地域広域市町村圏組合消防本部 島原地域広域市町村圏組合消防本部	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター高度救命救急センター
下五島地域メディカルコントロール協議会	浦 繁郎 五島医師会 医師会長	五島市消防本部消防課 五島市吉久木町628番地5 0959-72-3131 0959-72-1512	五島市消防本部	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター高度救命救急センター
上五島地域メディカルコントロール協議会	一宮 邦訓 長崎県上五島病院 病院長	新上五島町消防本部警防課 南松浦郡新上五島町七目郷902-1 0959-42-3240 0959-42-0448	新上五島町消防本部	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター高度救命救急センター
壱岐地域メディカルコントロール協議会	品川 敦彦 医療法人協生会品川病院 理事長	壱岐市消防本部警防課 壱岐市芦辺町中野郷西触411番地2 0920-45-3037 0920-45-0992	壱岐市消防本部	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター高度救命救急センター
対馬地域メディカルコントロール協議会	八坂 貴宏 対馬市医師会 救急・防災理事	対馬市消防本部警防課 対馬市厳原町棧原52-2 0920-52-0119 0920-52-1194	対馬市消防本部	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター高度救命救急センター

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

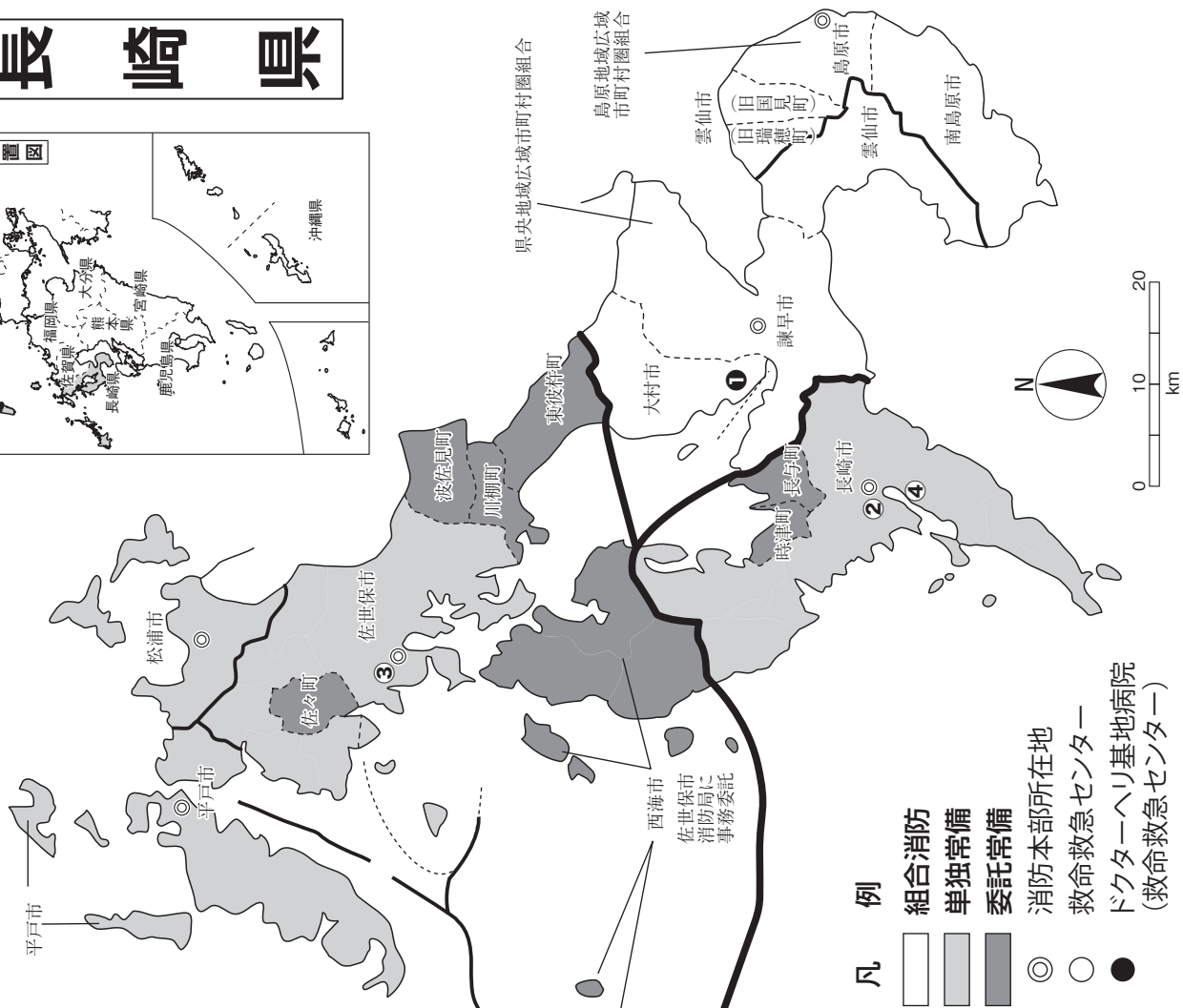
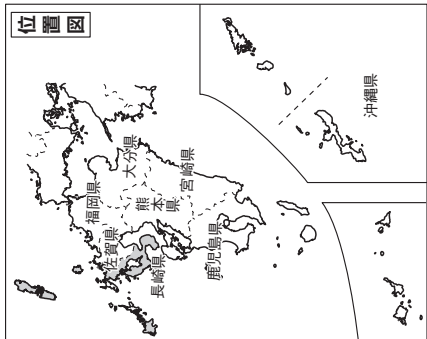
救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
②	長崎大学病院
③	佐世保市総合医療センター
④	長崎みなとメディカルセンター

峯崎屋

位置图



熊本県 【熊本県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
熊本県メディカルコントロール協議会	入江 弘基 熊本大学病院 救急部部长(教授)	総務部市町村・税務局消防保安課 熊本市中央区水前寺6-18-1 096-333-2116 096-383-1503		
熊本市メディカルコントロール協議会	渋沢 崇行 国立病院機構熊本医療センター 救命救急センター長	熊本市消防局 熊本市中央区大江3-1-3 096-363-0119 096-366-6679	熊本市消防局 (事務受託: 益城町、西原村)	熊本赤十字病院 国立病院機構熊本医療センター 済生会熊本病院 熊本市民病院 熊本大学病院 熊本地域医療センター
山鹿鹿本地域メディカルコントロール協議会	幸村 克典 鹿本医師会 会長	山鹿市消防本部 山鹿市南島1270-1 0968-43-1289 0968-43-8872	山鹿市消防本部	山鹿市民医療センター 保利病院 熊本市立植木病院
人吉下球磨地域メディカルコントロール協議会	薬師寺 俊剛 人吉医療センター 院長	人吉下球磨消防組合消防本部 人吉市下林町1 0966-22-5241 0966-22-5240	人吉下球磨消防組合消防本部	人吉医療センター
上益城地域メディカルコントロール協議会	大橋 浩太郎 熊本回生会病院 理事長	上益城消防組合消防本部 上益城郡御船町辺田見169 096-282-1955 096-282-3282	上益城消防組合消防本部	熊本赤十字病院 済生会熊本病院 熊本市民病院
上球磨メディカルコントロール協議会	高畠 浩典 上球磨消防組合消防本部 消防長	上球磨消防組合消防本部 球磨郡多良木町大字多良木3146番地1 0966-42-3181 0966-42-2547	上球磨消防組合消防本部	公立多良木病院
八代地域メディカルコントロール協議会	堀野 敬 熊本総合病院 副院長	八代広域行政事務組合消防本部 八代市大村町970 0965-32-6181 0965-32-9251	八代広域行政事務組合消防本部	熊本労災病院 熊本総合病院
阿蘇地域メディカルコントロール協議会	上村 晋一 阿蘇立野病院 理事長	阿蘇広域行政事務組合消防本部 阿蘇市黒川1423-1 0967-34-0048 0967-34-0119	阿蘇広域行政事務組合消防本部	阿蘇医療センター 小国公立病院 阿蘇立野病院 阿蘇温泉病院 大阿蘇病院
有明地域メディカルコントロール協議会	池田 隆昭 有明広域行政事務組合消防本部 消防長	有明広域行政事務組合消防本部 玉名市築地309番地1 0968-71-0119 0968-74-0030	有明広域行政事務組合消防本部	荒尾市立有明医療センター くまもと県北病院 和水町立病院
水俣芦北地域メディカルコントロール協議会	廣瀬 豊樹 国保水俣市立総合医療センター 副院長兼救急センター長	水俣芦北広域行政事務組合消防本部 水俣市ひばりヶ丘3番12号 0966-63-1191 0966-63-7090	水俣芦北広域行政事務組合消防本部	国保水俣市立総合医療センター
宇城地域メディカルコントロール協議会	島松 一步 宇城広域連合消防本部 消防長	宇城広域連合消防本部 宇土市境目町427番地 0964-22-0554 0964-22-5775	宇城広域連合消防本部	済生会熊本病院
菊池地域メディカルコントロール協議会	上山 秀嗣 熊本再春医療センター 院長	菊池広域連合消防本部 菊池郡菊陽町原水7-1 096-232-9331 096-232-9333	菊池広域連合消防本部	熊本再春医療センター
天草地域メディカルコントロール協議会	山下 誠司 天草郡市医師会 副会長	天草広域連合消防本部 天草市本渡町広瀬1687-2 0969-22-0119 0969-22-3221	天草広域連合消防本部	天草地域医療センター 天草中央総合病院 上天草総合病院 河浦病院

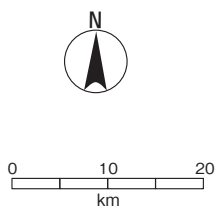
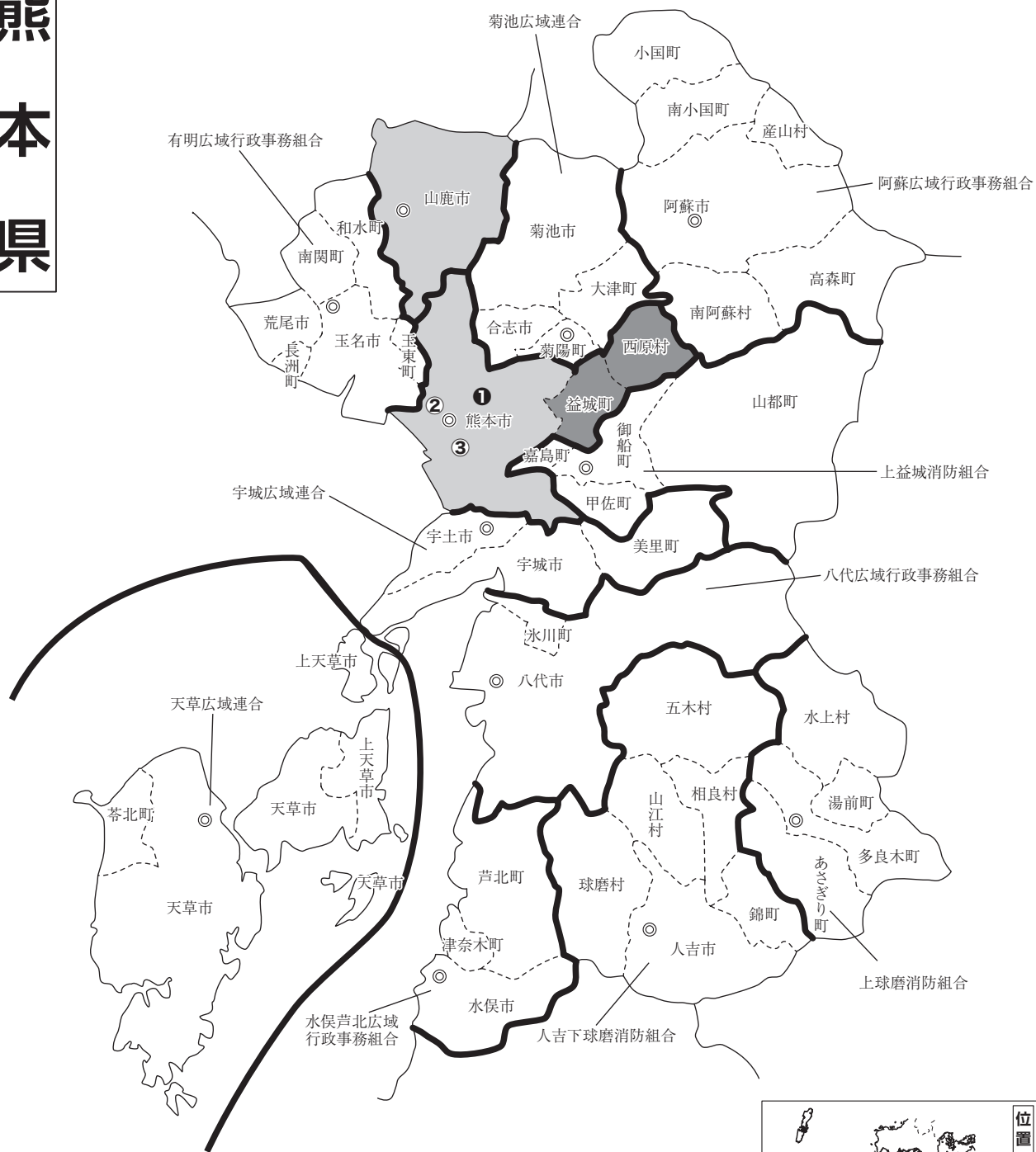
「構成中核の医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

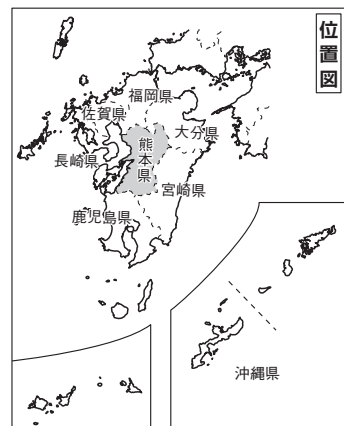
救命救急センター	施設名
①	熊本赤十字病院
②	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
③	済生会熊本病院

熊本県



凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- ◎ 消防本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地病院 (救命救急センター)



大分県 【大分県救急業務協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
大分県救急業務協議会	内田 一郎 大分県医師会 副会長	大分県生活環境部防災局消防保安室 大分市大手町3丁目1-1 097-506-3158 097-533-0930	大分市消防局 別府市消防本部 中津市消防本部 佐伯市消防本部 臼杵市消防本部 津久見市消防本部 竹田市消防本部 豊後高田市消防本部 宇佐市消防本部 豊後大野市消防本部 由布市消防本部 国東市消防本部 日田玖珠広域消防組合消防本部 杵築速見消防組合消防本部	アルメイダ病院 大分大学医学部附属病院 大分県立病院 新別府病院 中津市民病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	大分市医師会立アルメイダ病院
②	大分大学医学部附属病院
③	大分県立病院
④	国家公務員共済組合連合会新別府病院
⑤	中津市立中津市民病院

地域MC協議会 1

凡 例

- ◻ 組合消防
- ◻ 単独常備
- ◻ 委託常備
- ◎ 消防本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地病院
(救命救急センター)



日田玖珠広域消防組合

玖珠町

日田市

九重町

由布市

大分市

臼杵市

津久見市

佐伯市

豊後大野市

竹田市

宇佐市

豊後高田市

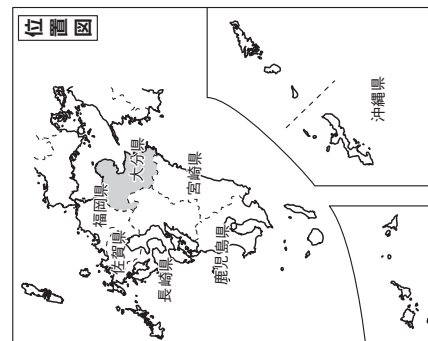
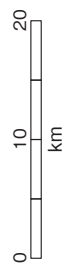
国東市

杵築市

日出町

杵築速見消防組合

姫島村



大 分 県

宮崎県 【宮崎県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
宮崎県メディカルコントロール協議会	金丸 吉昌 宮崎県医師会 副会長	宮崎県危機管理局消防保安課 宮崎市橋通東2丁目10番1号 宮崎県庁総務部危機管理局内 0985-26-7627 0985-26-3130		
宮崎地区メ ディカルコント ロール協議会	高村 一志 宮崎市郡医師会 会長	宮崎市消防局警防課 宮崎市和知川原1丁目64番地2 宮崎市消防局内 0985-32-4903 0985-27-8675	宮崎市消防局	県立宮崎病院 宮崎大学医学部附属病院 宮崎市郡医師会病院
都城地区メ ディカルコント ロール協議会	田口 利文 都城市北諸県医師会 会長	都城市消防局警防救急課 都城市豊満原町19号7番地 都城市消防局内 0986-22-8883 0986-24-7345	都城市消防局	都城市郡医師会病院
延岡西臼杵メ ディカルコント ロール協議会	佐藤 信博 延岡市医師会 会長	延岡市消防本部警防課 延岡市野地町5丁目2761番地 延岡市消防本部内 0982-22-7105 0982-31-0303	延岡市消防本部 西臼杵広域行政事務組合消防本部	県立延岡病院
日向地区メ ディカルコント ロール協議会	今給黎 承 日向市東臼杵郡医師会 会長	日向市消防本部警防課 日向市亀崎2丁目23番地 日向市消防本部内 0982-53-5948 0982-52-3119	日向市消防本部 美郷町	県立延岡病院
南那珂地区メ ディカルコント ロール協議会	中村 彰伸 南那珂地区医師会 会長	日南市消防本部警防課 日南市大字殿所2026番地9 日南市消防本部内 0987-23-1316 0987-23-7653	日南市消防本部 串間市消防本部	県立日南病院 串間市民病院
西都児湯地区 メディカルコント ロール協議会	松本 英裕 西都市西児湯医師会 会長	西都市消防本部警防課 西都市大字三宅2445-13 西都市消防本部内 0983-43-2466 0983-42-3910	西都市消防本部 宮崎県東児湯消防組合消防本部	県立宮崎病院
西諸地区メ ディカルコント ロール協議会	内村 大介 西諸医師会 会長	西諸広域行政事務組合消防本部 小林市真方493番地 西諸広域行政事務組合消防本部内 0984-23-0234 0984-23-6560	西諸広域行政事務組合消防本部	小林市立病院 えびの市立病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

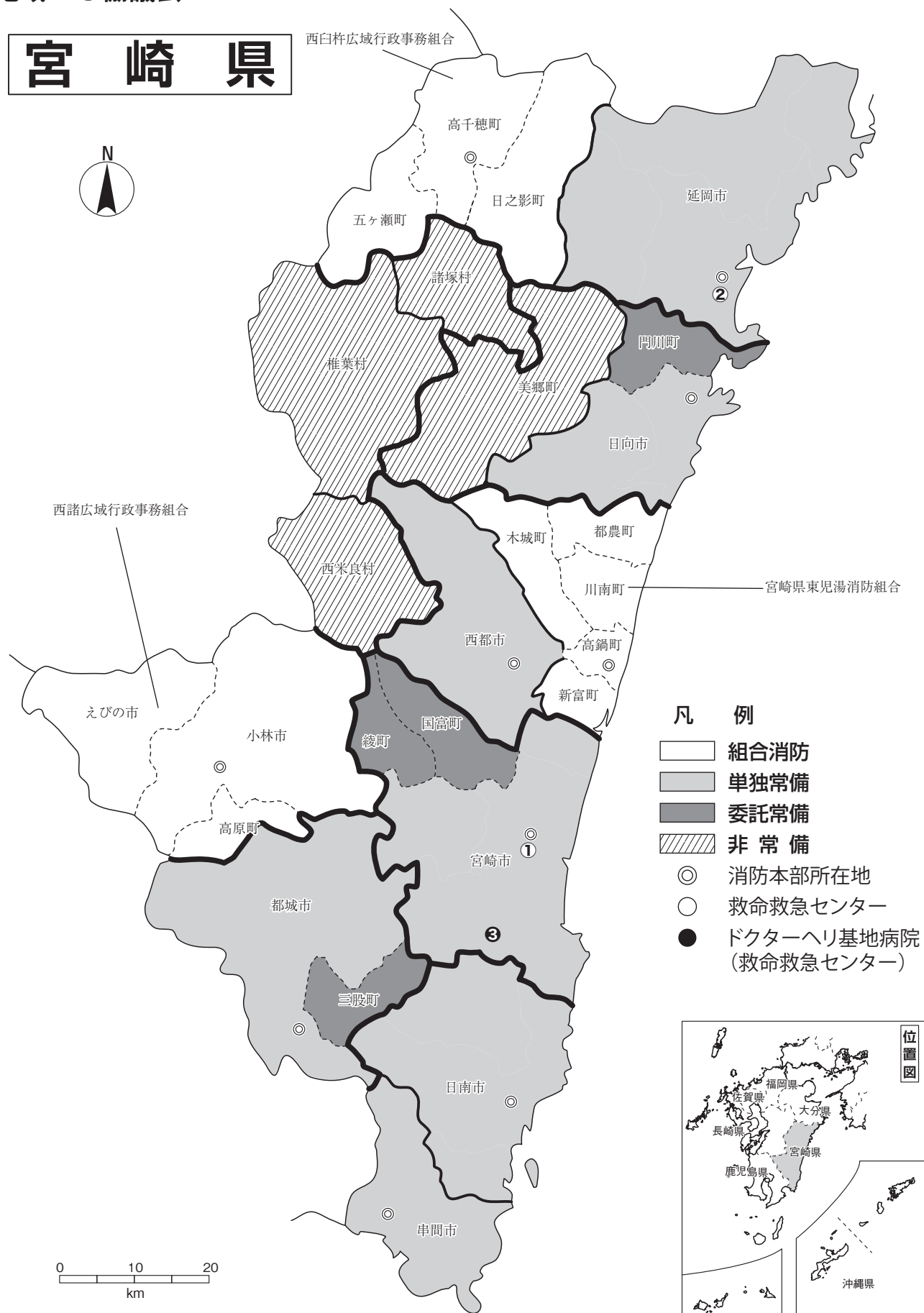
※美郷町は非常備地域で民間救急を導入し独自のメディカルコントロール体制であったが、令和5年に日向地区メディカルコントロール協議会に加入している。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	県立宮崎病院
②	県立延岡病院
③	宮崎大学医学部附属病院

宮 崎 県



鹿児島県 【鹿児島県救急業務高度化協議会】

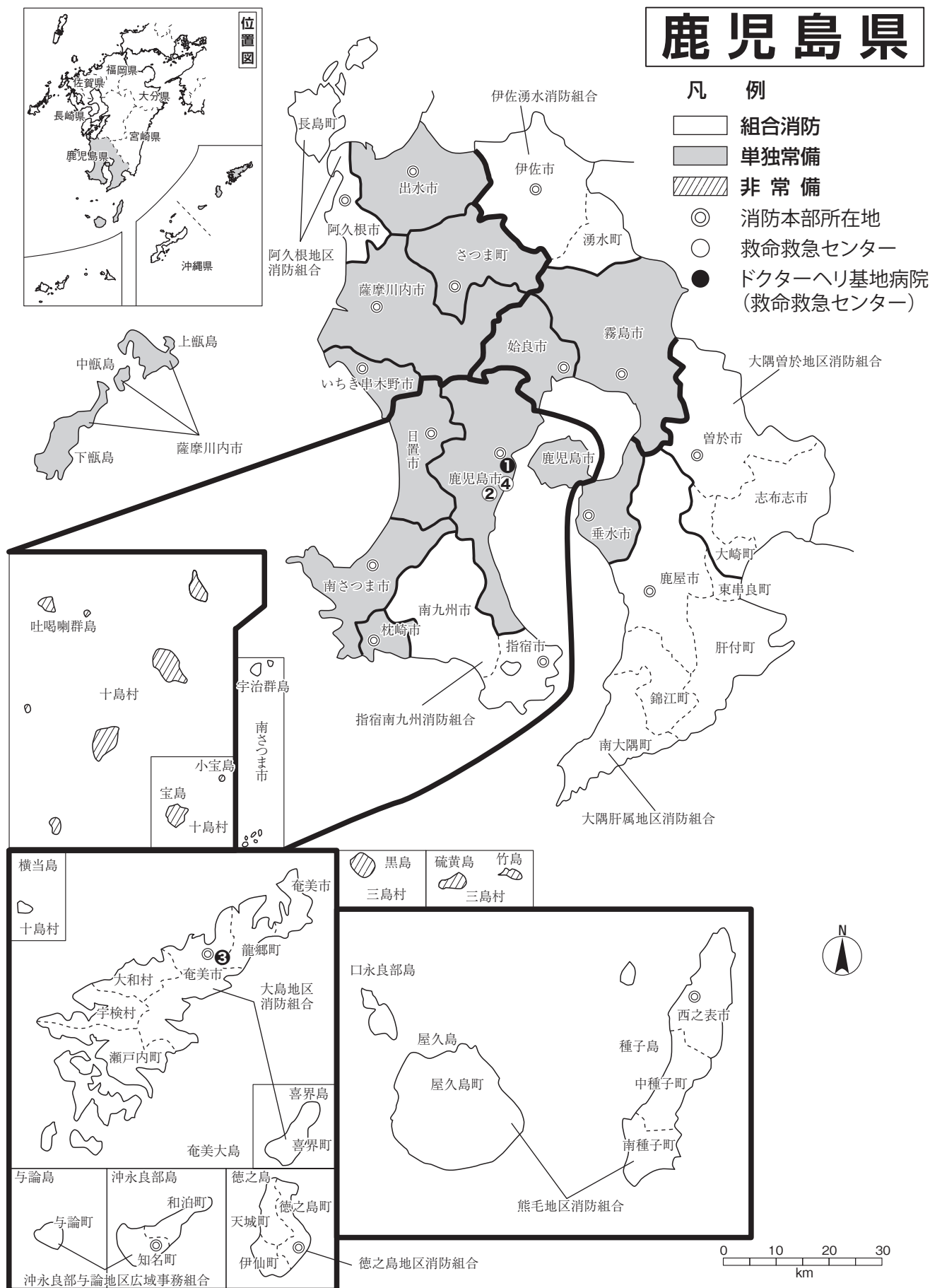
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
鹿児島県救急業務高度化協議会	吉原 秀明 鹿児島県医師会 救急担当理事	鹿児島県危機管理防災局消防保安課 鹿児島市鴨池新町10番1号 099-286-2259 099-286-5521		
薩摩地域救急業務高度化協議会	川上 雅之 鹿児島市医師会 救急災害医療主担当理事	鹿児島市消防局救急課 鹿児島市山下町15-1 099-222-0240 099-227-3119	鹿児島市消防局 日置市消防本部 指宿南九州消防組合消防本部 枕崎市消防本部 南さつま市消防本部	鹿児島市立病院救命救急センター 米盛病院 外科馬場病院 国立病院機構指宿医療センター 県立薩南病院【他】
北薩地域救急業務高度化協議会	田實 謙一郎 川内市医師会立市民病院 院長	薩摩川内市消防局警防課 薩摩川内市中郷町5031番地1 0996-22-0119 0996-20-3430	薩摩川内市消防局 出水市消防本部 いちき串木野市消防本部 さつま町消防本部 阿久根地区消防組合消防本部	川内市医師会立市民病院 出水市総合医療センター いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 薩摩郡医師会病院 出水郡医師会広域医療センター【他】
始良伊佐地域救急業務高度化協議会	佐藤 昭人 始良地区医師会 会長	霧島市消防局警防課 霧島市国分中央三丁目41-5 0995-64-0432 0995-64-0845	霧島市消防局 始良市消防本部 伊佐湧水消防組合消防本部	大井病院 霧島市立医師会医療センター 青雲会病院 県立北薩病院【他】
大隅地域救急業務高度化協議会	小倉 雅 恒心会おぐら病院 理事長	大隅肝属地区消防組合警防課 鹿屋市新川町800 0994-52-1193 0994-40-0201	大隅肝属地区消防組合消防本部 垂水市消防本部 大隅曾於地区消防組合消防本部	県民健康プラザ鹿屋医療センター 大隅鹿屋病院 垂水市立医療センター垂水中央病院 曾於医師会立病院【他】
熊毛地域救急業務高度化協議会	田上 寛容 熊毛地区医師会 会長	熊毛地区消防組合警防課 西之表市鴨女町248 0997-23-0119 0997-23-4198	熊毛地区消防組合消防本部	種子島医療センター【他】
大島地域救急業務高度化協議会	津畑 修 つばたクリニック 院長	大島地区消防組合警防課 奄美市名瀬小浜町27-5 0997-52-0100 0997-52-5107	大島地区消防組合消防本部 沖永良部与論地区広域事務組合消防本部 徳之島地区消防組合消防本部	県立大島病院 沖永良部徳洲会病院 徳之島徳洲会病院【他】

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	鹿児島市立病院
②	鹿児島大学病院
③	県立大島病院
④	米盛病院



沖縄県 【沖縄県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
沖縄県メディカルコントロール協議会	梅村 武寛 琉球大学病院 救急科長・救急部長	沖縄県知事公室消防防災対策課 那覇市泉崎1丁目2番2号 098-866-2143 098-866-3204		
北部地区メディカルコントロール協議会	鍛 良之 北部地区医師会病院 救急課長	国頭地区行政事務組合消防本部 国頭村字辺土名1727番地 0980-41-5700 0980-41-2915	名護市消防本部 本部町今帰仁村消防組合消防本部 国頭地区行政事務組合消防本部 金武地区消防衛生組合消防本部	沖縄県立北部病院 北部地区医師会病院
中部地区メディカルコントロール協議会	豊里 尚己 沖縄県立中部病院 救急科副部長	ニライ消防本部 嘉手納町字屋良1220番地2F 098-956-9934 098-956-9944	うるま市消防本部 沖縄市消防本部 中城北中城消防組合消防本部 比謝川行政事務組合ニライ消防本部 金武地区消防衛生組合消防本部 宜野湾市消防本部	沖縄県立中部病院 琉球大学病院
南部地区メディカルコントロール協議会	米盛 輝武 浦添総合病院 救命救急センター長	島尻消防組合消防本部 南城市玉城字屋嘉部194番地 098-948-2512 098-948-7169	浦添市消防本部 豊見城市消防本部 糸満市消防本部 島尻消防組合消防本部 久米島町消防本部 那覇市消防局 東部消防組合消防本部	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 浦添総合病院
宮古地区メディカルコントロール協議会	小川 太志 沖縄県立宮古病院 救急科部長	宮古島市消防本部 宮古島市平良字下里1792-6 0980-72-4358 0980-73-1682	宮古島市消防本部	沖縄県立宮古病院
八重山地区メディカルコントロール協議会	竹島 茂人 沖縄県立八重山病院 救急科部長	石垣市消防本部 石垣市字真米里668番地 0980-82-0119 0980-83-6698	石垣市消防本部 竹富町	沖縄県立八重山病院

「構成中核的医療機関」とは、地域のメディカルコントロール体制を構成する中核的な医療機関を指し、具体的には、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証、救急救命士の再教育等のいずれかの役割を担っている医療機関をいう。

※金武地区消防衛生組合消防本部は、北部地区メディカルコントロール協議会と中部地区メディカルコントロール協議会を重複している。

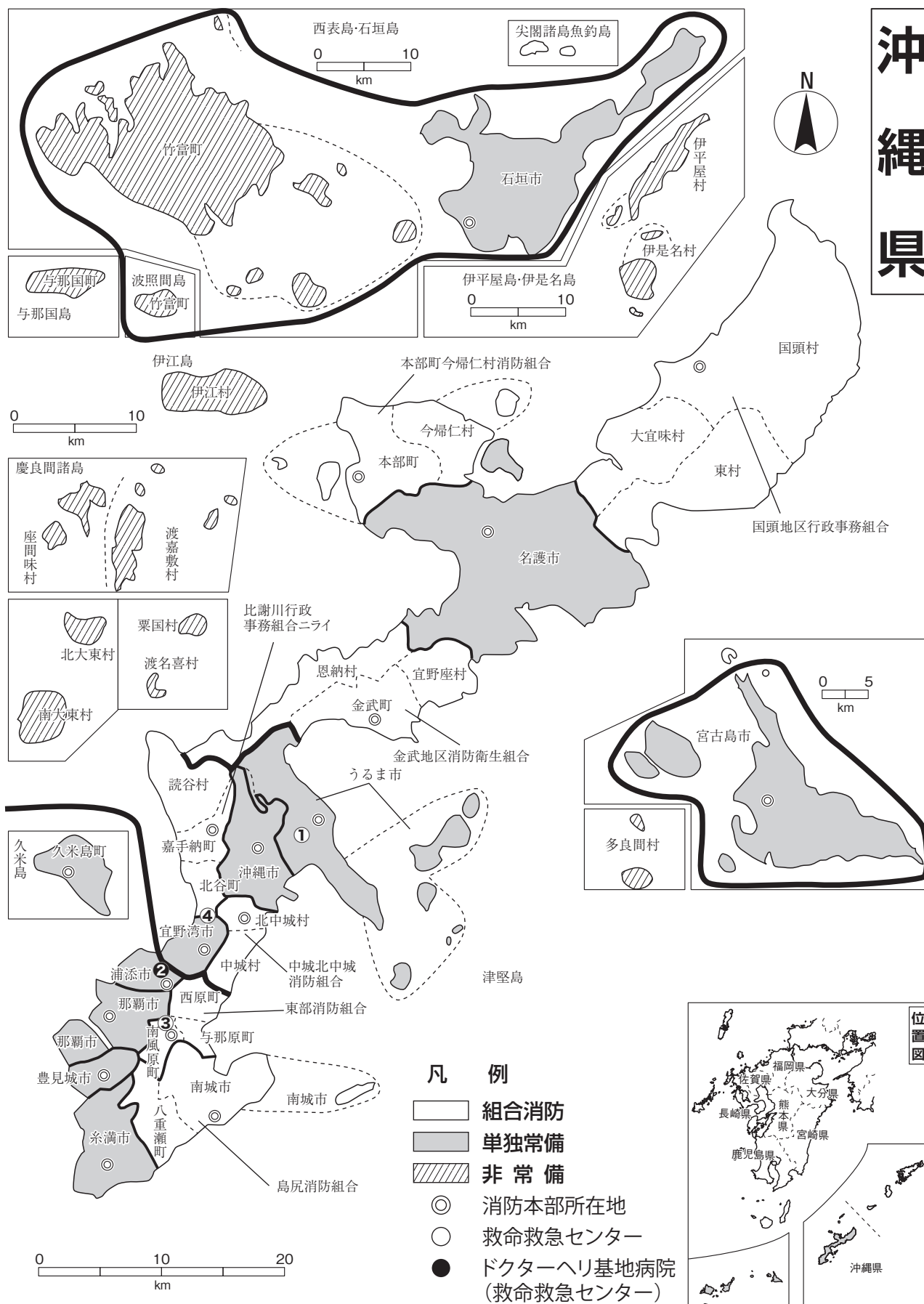
※竹富町は消防本部の非常備地域であるが、令和2年7月1日付けで民間救急を開始したため、八重山地区メディカルコントロール協議会に参画している。

救命救急センター設置状況 一覧表

(令和7年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	沖縄県立中部病院
②	浦添総合病院
③	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
④	琉球大学病院

沖縄県



MEMO

[illegible]